

Soka Municipal Hospital

# 地域医療連携 ガイドブック 2023



# 目次 INDEX

## ● ご紹介・ご挨拶

- 1 草加市立病院事業管理者挨拶
- 2 病院の理念
- 3 病院の概要
- 4 病院組織図
- 5 施設基準
- 6 機関指定・学会認定

## ● 診療部門

- 8 総合内科
- 10 血液内科
- 12 内分泌・代謝内科
- 14 膠原病内科
- 16 腎臓内科
- 18 呼吸器内科
- 20 循環器内科
- 22 消化器内科
- 24 放射線科
- 26 緩和ケア科
- 28 リハビリテーション医学科
- 29 産婦人科
- 30 小児科
- 32 外科
- 34 呼吸器外科
- 36 心臓血管外科
- 38 整形外科
- 40 眼科
- 42 脳神経外科
- 44 皮膚科
- 46 泌尿器科
- 48 耳鼻咽喉科
- 50 歯科口腔外科
- 52 麻酔科
- 54 救急科
- 55 病理診断科
- 56 心臓・脳血管センター
- 57 腎センター
- 58 手術センター
- 60 外来化学療法センター

- 61 健康管理センター

- 62 乳腺センター
- 63 専攻医・研修医

## ● 院内各部門

- 66 看護部
- 69 薬剤部
- 70 患者サポートセンター
- 72 診療放射線科
- 73 検査科
- 74 リハビリテーション科
- 75 臨床工学科
- 76 栄養科

## ● 多職種チーム

- 78 医療安全対策チーム・感染対策チーム
- 79 患者サポートチーム・抗菌薬適正使用支援チーム
- 80 栄養サポートチーム・褥瘡対策チーム
- 81 児童虐待対策チーム・緩和ケアチーム
- 82 医療情報システムチーム・呼吸ケアサポートチーム
- 83 災害対策室・災害派遣医療チーム

## ● 管理部門

- 86 医療安全部
- 87 医療情報部
- 88 病院機能管理部
- 89 データベース

## ● 研修会

- 94 小児科勉強会

## ● 予約関係書類

- 96 初診予約の取り方について
- 97 予約申込書（貴院控え）
- 98 予約票（当日持参用）
- 99 注意事項（予約票・当日持参 裏面）
- 100 検査の説明と同意書
- 101 画像・生理検査申込書（FAX送信・貴院控え用）
- 102 画像・生理検査申込書（当日持参用）
- 103 診療予約申込書の記入について（記入見本）
- 104 画像・検査申込書の記入について（記入見本）
- 105 病院案内図

# ご挨拶



## 矢内 常人

草加市立病院  
事業管理者  
(兼) 病院長

[専門分野]  
消化器一般・肝臓病

[専門医]

- ・日本内科学会認定  
総合内科専門医
- ・日本消化器病学会認定  
消化器病専門医
- ・日本消化器内視鏡学会認定  
消化器内視鏡専門医
- ・日本肝臓学会認定  
肝臓専門医

2023年度版『草加市立病院 地域医療連携ガイドブック』をお届けします。例年どおり、当院の各部門の紹介及び予約方法についてのご案内となっておりますので、ご高覧、ご活用いただければ幸いです。今回の人事異動は内科系診療科の異動は比較的少なく、外科、整形外科、小児科を中心に23人の新しい先生方を迎えることができました。

今年度から手術支援ロボット(ダビンチXi)を導入し、直腸がん、前立腺がんの手術を開始しています。本格的な高齢化社会を迎え、高齢者にも優しい低侵襲手術を行ってゆく予定です。これまで同様、患者さんをご紹介いただけると幸いです。

さて、おそらくこの50年間で医療界最大の危機であった新型コロナパンデミックがようやく収束を迎えようとしています。この3年間、先生方も地域医療を守るため大変なご苦勞をなさったことと思います。当院も新型コロナ入院対応と救急対応を含めた平時の医療の両立に苦勞しました。先生方にも患者さんの受け入れ等でご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。

5月の連休明けから新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行し「入院勧告」や「行動制限」はなくなりました。当院も、埼玉県からの要請による新型コロナ対応病棟の確保を終了しましたが、5類移行後もインフルエンザ等と同様の感染対策は必要なため、高齢者や合併症のある患者さん、小児への入院対応は個室で行っています。引き続きフェーズに応じた病床確保を依頼されており、平時の体制に戻るにはもう少し時間がかかりそうです。新興感染症に対する備えはこれから必要で地域の先生方との役割分担・連携は不可欠です。

また近年は異常気象による風水害、首都直下地震など大規模災害へのリスクが高まっています。当院は地域災害拠点病院としてこれまで災害時における初期救急医療体制の構築、DMATの活動拠点などを想定した訓練を主に院内で行ってまいりました。急性期以降の災害医療は市と地域医師会等を中心とした避難所、医療救護所における医療体制の構築が重要で、ここでも役割分担と連携強化が求められています。

今後とも地域の先生方との連携を深め、患者さんへのサービスの向上と地域医療に貢献してまいりたい所存です。ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 草加市立病院の理念

## ● 基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

## ● 基本方針

### 1. 地域中核病院の役割

総合的・急性期医療を基盤に、高度専門、二次救急と地域医療連携の充実に努めます。

### 1. 患者中心の医療の確立

十分な説明と同意のもと開かれた、患者さんの権利を尊重する親切的医療の提供に努めます。

### 1. 安全で良質な医療の提供

安心して医療を受けられる環境づくりや、市民の信頼が得られる質の高い医療の実践に努めます。

### 1. 健全経営の確保

地方公営企業法の精神を生かし、公共性と経済性とのバランスのとれた健全経営に努めます。



## 病院の概要

名称 草加市立病院  
住所 〒340-8560 埼玉県草加市草加二丁目21番1号  
開設者 草加市長 瀬戸 百合子  
管理者 草加市病院事業管理者 矢内 常人  
許可病床数 一般病床数380床  
平均患者数 入院245.3人 外来745.2人(令和4年 一日あたり平均)  
診療科目 内科(総合)、血液内科、内分泌・代謝内科、膠原病内科、腎臓内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、救急科、病理診断科、緩和ケア科  
※ただいま産科及び精神科の外来診療は休止させていただいております。

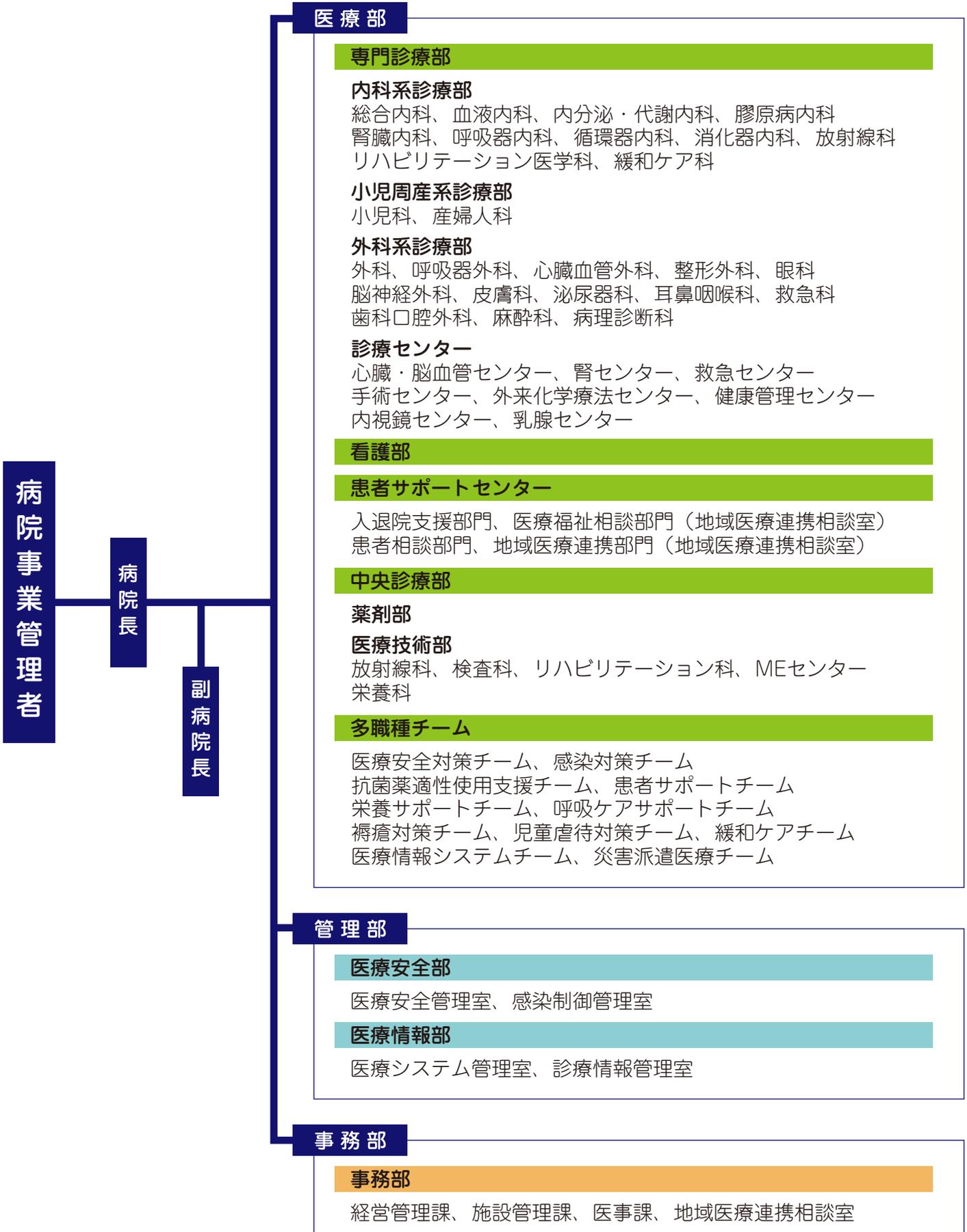
### ● 病棟

	西病棟	東病棟
7階	呼吸器内科、呼吸器外科、血液内科、膠原病内科	循環器内科、内分泌・代謝内科、心臓血管外科
6階	脳神経外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、泌尿器科	整形外科、腎臓内科
5階	感染病棟	外科、皮膚科、消化器内科
4階	緩和ケア科	小児科、眼科

### ● 心臓・脳血管センター

	施設
5階	大講堂、院内保育室
4階	腎センター(血液透析室)
3階	高度治療室(HCU)
2階	MEセンター、血管撮影室
1階	子ども急病夜間クリニック、救急ステーション、重症処置室

# 病院組織図



# 施設基準

## ● 基本診療料

- ・地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・歯科外来診療環境体制加算2
- ・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
- ・超急性期脳卒中加算
- ・診療録管理体制加算2
- ・50対1急性期看護補助体制加算
- ・看護職員夜間16対1配置加算1
- ・療養環境加算
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・無菌治療室管理加算1
- ・栄養サポートチーム加算
- ・医療安全対策加算1 医療安全対策地域連携加算1
- ・患者サポート体制充実加算
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・感染対策向上加算1 指導強化加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・後発医薬品使用体制加算2
- ・病棟薬剤業務実施加算1
- ・データ提出加算2 イ
- ・入退院支援加算1 地域連携診療計画加算  
入院時支援加算
- ・地域歯科診療支援病院入院加算
- ・ハイケアユニット入院医療管理料1
- ・小児入院医療管理料2  
「注2」に規定する加算  
養育支援体制加算
- ・救急医療管理加算
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・地域医療体制確保加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・緩和ケア病棟入院料2
- ・医師事務作業補助体制加算2（50対1）
- ・看護職員処遇改善評価料75

## ● 特掲診療料

- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料 イ □ ハ ニ
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・二次性骨折予防継続管理料1・3
- ・院内トリアージ実施料
- ・救急搬送看護体制加算1
- ・外来腫瘍化学療法診療料1  
連携充実加算
- ・がん治療連携指導料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料1
- ・在宅患者訪問看護・指導料
- ・遺伝学的検査
- ・BRCA1/2 遺伝子検査
- ・H P V核酸検出及びH P V核酸検出  
（簡易ジェノタイプ判定）
- ・検体検査管理加算（I）
- ・検体検査管理加算（II）
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・皮下連続式グルコース測定
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・内服・点滴誘発試験
- ・センチネルリンパ節生検（片側）
- ・画像診断管理加算2
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・冠動脈CT撮影加算
- ・心臓MRI撮影加算
- ・乳房MRI撮影加算
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（I）初期加算
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
- ・運動器リハビリテーション料（I）
- ・呼吸器リハビリテーション料（I）初期加算
- ・歯科口腔リハビリテーション料2
- ・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
- ・静脈圧処置（慢性静脈不全に対するもの）
- ・人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・報告書管理体制加算
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- ・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び  
脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・上顎骨形成術  
（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
- ・下顎骨形成術  
（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
- ・乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1又は  
乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）
- ・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
（リードレスペースメーカー）
- ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
- ・植込型除細動器移植術、  
植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
- ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び  
両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
- ・大動脈バルーンパンピング法（I A B P法）
- ・バルーン閉塞下逆行性経静脈の塞栓術
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下痔腫瘍摘出術及び腹腔鏡下臀部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・膀胱水圧拡張術
- ・胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
- ・輸血管管理料II
- ・輸血適正使用加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・麻酔管理料（I）
- ・高エネルギー放射線治療
- ・病理診断管理加算2 悪性腫瘍病理組織標本加算
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料
- ・外来栄養食事指導（注2）
- ・遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料）
- ・腎代替療法指導管理料
- ・総合医療管理加算（歯科疾患管理料）
- ・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び  
歯科治療時医療管理料
- ・持続血糖測定器加算
- ・小児鎮静下MRI撮影加算
- ・経皮的下肢動脈形成術
- ・腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
- ・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内支）
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除及び切除術）（内支）
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内支）

## ● 入院時食事療養

- ・入院時食事療養1

# 機関指定・学会認定

## ● 機関指定

健康保険法・国民健康保険法に基づく保健医療機関  
生活保護法指定医療機関  
戦傷病者特別援護法（療養給付、更生医療）  
障害者自立支援法指定医療機関（育成医療・更生医療、精神通院医療）  
原子爆弾被爆者認定疾病医療・一般疾病医療取扱病院  
小児慢性特定疾病医療費助成制度  
児童福祉施設措置医療  
難病指定医療機関  
養育医療機関（未熟児の養育医療）  
労働保険指定医療機関  
労働者災害補償保険二次健診医療機関  
救急告示病院（二次救急医療）  
埼玉県災害拠点病院（埼玉 DMAT 指定病院）  
臨床研修指定病院（基幹型・協力型）  
母体保護法指定医療機関

## ● 学会認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院  
日本血液学会認定血液研修施設  
日本内分泌学会認定教育施設  
日本糖尿病学会認定教育施設 I  
日本リウマチ学会教育施設  
日本腎臓学会研修施設  
日本透析医学会専門医制度教育関連施設  
日本呼吸器学会認定施設  
日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設  
日本循環器学会循環器専門医研修施設  
日本心血管インターベンション治療学会研修施設  
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設  
日本消化器病学会認定施設  
日本消化器内視鏡学会指導施設  
日本小児科学会小児科専門医研修施設  
日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設  
日本外科学会認定外科専門医制度修練施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本乳癌学会関連施設  
日本整形外科学会認定医制度による研修施設  
日本手外科学会研修施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設  
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関  
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本口腔外科学会認定研修施設  
日本顎顔面インプラント学会研修施設  
日本顎関節学会認定顎関節症専門医研修施設  
日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院  
日本病理学会研修登録施設  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設

## ■診療部門

### 診療科（診療科長）

- 総合内科  
(石丸 剛)
- 血液内科  
(村田 健)
- 内分泌・代謝内科  
(小澤 直子)
- 膠原病内科  
(副島 誠)
- 腎臓内科  
(須田 伸)
- 呼吸器内科  
(塚田 義一)
- 循環器内科  
(稲垣 裕)
- 消化器内科  
(矢内 常人)
- 放射線科  
(中川 恒明)
- 緩和ケア科  
(鈴木 友直)
- リハビリテーション医学科  
(新関 祐美)
- 産婦人科  
(安水 毅彦)
- 小児科  
(長谷川 毅)
- 外科  
(西岡 良薫)
- 呼吸器外科  
(石川 祐也)
- 心臓血管外科  
(田村 清)
- 整形外科  
(新関 祐美)
- 眼科  
(坂井 栄一)
- 脳神経外科  
(新井 俊成)
- 皮膚科  
(村野 啓明)
- 泌尿器科  
(鎌田 成芳)
- 耳鼻咽喉科  
(野村 文敬)
- 歯科口腔外科  
(高田 典彦)
- 麻酔科  
(松澤 吉保)
- 救急科  
(鈴木 恒夫)
- 病理診断科  
(阿部 志保)
- 心臓・脳血管センター  
(稲垣 裕)
- 腎センター  
(須田 伸)
- 手術センター  
(松澤 吉保)
- 外来化学療法センター  
(村田 健)
- 健康管理センター  
(土信田 伸夫)
- 乳腺センター  
(石原 早希子)
- 専攻医
- 研修医

# 診療部門

Medical Department



注) 中に記載されている治療実績は、診療報酬の設定がない場合を除き、診療報酬算定に基づく医事データを使用しています。

## ● 診療スタッフ



いしまる ごう  
**石丸 剛**  
役職  
部長  
専門分野  
内科一般・循環器一般  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医

非常勤医師 (専門分野) **佐野 達彦**  
さの たつひこ  
神経内科)

非常勤医師 (専門分野) **下川 雅丈**  
しもかわ まさたけ  
神経内科)

非常勤医師 (専門分野) **桑原 宏哉**  
くわはら ひろや  
神経内科)

非常勤医師 (専門分野) **三浦 元輝**  
みうら もとき  
神経内科)

## ● 診療対象となる症候、疾患

- 発熱、寝汗・ほてり、全身倦怠感、体重減少、痛み(頭痛、胸痛、腹痛、腰背部痛、関節痛など)、しびれ、めまい、意識消失、浮腫、咳、呼吸困難、動悸、下痢・便秘、貧血、リンパ節腫脹、物忘れ、不眠など
- 高血圧、糖質代謝異常、脂質代謝異常、尿酸代謝異常などの健診異常

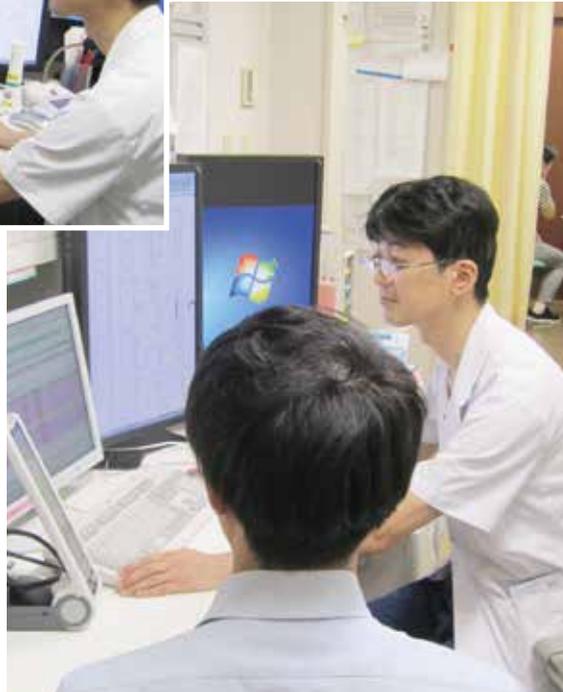
## ● 診療の特徴・特色

当科は総合内科診療を行っており、内科系疾患全般を幅広く診ることを基本としています。どの領域の疾患かを特定するのが困難な場合、複数の内科系疾患の総合的な診断や治療が必要な場合はまず当科を受診していただきます。診察の結果、専門的な診察を要する場合は、専門医師と連携して治療にあたっています。また、病状が安定した際には、かかりつけ医の先生方へ逆紹介を推進しておりますのでその際にはご協力のほどよろしくお願いします。

## ●主な治療実績

外来実績	令和3年	令和4年
総合	7,395	7,424
神経		

(医事課より)



診察風景

## ●外来診療

総合	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	山田(第1・3)	三守(第1・3・5)	大塚	澁谷	石丸	交替制 (受付10:00まで)
	石丸	東山(第2)			藤井(第1・3)	
		巻口(第4)			佐藤(第2)	
神経	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	●佐野		●桑原	●下川	●三浦	

※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ



むらた けん  
**村田 健**

役 職 部長

専門分野  
血液内科一般

専門医

・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本血液学会認定  
血液専門医

非常勤医師

うめざわ よしひろ  
**梅澤 佳央**

非常勤医師

あきやま めぐみ  
**秋山 めぐみ**

## ● 診療対象疾患

- 悪性リンパ腫
- 骨髄異形成症候群
- 多発性骨髄腫
- 難治性貧血
- 骨髄増殖性腫瘍
- 免疫性血小板減少性紫斑病 など

## ● 診療の特徴・特色

当科では、悪性リンパ腫と多発性骨髄腫を中心に様々な血液疾患の診療を行っています。若年者の急性白血病につきましては、同種幹細胞移植の可能性があるため、近隣や他の適切な医療機関へ紹介しています。

当科で症例数の多い疾患について、診療内容を簡単に説明いたします。

### ● 悪性リンパ腫

悪性リンパ腫の中でびまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)は、月単位で進行する悪性の高いリンパ腫で、当科では患者さんの半数がこのタイプです。分子標的薬リツキシマブが登場するまでのDLBCLに対する標準治療はCHOP療法でしたが、リツキシマブ併用CHOP療法によって奏効率・生存率ともに向上しました。現在、DLBCL患者さんの約半数近くは治癒すると言われておりますので、適正な治療を行うための早期診断を心がけています。

### ● 骨髄異形成症候群

高齢者に多い難治性の血液疾患で、前白血病状態とも呼ばれています。急性白血病へ移行するリスクの高い患者さんでは同種造血幹細胞移植が唯一の根治的治療法ですが、高齢者の場合、移植は極めて困難です。そのため、生存期間を延長するための様々な治療法が模索されてきましたが、最近、アザシチジンによって、急性白血病へ移行するまでの期間を延長することが証明されました。外来投与も可能な薬剤で、当科でも、白血病移行リスクの高い高齢患者さんへ積極的に導入しています。

### ● 多発性骨髄腫

十数年前までは有効な治療法がありませんでしたが、ボルテゾミブやレナリドミドなどの新薬の登場で、治療成績は著しく向上しています。高齢者に多い疾患ですが、当科では新薬による寛解導入療法を積極的に行っています。治癒はまだ望めませんが、長生きし、通院で治療を受けていくことも可能になりました。



カンファレンス

## ● 主な検査・医療設備

骨髓検査	可
高度無菌治療室 (クラス100)	1室
ベッドアイソレーター	2台



ミキシング

## ● 主な診療実績

(延べ患者数)	令和3年	令和4年
悪性リンパ腫	97	100
骨髓異形成症候群	25	55
多発性骨髓腫	7	11
形質細胞腫		3
急性白血病	16	1
慢性白血病	1	-
免疫性血小板減少性紫斑病	3	5
骨髓増殖性腫瘍	1	1
再生不良性貧血	5	-
本態性血小板血症	1	1
急性単球性白血病	-	-
急性骨髓性白血病	-	26
急性骨髓単球性白血病	-	-
慢性骨髓単球性白血病	-	-
原発性マクログロブリン血症	-	-
自己免疫性溶血性貧血	-	-
遺伝性第Ⅷ因子欠乏症	2	-
無形成貧血	-	1
リンパ性白血病	-	5
血球減少症	-	-
栄養性貧血	-	3
形質細胞性白血病	-	-
その他の貧血	-	-
原発性アミロイドーシス	6	5
その他	3	7
計	167	224

(診療情報室より)

## ● 外来診療(完全予約制)

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)		村 田				
午後 (受付13:00~15:00)	●梅 澤	村 田	●秋 山	村 田		

※完全予約制のため初診の際は必ずご相談ください。

※●は非常勤医師です。

## 診療スタッフ



おざわ なおこ  
**小澤 直子**

役職 部長  
専門分野 内分泌代謝  
専門医  
・日本内分泌学会認定  
内分泌代謝科専門医  
・日本糖尿病学会認定  
糖尿病専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医



あだち ゆうこ  
**足立 由布子**

役職 医長  
専門分野 内分泌代謝  
専門医  
・日本糖尿病学会認定  
糖尿病専門医  
・日本内分泌学会認定  
内分泌代謝科専門医



まつばら かつのり  
**松原 克典**

役職 医師  
専門分野 内分泌代謝



やまだ あやみ  
**山田 彩水**

役職 医師  
専門分野 内分泌代謝

非常勤医師

つじもと かずたか  
**辻本 和峰**

非常勤医師

かねだ りょう  
**兼田 稜**

## 診療対象疾患

- 糖尿病（1型糖尿病、2型糖尿病、ミトコンドリア糖尿病など）
- 甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病など） ● 副甲状腺疾患
- 下垂体、副腎疾患  
（下垂体腫瘍に伴う機能異常、クッシング症候群、  
原発性アルドステロン症、褐色細胞腫など）
- その他の内分泌腫瘍など

## 診療の特徴・特色

小澤直子医師（糖尿病専門医、研修指導医、内分泌代謝科専門医・指導医）をはじめ、糖尿病・内分泌両分野の専門医・専門研修中の医師が診療に当たっています。

### ● 糖尿病診療について

糖尿病の大多数を占める2型糖尿病は非常にありふれた病気ですが、同じ2型糖尿病といっても合併症の有無、内因性インスリン分泌残存の度合いなどは患者さんによって異なり、もともとの生活習慣や信条も様々です。当科では、糖尿病療養指導士などの他職種との協働で全人的なアプローチを心がけています。合併症管理のために腎臓内科、循環器内科、眼科など他科とも連携しています。

1型糖尿病や、その他の遺伝子異常に伴うような糖尿病では、まずしっかり診断をつけ、疾患の特性に合った治療をしていくことと同時に、希望のある患者さんには同じ疾患の方同士交流できる場もご用意しています。



診察風景

### ● 内分泌疾患診療について

内分泌疾患では甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病）が多く、また原発性アルドステロン症も最近では比較的軽症のうちに発見される方が増えました。

その他は比較的まれな疾患も多いのですが、だからこそ、その疾患を疑って検査し、診断治療につなげられるかどうかは患者さんの人生を大きく左右することもあります。例えば、クッシング病、先端巨大症、褐色細胞腫などを診断治療しています。

内分泌疾患には腫瘍性疾患も多く、当科での評価・診断の後、他科に手術などの治療を依頼する場合があります。外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科などと連携して診療に当たっています。

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
外来インスリン(初期)導入	11	9
外来GLP-1受容体作動薬導入	10	1
フットケア外来	22	18
持続性皮下インスリン注入療法 (CSII)	4	5
うち初期導入	0	0

(医事課より)

## ● 主な検査・医療設備

持続皮下グルコースモニタリング (CGM)	皮下にセンサーを留置し、持続的に組織間質液中のブドウ糖を測定することで、血糖値を連続的に推定する検査です。
脈波伝導速度・下肢上腕血圧比 (ABI)	糖尿病の重要な合併症の一つに動脈硬化症があります。無侵襲にしかも簡便に動脈硬化の程度を評価する検査です。
内臓脂肪面積の測定	必要な患者さんに腹部CTを用いて測定します。
核医学検査	甲状腺シンチグラフィー、副腎皮質シンチグラフィー、副腎髄質シンチグラフィー ホルモン産生腫瘍やパセドウ病の診断のために行います。結果は血液検査などの結果と合わせて判断します。
内分泌学的負荷試験	ホルモン異常を疑う症例で必要な場合に行います。外来で施行できるものと入院が必要なものがあります。

## ● その他

外来インスリン導入	入院が難しい方でも、通院でインスリン治療を開始できます。ただし、過食傾向や肥満が強い方、即刻インスリン治療が必要と思われるがインスリン注射手技習得に非常に時間がかかりそうな方など、病状によっては入院をお勧めする場合があります。
外来GLP-1受容体作動薬導入	インクレチン関連薬の自己注射も外来で導入可能です。
フットケア外来	糖尿病患者さんが自己流に胼胝・鶏眼などの処置をすることは、壊疽につながる場合もあり好ましくありません。看護師によるフットケア外来を行っています。ご希望の方は担当医にご相談ください。
持続皮下インスリン注入療法 (CSII)	皮下に注入針を留置し、持続的にインスリンを注入する治療法です。現在のところ導入の際は入院して頂いています。
外来糖尿病教室	医師、看護師、栄養士、薬剤師らによる糖尿病の勉強会を年3回程度行っています。ご希望の方は担当医にご相談ください。
みんなで糖尿病を語る会	1型糖尿病の方の交流会です。他病院通院中の方も受け入れています。詳しくはホームページをご覧ください。
糖尿病腎症連携枠	糖尿病腎症2期以上(尿中アルブミンクレアチニン比30mg/gCr以上または尿蛋白陽性)の症例につき、計2回検査、診察、栄養相談などを行わせていただいております。詳しくはホームページをご覧ください。

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	足立	松原 ●辻本	小澤	足立 松原	小澤	
	新患担当 (当番制)	新患担当 (当番制) 糖尿病腎症連携	●兼田	新患担当 (当番制) 糖尿病腎症連携	山田	
午後 (受付 13:00~15:00)	小澤					

※●は非常勤医師です。

※予約申込時に「診療情報提供書」も併せて送付願います。

## ● 診療スタッフ



そえしま まこと

**副島 誠**

役職 部長

専門分野

膠原病・リウマチ

専門医

・日本内科学会認定

総合内科専門医

・日本リウマチ学会認定

リウマチ専門医



みもり えりか

**三守 恵里加**

役職 医師

専門分野

膠原病・リウマチ

非常勤医師

しのはら  
**篠原**

たつひこ  
**樹彦**

非常勤医師

やまもと  
**山本**

あきお  
**晃央**

## ● 診療対象疾患

- 関節リウマチ
- 全身性エリテマトーデス
- 多発性筋炎・皮膚筋炎
- 強皮症
- 混合性結合組織病
- 血管炎症候群
- リウマチ性多発筋痛症
- ベーチェット病
- 成人発症スティル病
- 脊椎関節炎
- 結晶誘発性関節炎など

## ● 診療の特徴・特色

### ● 外来診療

外来では関節リウマチに対する診療を中心に  
行っています。メトトレキサートを中心とした  
抗リウマチ薬により疾患活動性を十分に制御し、  
プレドニゾロンを併用している場合は減量中止  
できるようマネジメントすることを心がけて  
います。

既存の抗リウマチ薬に効果不十分な患者さん  
に対しては、有害事象に留意しつつ生物学的製  
剤を積極的に導入し、関節痛の軽減とともに骨  
関節破壊の進展防止を目指しています。

また、原因不明の関節痛（関節炎）や不明熱な  
ど、リウマチ性疾患が疑われる患者さんの診療  
にも取り組んでいます。

### ● 入院診療

入院では臓器障害を有する重篤なりウマチ性  
疾患に対する診療および治療経過中の感染症を  
中心とした有害事象に対する診療を中心に行っ  
ています。新規発症例は疾患活動性を評価した  
上で、ステロイド・免疫抑制療法・大量ガンマ  
グロブリン療法などを施行していますが、難治  
性病態に対しては腎臓内科と連携して血漿交換  
療法などを行うこともあります。

## ● 主な検査・医療設備

リウマチ性疾患の診断は、病歴および身体所  
見をもとに、血液検査および画像検査などを組  
み合わせて行います。当院で施行できる特殊検  
査についてご紹介します。

### ● 関節エコー、MRI検査

関節エコー、関節MRI検査、関節超音波やガ  
ドリニウム系造影剤を用いた関節MRIにより、  
単純X線で検知できない段階での関節炎所見  
（滑膜炎、骨髄浮腫、骨びらんなど）を早期に診  
断致します。

## ●主な治療実績

入院実績	令和3年	令和4年
関節リウマチ・悪性関節リウマチ	20	41
全身性エリテマトーデス	31	15
多発性筋炎・皮膚筋炎	4	6
強皮症	2	2
混合性結合組織病	-	3
顕微鏡的多発血管炎	13	12
結節性多発動脈炎	6	4
巨細胞性動脈炎	1	
リウマチ性多発筋痛症	3	4
成人発症スティル病	-	1
全身性硬化症	-	-
ベーチェット病	2	-
シェーグレン症候群	1	5
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	3
A N C A関連血管炎	7	15
大動脈炎症候群	2	-
その他	42	38

(診療情報室より)

外来実績	令和3年	令和4年
のべ患者数	6,305	6,371
実患者数	1,340	1,382

(医事課より)

## ●外来診療(完全予約制)

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	三 守	副 島	●篠 原	副 島	●山 本	
午後 (受付13:00~15:00)	三 守	副 島		副 島		

※●は非常勤医師です。

※完全予約制のため初診の際は必ずご相談ください。

## 診療スタッフ

すだ しん  
**須田 伸**  
役職 部長  
専門分野  
慢性腎臓病  
血液浄化療法  
専門医  
・日本内科学会認定総合内科専門医  
・日本透析医学会認定  
透析専門医・指導医評議員  
・日本腎臓学会認定  
腎臓専門医・指導医

あかざわ まさのぶ  
**赤澤 政信**  
役職 副部長  
専門分野  
慢性腎臓病・血液浄化療法  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本透析医学会認定  
透析専門医・指導医  
・日本腎臓学会認定  
腎臓専門医・指導医

たかはし なおひろ  
**高橋 直宏**  
役職 医長  
専門分野  
慢性腎臓病・血液浄化療法  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本透析医学会認定  
透析専門医  
・日本腎臓学会認定  
腎臓専門医

はた みさ  
**秦 美沙**  
役職 医師  
専門分野  
慢性腎臓病・  
血液浄化療法

まきぐち はると  
**巻口 遥翔**  
役職 医師  
専門分野  
慢性腎臓病・  
血液浄化療法

非常勤医師 いしもと いくえ  
**石本 育栄**

## 診療対象疾患

当科では、腎炎、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、高血圧および急性・慢性腎不全など、あらゆる内科的腎疾患の治療を外来または入院で行っています。

## 主な治療実績

	令和3年	令和4年
超音波下腎生検	10	14
内シャント造設術	68	58
シャント血管形成術（PTA）	105	146
腹膜透析カテーテル留置術	3	4

（診療情報室より）

## 当科で可能な治療

### 治療

- ・超音波下腎生検
- ・内シャント造設
- ・シャント血管形成術（PTA）
- ・人工血管移植術
- ・血液透析（HD）
- ・血液透析濾過（HDF）
- ・持続的血液濾過透析（CHDF）
- ・腹膜透析（PD）
- ・アフエレーシス（血漿交換、血漿吸着、血液吸着、白血球系細胞除去）

## ●診療の特徴・特色

血尿やたんぱく尿など尿の異常がある患者さんから既に腎機能低下をきたしている方まで、必要な症例には腎生検を施行し、科学的根拠(Evidence)と臨床的経験に基づいた腎組織学的検討を行い、ステロイドや免疫抑制療法など最適な治療をしていきます。また保存期慢性腎不全に対しては、薬物治療とともに、進行抑制のための食事療法(塩分・たんぱく制限食)を栄養士の指導のもとに行います。

透析部門は40床の透析センターを擁し、外来維持透析を始めとして、透析導入や合併症の治療、緊急透析に対応しています。合併症に関しては、他科と緊密な連携をとり、適切な処置を

行います。血液透析以外でも、腹膜透析や腎不全以外の各種疾患に対する血漿交換療法や吸着療法も行っています。



透析

## ●地域医療機関の先生方へ

当科は令和5年3月までで坂下祥太医師が退職され、4月から高橋直宏医師が赴任し昨年同様常勤5人体制で対応しております。入院加療はもちろんのこと、現在週5日の腎臓専門外来(月・火・水・木・金)を行っており、今まで以上に先生方の御要望に応えられるよう努力してまいります。近年腎疾患の早期発見・治療や透析技術の進歩により、全国的には透析新規導入患者・年間死亡数はともに横ばいとなりましたが、草加市を含めた埼玉東部地区においてはその兆しが見えません。これは同地区を担当する腎臓内科医師にとって恥ずかしく悔しい現実です。先生方と協力して、糖尿病性腎症・慢性糸球体腎炎・腎硬化症を含めた様々な腎疾患の早期発見治療を行い、少しでも透析導入患者さんを減らせるよう地域に貢献したいと考えています。また腎不全治療に対しても、平成26年11月から従来の血液透析に加え、腹膜透析を開始し、当院で腎不全治療を行う患者さんに新たな選択肢を加えることができました。近年腹膜透析を選択する患者さんも増加しており、透析治療選択にあたっては、腎臓内科医師や透析認定看護師

とともに十分な話し合いの時間を持ち、患者さんに最適な治療を提供できるようにしています。

当科医師は東京医科歯科大学腎臓内科学教室より派遣されており、大学ならびに関連病院と緊密に連携をとりながら、患者さまに満足していただける治療・最適な治療を心掛けています。血尿やたんぱく尿などの尿の異常や軽度の腎障害であっても、遠慮なく当科に御相談ください。なお腎臓内科の場合、診察前に採血・尿検査を御願ひすることが多く、患者さんの待ち時間が他科に比べ長くなりますことを御了解ください。



カンファレンス

## ●外来診療(予約制)

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	秦	赤 澤	高橋(直)	須 田	須 田	
午後 (受付13:00~15:00)	須 田	巻 口 腹膜透析外来		腹膜透析外来		

※予約申込時に「診療情報提供書」も併せて送付願ひます。

## ● 診療スタッフ



つかだ よしかず  
**塚田 義一**  
役職 診療部長兼部長  
専門分野 呼吸器一般・肺癌・呼吸器感染症  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本呼吸器学会認定  
呼吸器専門医



おち じゅんいち  
**越智 淳一**  
役職 副部長  
専門分野 呼吸器一般  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本呼吸器学会認定  
呼吸器専門医  
・日本呼吸器内視鏡学会認定  
気管支鏡専門医



しまや かずひろ  
**島矢 和浩**  
役職 医長  
専門分野 呼吸器一般  
専門医  
・日本呼吸器学会認定  
呼吸器専門医



えんどう さとし  
**遠藤 智**  
役職 医師  
専門分野 呼吸器一般



さとう かずあき  
**佐藤 万瑛**  
役職 医師  
専門分野 呼吸器一般



おおつか みつき  
**大塚 弘貴**  
役職 医師  
専門分野 呼吸器一般

## ● 診療対象疾患

- 気管支喘息
- COPD
- 細菌性肺炎
- 間質性肺炎
- 急性呼吸不全
- 慢性呼吸不全
- 自然気胸
- 肺癌
- 縦隔腫瘍
- 悪性胸膜中皮腫 など

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
外来化学療法	364	506
気管支鏡件数	170	186

(医事課、診療情報室より)

## ● 入院実績

	令和3年	令和4年
総数	979	940
肺癌（内視鏡検査を含む）	427	434
肺感染症	370	311
間質性肺炎	53	79
COPD	12	22
気管支喘息	14	14
自然気胸	21	16

※肺感染症にCOVID-19 299件包含

(診療情報室より)

## ● 診療の特徴・特色

安定期のCOPDや喘息治療を地域の先生方  
にお願ひしご加療いただいておりますが特に次  
の疾患については年々増加している印象です。

### ● 悪性腫瘍

気管支内視鏡検査や超音波内視鏡による縦隔  
リンパ節生検によって病理組織学的に診断後に  
治療を開始します。当科では標準的治療を心が  
けておりますが、基本的には患者さん、そのご  
家族と相談のうえ治療方針を決定、治療を行っ  
ています。副作用の少ない患者さんについては  
外来での抗がん剤投与を中心に治療を行って  
います。手術適応のある症例については患者さん  
の希望がない限り当院呼吸器外科外来を受診後、  
東京医科歯科大学呼吸器外科に手術を依頼して  
おります。

東京医科歯科大学や埼玉県の高施設臨床試験  
にも参加しています。

### ● 間質性肺炎

慢性で徐々に呼吸機能が低下するものや急性、  
あるいは慢性期急性増悪など様々な症状があり  
ます。専門的診断、治療を要する疾患であり、場  
合によっては致命的となることもあります。治  
療も時間がかかります。画像上、一見細菌性肺  
炎様の陰影でも抗菌薬による治療抵抗性の場合、  
本疾患を疑う必要があります。

## ● 主な検査・医療設備

主な検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支鏡</li> <li>・超音波内視鏡</li> <li>・簡易睡眠呼吸モニター</li> <li>・在宅酸素療法（濃縮酸素、液体酸素）</li> </ul>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



気管支鏡検査



### ● 非結核性抗酸菌症

慢性の疾患ですが徐々に増悪することがあり  
ます。当院のある医療圏では頻度が多い印象で  
す。確定診断は菌の検出ですが治療薬が限られ  
ており治療に難渋する症例が多々あります。

増えてはませんが次の疾患が多いのも当院  
の特徴です。

### ● 自然気胸

発症後ある程度時間が経過してからの受診の  
患者さんについては胸腔ドレーンを留置せず、  
細い針の穿刺により脱気を行い経過観察として  
おります。ドレーン留置により苦痛なく治療す  
ることができ結果的に不要な処置や入院が減っ  
ています。発症直後の軽度の患者さんについて  
は外来にて胸腔ドレーン留置後、入院あるいは  
在宅での治療を行っています。患者さんの希望  
や肺虚脱が大きい患者さんについては入院とな  
ります。2回目以降の発症やCOPDが基礎にあ  
り難治性の場合、呼吸器外科に手術を依頼し  
ています。

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	佐 藤	塚 田	越 智	遠 藤	島 矢	交替制 (初診のみ)
	島 矢	遠 藤	塚 田	越 智	佐 藤	
午後(再診予約のみ) (受付13:00~15:00)	/		大 塚	/		/

## ● 診療スタッフ

としだ のぶお  
**土信田 伸夫**  
役職 部長  
専門分野 循環器一般  
専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



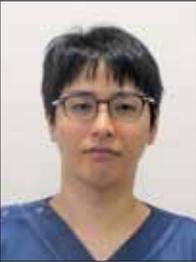
いながき ひろし  
**稲垣 裕**  
役職 部長  
専門分野 虚血性心疾患・  
心血管インターベンション  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



おかだ ひろゆき  
**岡田 寛之**  
役職 副部長  
専門分野 不整脈疾患  
専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



こうら けんじ  
**古浦 賢二**  
役職 副部長  
専門分野 循環器一般  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



すどう ゆうた  
**須藤 悠太**  
役職 医長  
専門分野 循環器一般  
専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



とや ちさし  
**戸舎 稚詞**  
役職 医長  
専門分野 循環器一般  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医  
・日本不整脈心電学会認定  
不整脈専門医



たしろ あきら  
**田代 燦**  
役職 医長  
専門分野 循環器一般  
専門医  
・日本循環器学会認定  
循環器専門医



くどう なお  
**工藤 侃**  
役職 医師  
専門分野 循環器一般



とうやま ようこ  
**東山 陽子**  
役職 医師  
専門分野 循環器一般



## ● 診療対象疾患

- 狭心症 ● 心筋梗塞 ● 心不全 ● 不整脈 ● 弁膜症 ● 心筋炎 ● 心筋症
- 解離性大動脈瘤 ● 静脈血栓症 ● 肺血栓栓塞症 ● 肺高血圧症 など

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
PCI	208	228
(うち緊急PCI)	101	110
カテーテルアブレーション	221	218
うち 肺動脈隔離術	111	62
うち クライオアブレーション	58	93
デバイス植え込み術 (ペースメーカー・ICD・CRT)	70	88
うち 植え込み型除細動器 (ICD)	5	1
うち リードレスペースメーカー	28	46
うち 両室ペーシング (CRT)	-	1
血管内治療 (経皮的血管形成術)	30	53

(診療情報室より)

## ●診療の特徴・特色

### ●経皮的冠動脈インターベンション(PCI)

わが国において、心臓病による死亡はがんについて死因の第2位を占めています。生活習慣の欧米化から高血圧症、糖尿病、高脂血症などの罹患率が上昇し、急性心筋梗塞、不安定狭心症など急性冠症候群の患者数は年々増加しています。当院でも平成24年4月に心臓・脳血管センターの併設開院後、急性冠症候群症例数は増加し、インターベンション専門医である稲垣裕部長を中心に循環器内科医9名による24時間の診療体制をとり、緊急心臓カテーテル検査およびステント留置を含めた緊急PCIを積極的に行っています。

令和4年(1月1日-12月31日)の実績では急性冠症候群110例に緊急PCIを施行し、待機的症例を含めたPCI件数は228例です。また、DCA(方向性冠動脈粥腫切除術)や特殊カテーテル(エキシマレーザー、ロータブレーター)を使用し、通常のス TENT留置術だけでなく、病変、病態にあわせた治療を行っています。心臓血管外科スタッフとの連携も円滑、緊密で内科および外科が一つのチームとして虚血性心疾患の治療にあたっています。

### ●不整脈

不整脈診療においても不整脈専門医である岡田寛之副部長を中心にカテーテルアブレーション(RFCA)治療を積極的に行っています。令和4年(1月1日-12月31日)の実績ではRFCAを218例施行し、発作性および持続性心房細動に

対するカテーテルアブレーション(肺静脈隔離術)を62例施行しています。また発作性心房細動に対するクライオアブレーションは93例でした。

デバイス治療に関しては、ペースメーカー植え込み術88例でした。

また、2018年よりリードレスペースメーカー植込を始め、デバイス感染などの合併症のリスクを回避できることから件数が増加しています。



カテーテルアブレーション

### ●その他の血管疾患

閉塞性動脈硬化症(ASO)に対する下肢PTA治療は53例、静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症+肺血栓塞栓症)に対して、下大静脈フィルター留置術や、近位部に多量の深部静脈血栓が残存する場合には、カテーテル血栓溶解療法も施行しています。

残念ながら動脈硬化外来は休止中ですが、心臓血管外科とも協力し、可能な範囲で対応しています。

## ●主な検査・医療設備

主な検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>心エコー</li> <li>経食道心エコー</li> <li>超音波ドプラー法</li> <li>頸動脈エコー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血管エコー</li> <li>トレッドミル運動負荷心電図</li> <li>心臓カテーテル検査</li> <li>冠動脈造影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気生理検査</li> <li>心筋生検</li> </ul>
心電図	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホルター心電図(24時間, 1週間)</li> <li>加算平均心電図(レートポテンシャル)</li> </ul>		
核医学検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>心筋シンチグラフィー</li> <li>負荷心筋シンチグラフィー</li> </ul>		
脈波伝達速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>下肢・上肢血圧比(ABI)</li> <li>皮膚灌流圧(SPP)</li> </ul>		

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	須藤	土信田	岡田	工藤	土信田	交替制
	戸舎	稲垣		古浦	稲垣	
	田代	新患当番	東山	新患当番		
午後(専門外来) (受付13:00~15:00)	須藤 (ペースメーカー)	須藤 (ペースメーカー)	岡田 (ペースメーカー)		岡田 (不整脈)	

\*ペースメーカー外来は、完全予約制ですが、連携予約できません。

## 診療スタッフ

やうち つねひと  
**矢内 常人**



**役職**  
病院事業管理者・病院長

**専門分野**  
消化器一般・肝臓病

**専門医**  
・日本消化器病学会認定消化器病専門医  
・日本内科学会認定総合内科専門医  
・日本肝臓学会認定肝臓専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

わたなべ しょう  
**渡辺 翔**



**役職** 医長

**専門分野**  
消化器一般・消化管アレルギー

**専門医**  
・日本消化器病学会認定消化器病専門医  
・日本肝臓学会認定肝臓専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

くりはら まさみち  
**栗原 正道**



**役職** 医長

**専門分野**  
消化器一般

**専門医**  
・日本消化器病学会認定消化器病専門医  
・日本肝臓学会認定肝臓専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

まつかわ なおき  
**松川 直樹**



**役職** 医長

**専門分野**  
消化器一般

**専門医**  
・日本消化器病学会認定消化器病専門医  
・日本肝臓学会認定肝臓専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

まちだ ともよ  
**町田 智世**



**役職** 医長

**専門分野**  
消化器一般

**専門医**  
・日本消化器病学会認定消化器病専門医  
・日本消化管学会認定胃腸科専門医  
・日本肝臓学会認定肝臓専門医  
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

うが みすぎ  
**宇賀 美杉**



**役職** 医師

**専門分野**  
消化器一般

ふじい りょうすけ  
**藤井 亮輔**



**役職** 医師

しぶや けいたろう  
**渋谷 慶太郎**



**役職** 医師



非常勤医師  
こばし けんいちろう  
**小橋 健一郎**  
(専門分野 消化器一般)

非常勤医師  
ちんせい りょうこ  
**鎮西 亮子**  
(専門分野 消化器一般)

非常勤医師  
いまじょう まおみ  
**今城 眞臣**  
(専門分野 内視鏡)

非常勤医師  
ふじい たかし  
**藤井 崇**  
(専門分野 内視鏡)

非常勤医師  
ふじい としみつ  
**藤井 俊光**  
(専門分野 炎症性腸疾患)

## 診療対象疾患

- 消化管疾患**
- 食道疾患(食道炎など)
  - 胃疾患(胃潰瘍、ピロリ菌感染症など)
  - 消化管アレルギー、好酸球性消化管疾患
  - 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)
  - 消化管腫瘍(食道癌、胃癌、大腸癌)など

- 肝疾患** ● 急性肝炎、慢性肝炎(B型、C型、自己免疫) 肝硬変、肝細胞癌など
- 胆道系疾患** ● 胆のう炎、総胆管結石、胆管炎、胆道癌など
- 膵疾患** ● 膵炎、膵癌など

## 診療の特徴・特色

良性・悪性(早期がん・進行がん)にかかわらず全ての消化器疾患に対応しております。

内視鏡に関してはここ数年で設備を一新し、最新の内視鏡による治療・診断を行っております。合併症の多い患者さんでも適応を慎重に検討した上で、最適な治療を提供しております。右記載の通り、あらゆる内視鏡治療を施行しております。

肝胆膵疾患においても積極的に精査・治療を施行しております。胆膵疾患におけるERCPやEUSなどの内視鏡精査・治療にも精力的に施行しております。

さらに多くの進行がんに対しては、化学療法や放射線療法など個々の患者さんに最適な治療を行っております。

当科は東京医科歯科大学の関連病院の中でも症例が多い(特に内視鏡治療の多い)病院の一つです。ほぼすべての領域で、大学と同等の水準での診断・治療が可能です。

草加市内だけでなく近隣の市の先生方からのご紹介も増えており、緊急症例も多く紹介していただいております。他院入院中で、緊急の処置を必要とする患者さんの転院も適宜対応しております。

### ●炎症性腸疾患

東京医科歯科大学消化器内科と協力し診療にあたっており専門外来も行っておりますので地域医療連携相談室を通してご利用ください。

### ●消化管アレルギー専門外来

令和5年4月より新規開設しました。食事摂取後数時間経過してから非特異的な急性胃腸炎症状を繰り返す「食物蛋白誘発性胃腸炎(FPIES)」や厚生労働省の指定難病である「好酸球性消化管疾患」などを対象に毎週金曜日午後完全予約制で診療を行って参ります。

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
上部消化管内視鏡	2,458	2,292
食道ESD	8	5
胃ESD	39	42
上部消化管止血術	67	67
食道金属ステント		
胃・十二指腸金属ステント	5	10
食道静脈瘤治療	11	16
EVL食道・胃静脈瘤結紮術	10	13

	令和3年	令和4年
下部消化管内視鏡	2,052	2,019
大腸EMR	445	552
大腸ESD	35	36
下部消化管止血術	25	23
大腸金属ステント	15	24
ERCP	226	307
胆道ステント	108	114
EUS	58	98
EUS-FNA	24	45

(医事課より)

## ● 主な検査・医療設備

上部消化管内視鏡検査	高画質の内視鏡を用いた食道・胃十二指腸の観察・診断を行っています。患者さんの苦痛の軽減のため、全例に炭酸ガス送気装置を使用し、必要に応じてモニター装置装着にて鎮静も行っていきます。過不足ない診断のため、随時NBIを用いた画像強調観察・拡大内視鏡・色素拡大内視鏡を行っています。内視鏡と同時に迅速ウレアーゼ試験によるピロリ菌感染の診断も可能です。胃の早期がんに対するESDを積極的に行っています。
下部消化管内視鏡検査	患者さんの苦痛の軽減のため、基本的にオリンパス社の受動湾曲機能を有するスコープを使用し、更に個々のニーズに応じて外径9.2mmの細径内視鏡を使い分けています。全例に炭酸ガス送気装置を使用し、必要に応じてモニター装置装着にて鎮静も行っていきます。大腸ポリープ・早期癌の的確な質的診断・深達度診断のため、NBIによる画像強調・色素拡大観察によるリアルタイムでの内視鏡診断を行っています。大腸ポリープ・早期がんに対するポリペクトミー・EMR・ESDを積極的に行っています。
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)	ERCPの専用機(十二指腸鏡、側視鏡)を用いて胆管・膵管造影を行い、総胆管結石症はじめ、良性胆道狭窄(肝内結石症、IgG4関連疾患など)、悪性胆道閉塞(膵がんや胆管がんなど)に対する診断・治療を行います。EST(乳頭切開術)、EPLBD(乳頭拡張術)による結石除去、ステント留置(メタルステント含む)症例は多く、積極的に行っています。また、症例は少ないものの、術後再建腸管に対するERCPも行っています。
EUS (超音波内視鏡検査)	超音波内視鏡の専用機(コンベックス型)を用いて、膵臓がんの早期診断(EUS-FNA:超音波内視鏡下針生検)、主膵管拡張や膵嚢胞性病変(IPMNやMCN、SCN)の精査、インターベンション(自己免疫性膵炎に対するEUS-FNA、膵仮性嚢胞に対するドレナージなど)を積極的に行っています。
外来化学療法室	各種消化器癌に対する抗がん剤や分子標的薬の治療を行っています。炎症性腸疾患に対しレミケード等生物学的製剤による治療を行っています。

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	栗原	渡辺	町田	栗原	栢川	交替制
	宇賀	● 鎮西	宇賀	藤井	渡辺	
午後 (受付 13:00~15:00)			● 藤井(月2回) (炎症性腸疾患)		渡辺 (消化管アレルギー)	

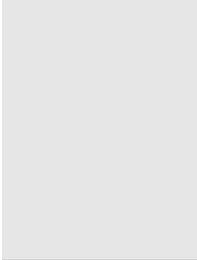
※●は非常勤医師です。 ※炎症性腸疾患外来は完全予約制になります。

## ● 診療スタッフ

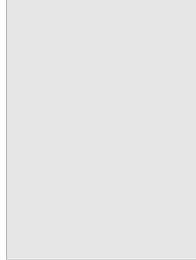
なかがわ つねあき  
**中川 恒明**  
役職  
診療部長(兼)放射線科部長  
専門分野  
画像診断  
専門医  
・日本医学放射線学会認定  
放射線診断専門医  
・日本医学放射線学会認定  
医学放射線研修指導者



まつい なみこ  
**松井 南美子**  
役職 医長  
専門分野  
画像診断



ひぐち すばる  
**樋口 昂**  
役職 医師  
専門分野  
画像診断



ながの たくや  
非常勤医師 **長野 拓也**  
(専門分野 放射線治療)

くわばら ひろふみ  
非常勤医師 **桑原 宏文**  
(専門分野 放射線治療)

しまだ まさゆき  
非常勤医師 **島田 雅之**

たかはし かなえ  
非常勤医師 **高橋 叶衣**

## ● 診療対象疾患

- 悪性腫瘍に対する放射線治療
- 画像診断 (CT・MRI・核医学)

## ● 診療の特徴・特色

当院放射線科は、各種画像診断(CT・MRI・アイソトープ検査・一般撮影・消化管造影・血管造影等)、ならびに放射線治療を主業務としております。これらの診療放射線業務に際して、地域医療連携を積極的に行っております。

当科では他院の患者さんのCT・MRI・アイソトープ検査(脳血流、骨、Gaシンチ等)や放射線治療を受け入れています。

画像診断検査の結果はCD-R当日お渡しし、報告書は翌開院日に郵送しております。なお、放射線治療専門医は非常勤であり、放射線科は入院病棟を持たないため、原則として放射線治療は通院可能な方のみとさせていただきます。

近年の画像機器の進歩は目覚ましいものがあり、微細な病変の描出および評価が、以前にも増して

求められるようになり、それによる医療被ばくの増加も懸念されるようになっております。当科においても新しい機器やシステムを導入し、医療の高度化を目指しておりますが、患者さんの負担軽減と被ばくを最小限に抑えることを常に考え、日々の業務に邁進しております。

更に、昨年に引き続き「患者さんに安心して検査・治療を受けていただくために、思いやりをもって丁寧な検査を行う」を当科の組織目標として掲げ、業務遂行してまいります。

当科を地域の先生方に安心してご利用いただき診療の一助となり、少しでも地域の市民の皆さまに貢献できれば幸いです。

## ● 主な検査・医療設備

主な検査	詳しくは、院内各部門の放射線科を参照してください。
------	---------------------------

## ● 画像診断・治療機器

CT	320列マルチスライス (Aquilion ONE)
MRI	1.5テスラ (Vantage Titan)
乳房X線撮影装置	フラットパネル型 (FDR MS-2500)
血管撮影装置	Infinix Celeve (INFX-8000)
核医学装置	SIEMENS (Symba Evo Excel)
放射線治療装置	Elekta Synergy

詳しくは、院内各部門の放射線科を参照してください。

## ● 主な治療実績

		令和3年	令和4年
放射線治療	件数	4,090	4,274
	人数	174	194

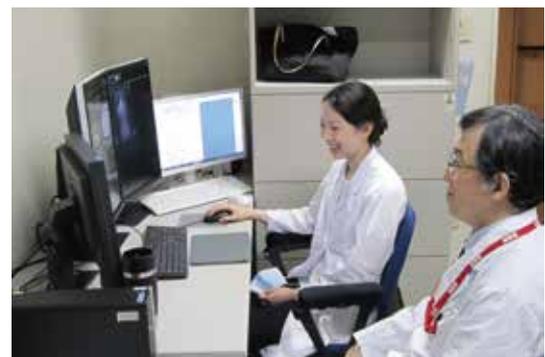
(医事課より)



CT検査風景



読影室



読影室

## ● 診療スタッフ



すずき ともよし

鈴木 友宜

役職 部長  
専門分野  
緩和ケア

## ● 診療対象となる症候、疾患

- 悪性腫瘍
- 心不全、呼吸不全などの症状緩和を要する慢性疾患



## ● 診療の特徴・特色

当院緩和ケア科は、2019年10月より診療を開始しており、外来・入院患者さんの症状緩和に努めています。

緩和ケア科の診療は、大きく分けて緩和ケア外来、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟の3つとなります。緩和ケアチームは当院入院中の方が対象となりますが、緩和ケア外来と緩和ケア病棟はいずれも、院外からの受け入れも行ってまいりますので、疼痛などでお困りの際は、お気軽にお問い合わせください。

緩和ケア外来では、悪性腫瘍に限らず、心不全や呼吸不全などの慢性疾患においても、地域の先生方や当院の主治医と連携を図り、疼痛・呼吸苦・嘔気などの身体的な症状から、不安などの精神的な症状の緩和まで対応しております。初診は平日午後2時に外来枠を設定していますが、その後は患者さんの都合にあわせて、午前中に予約を設定するなど、柔軟な対応を心がけています。

緩和ケアチームは、当院入院患者さんを対象とし、身体や心につらさを緩和する治療やケアを、病棟担当医や担当看護師と一緒に考え、その方らしい療養生活を支援することを目的としています。緩和ケアチームのサポートが必要と担当医療者が判断した時、もしくは、ご本人やご家族からの希望があった時に、当チームへの依頼が出され、随時病棟にて診察を行います。診察結果を踏まえて、担当医や担当看護師、薬剤師らと相談の上、薬やケアの方法など調整す

るサポートを行っています。

当院緩和ケア病棟は、2020年7月に正式に開棟しました。対象は、悪性腫瘍の患者さんに限られますが、病気の進行に伴い生じる様々なつらさを和らげるための専門的な治療とケアを提供しています。

当初は、当院かかりつけの患者さんのみを対象としておりましたが、2020年9月より、他院治療後の患者さんの受け入れも開始しており、地域訪問診療の先生方からの依頼もお受けしております。より一層、地域の先生方と密な連携を図り、Seamlessな診療を心がけて参りたいと考えております。介護者の休息を目的としたレスパイト入院につきましては、昨今のコロナウィルスの影響により、2023年2月現在、実現の目処がたっておりません。緩和ケア病棟では、入院に先立って緩和ケア病棟入院相談外来を受診いただく必要があります。緩和ケア外来同様、平日午後2時より外来枠を設定しておりますので、予約をお願いいたします。お急ぎの場合は、当日の受診も可能な限りお受けいたしますので、ご相談ください。緩和ケア病棟への入院は、先着順ではなく病状により検討しています。特に在宅において強い症状などで早期対応が望まれる場合は、緊急対応も行っております。適宜ご相談いただければ幸いです。緩和ケア病棟入院後は早期の症状緩和をはかり、基本的に在宅への復帰を目指していますので、宜しくお願い致します。

## ● 地域医療機関の先生方へ

当院緩和ケア科は、2019年10月に開設され、2023年2月現在、常勤1名体制で対応しております。2020年7月に緩和ケア病棟が正式に開設に至り、東京などでのがん治療を終了された患者さんの受け入れを開始するなど、緩和ケアが草加市のがん診療の1つの柱となるべく、これからも鋭意努力を積み重ねて参りますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

症状緩和におきましては、迅速な対応を求められる場面も多々あるため、当院緩和ケア科では、地域医療機関の先生方との連携を重視し、要請があった場合には、スタッフ一同スムーズな対応を心がけて参ります。緩和ケア病棟では先にあげさせていただきました通り、早期の症状緩和と在宅復帰を目標としており、退院となった際は、地域の先生方に訪問診療をお願いさせていただくことがありますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。当院緩和ケア病棟退院後、再度症状悪化やADL低下などで在宅療養が困難となってしまった場合は、当院にて対応させていただきます。



診察風景



病室



家族控室



カンファレンス

## ● 主な治療実績

### 相談件数

	令和4年
入院相談件数	199

(医療福祉相談室より)

### 緩和ケア病棟入棟患者数

	令和4年
転棟	96
予定入院	30
緊急入院	49
転院	9
計	184

(医事課より)

### 悪性腫瘍内訳 (退院患者)

	令和4年
胃	18
大腸	25
肝臓・胆嚢・膵臓	49
乳腺	5
肺	37
膀胱・腎臓・腎盂・尿管	8
前立腺	10
血液	9
子宮・卵巣	16
その他	17
計	194

(診療情報管理室より)

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午後 (受付14:00)	鈴 木	鈴 木	鈴 木	鈴 木	鈴 木	

※予約の際は必ず相談員にご相談をお願いします。

※予約申込時に「診療情報提供書」も併せて送付願います。

## ● 診療スタッフ

にいぜき ゆみ



新関 祐美

役 職

リハビリテーション医学科長

専門分野

手・肘・肩

専門医

・日本整形外科学会認定

整形外科専門医

・日本整形外科学会認定

リウマチ医

・日本手外科学会認定

手外科専門医

・日本リハビリテーション医学会認定

リハビリテーション専門医

## ● 構成

令和5年4月現在、リハビリテーション医学科は医師1名で構成されています。



理学療法室

## ● 業務紹介

当院は二次医療機関であるため、当科も急性期入院患者さんに対するリハビリテーションを重点的に行っています。

その治療対象は多岐にわたり、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、外傷（骨折、靭帯損傷など）や退行変性疾患（変形性関節症など）術後等の運動器疾患、心筋梗塞や心不全などの循環器疾患、肺炎や慢性呼吸器疾患などの呼吸器疾患が中心となっており、その他安静により身体機能が低下した方々にも対応しています。

平成24年4月に「心臓・脳血管センター」が開設

されて以降、リハビリテーション科においても急性期医療をさらに充実させるために同年度からリハビリテーション科稼働日の増加を徐々に進め、現在では毎週土曜日の他、ゴールデンウィークや年末年始においてもリハビリテーションが提供できる診療体制となっています。

今後も二次医療機関の責務を果たすべく、より効果的な急性期リハビリテーションの実施を目指していきます。地域のニーズにも対応していけるよう、多くの医療機関の方々のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



作業療法室



理学療法室



やすみず たけひこ  
**安水 洸彦**

役職 顧問

専門分野  
産科婦人科

専門医

- ・日本産科婦人科学会認定  
産婦人科専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会認定  
婦人科腫瘍専門医
- ・日本内分泌学会認定  
内分泌代謝専門医

非常勤医師

やまわき まち  
**山脇 真智**

## ● 診療の特徴・特色

数年間にわたり新患診療を休止し、地域の先生方にご迷惑をおかけしました。このたび診療体制が整い、患者さんの新規受診に対応ができるようになりました。一般的婦人科疾患に加え、女性の内分泌疾患や老年期疾患を中心に診療します。ただし、常勤医師が不在のため、入院・手術診療はまだ行えません。



診察風景

産婦人科  
診療部門

## ● 外来診療(完全予約制)

	月	火	水	木	金	土
午後 (受付14:00)	再診	再診	●山脇	●安水	再診	

※予約の際は必ず医療機関からお申込ください。

※予約申込時に「診療情報提供書」も併せて送付願います。

※●は非常勤医師です。

## 診療スタッフ

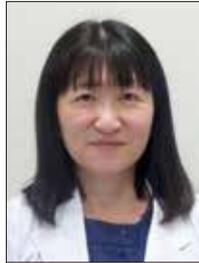
は せ が わ た け し  
**長谷川 毅**

役 職 診療部長兼部長  
専門分野 小児神経学  
専門医  
・日本小児科学会認定  
小児科専門医



い し ば し な お こ  
**石橋 奈保子**

役 職 副部長  
専門分野 小児科一般・小児循環器  
専門医  
・日本小児科学会認定  
小児科専門医  
・日本小児循環器学会認定  
小児循環器専門医



た き し ま し げ る  
**滝島 茂**

役 職 副部長  
専門分野 小児科一般・小児内分泌・小児糖尿病  
専門医  
・日本小児科学会認定小児科専門医-指導医  
・日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医  
・日本糖尿病学会認定糖尿病専門医  
・日本周産期-新生児医学会認定  
新生児蘇生法専門コースインストラクター  
国際認定ラクテーション・コンサルタント (IBCLC)



ま つ た の ぞ み  
**松田 希**

役 職 医長  
専門分野 小児科一般・小児内分泌  
専門医  
・日本小児科学会認定  
小児科専門医  
・日本内分泌学会認定  
内分泌代謝科専門医  
・日本糖尿病学会認定  
糖尿病専門医



さ と う た け し  
**佐藤 健**

役 職 医長  
専門分野 小児科一般  
専門医  
・日本小児科学会認定  
小児科専門医



さ と う か お る  
**佐藤 薫**

役 職 医長  
専門分野 小児科一般  
専門医  
・日本小児科学会認定  
小児科専門医



ふ せ し ょ う じ  
**布施 譲嗣**

役 職 医長  
専門分野 小児科一般・小児神経



ひ き ま ま さ た か  
**引間 叡孝**

役 職 医師  
専門分野 小児科一般



た き さ わ ち え こ  
**瀧澤 千絵子**

役 職 医師  
専門分野 小児科一般



む ら や ま さ と し  
**村山 哲**

役 職 医師  
専門分野 小児科一般



お お く ち い く お  
**大口 郁夫**

役 職 医師  
専門分野 小児科一般



お く つ み か  
非常勤医師 **奥津 美夏**  
(専門分野 小児腎臓)

き く ち と も ゆ き  
非常勤医師 **木口 智之**  
(専門分野 アレルギー)

## 診療対象疾患

- 各種感染症
- 神経疾患(てんかん、発達障害など)
- 内分泌疾患(低身長、糖尿病、甲状腺疾患など)
- 循環器疾患(川崎病、不整脈、先天性心疾患など)
- アレルギー疾患(食物アレルギー、気管支喘息など)
- 呼吸器疾患(気管支炎、肺炎など)
- 消化器疾患(感染性胃腸炎、腸重積など)
- 腎疾患(急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など)
- 新生児疾患(在胎35週以上) など

## 主な入院実績

	令和3年	令和4年
下気道感染症	46	40
気管支喘息・喘息性気管支炎	24	43
感染性胃腸炎	14	35
川崎病	54	33

	令和3年	令和4年
けいれん性疾患	33	38
尿路感染症	47	46
食物経口負荷試験	66	83

(診療情報室より)

## ●診療の特徴・特色

中学生までを対象とした外科的疾患、悪性疾患、早産児（在胎35週未満）以外は原則として当科で診療を行っています。

入院症例としては昨年度の実績で細菌性肺炎 6例、気管支喘息 26例、感染性胃腸炎 20例、川崎病 52例、けいれん性疾患 41例、尿路感染症 35例、ネフローゼ 3例などが主なものです。

小児科医が毎日当直しており、休日夜間時間外の救急・入院対応も行っていきます。



小児科外来診察風景

## ●その他

睡眠時無呼吸症候群の簡易検査や心理カウンセリングも行っていきます。

### ●草加市立病院小児科勉強会（オンライン開催）

年3回

### ●こども健康教室（現在休止中）

年3回（内容は小児の蘇生、急性疾患、アレルギー、発達の問題等）



小児病棟よみきかせ

## ●主な検査

神経疾患	・脳波 ・CT ・MRI ・神経伝達速度 など
循環器疾患	・心エコー ・トレッドミル負荷心電図 ・ホルター心電図 など
アレルギー疾患	・特異的 IgE ・食物経口負荷試験 など
内分泌疾患	・成長ホルモン分泌刺激試験 ・持続皮下インスリン注入療法(CSII) ・持続血糖モニタリング (CGM) など
腎疾患	・排尿時膀胱造影 ・腎シンチ など

## ●外来診療

午前（受付 8:00～11:00）

	月	火	水	木	金	土
一般外来	布施	滝島	長谷川	長谷川	滝島	長谷川
	石橋	佐藤（健）	石橋	松田	佐藤（健）	交替制
	佐藤（薫）	引間	佐藤（薫）	布施	引間	

午後（受付 13:00～15:00）

専門外来	月	火	水	木	金	土
小児神経	布施		長谷川	長谷川	長谷川	
小児心臓	石橋		石橋			
小児内分泌				松田(第1・3・5) 滝島(第2・4)	滝島 (第1・3・5)	
小児アレルギー						※AMのみ ●木口(第1・3)
小児腎臓					●奥津 (第2・4)	
心理(午前・午後)	●的場 (臨床心理士)		●的場 (臨床心理士)	●的場 (臨床心理士)		
予防接種/乳児健診	予防接種	乳児健診	シナジス	乳児健診	予防接種	

※●は非常勤です。 ※専門外来は予約できません。

### 【専門外来】

●乳児健診 毎週2回(火・木)

●予防接種 毎週2回(月・金)

●シナジス接種 毎週1回(水)

●アレルギー外来 第1・3(土)  
担当：非常勤医師

●腎臓外来 隔週(金)  
担当：東京医科歯科大学派遣医師

●神経外来 毎週4回(月・水・木・金)  
担当：長谷川部長 布施医師

●心臓外来 毎週2回(月・水)  
担当：石橋副部長

●内分泌外来 毎週1回(木)第1・2・3・4、  
(金)第1・3・5  
担当：滝島副部長 松田医長

## ● 診療スタッフ

にしおか よしのぶ



**西岡 良薫**

役職 副院長  
 専門分野 外科一般（鏡視下外科）  
 専門医  
 ・日本外科学会認定  
 外科専門医  
 ・日本消化器外科学会  
 認定消化器外科専門医

みつり ゆうすけ



**光法 雄介**

役職 部長  
 専門分野 肝胆膵外科  
 専門医  
 ・日本外科学会認定  
 外科専門医  
 ・日本消化器外科学会  
 認定消化器外科専門医  
 ・日本肝胆膵外科学会認定  
 肝胆膵外科高度技能専門医

ぼぼ ひろのぶ



**馬場 裕信**

役職 副部長  
 専門分野 消化器外科  
 専門医  
 ・日本外科学会認定外科専門医  
 ・日本消化器外科学会認定  
 消化器外科専門医  
 ・日本消化器病学会認定  
 消化器病専門医  
 ・日本消化器内視鏡学会認定  
 消化器内視鏡専門医

こばやし けんた



**小林 建太**

役職 医長  
 専門分野 消化器外科  
 専門医  
 ・日本外科学会認定外科専門医  
 ・日本消化器外科学会認定  
 消化器外科専門医  
 ・日本消化器病学会認定  
 消化器病専門医  
 ・日本消化器内視鏡学会認定  
 消化器内視鏡専門医

さとう たく



**佐藤 拓**

役職 医長  
 専門分野 消化器外科  
 専門医  
 ・日本外科学会認定外科専門医  
 ・日本消化器外科学会認定  
 消化器外科専門医  
 ・日本消化器病学会認定  
 消化器病専門医  
 ・日本消化器内視鏡学会認定  
 消化器内視鏡専門医

ふくよ りょうすけ



**福与 涼介**

役職 医長  
 専門分野 外科一般

いしはら さきこ



**石原 早希子**

役職 医長  
 専門分野 乳腺外科  
 専門医  
 ・日本外科学会認定  
 外科専門医

いとう



**伊藤 その**

役職 医長  
 専門分野 外科一般  
 専門医  
 ・日本外科学会認定  
 外科専門医

いけだ しんたろう



**池田 晋太郎**

役職 医師  
 専門分野 外科一般

## ● 診療対象疾患

- 消化器悪性腫瘍（食道、胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓等）
- 胆道良性疾患（胆石症、総胆管結石症等）
- 急性腹症（急性虫垂炎、急性胆のう炎、消化管穿孔、腸閉塞等）
- 肛門疾患（内痔核、痔瘻、直腸脱等）
- 鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア ● 乳腺疾患

## ● 診療の特徴・特色

当科は、上記診療スタッフにて、各臓器の専門医を中心に、消化器・一般外科の領域をカバーし、診療にあたっています。緊急手術が必要になる可能性のある急性腹症は、いつでも診療・治療できる体制をとっておりますので、お困りの際はお気軽にご連絡ください。

### ● がんの診療

昨今、がんを発症する患者さん、がんで亡くなる患者さんは増加傾向にあり、早期発見・早期治療がますます重要になってきております。はっきりとしたがんの診断が難しい場合も多く、がんが疑われる状況などでお困りの際にも、お気軽にご連絡ください。消化器がん、乳がんにおいては、根治するためには手術による切除が必要な場合がほとんどです。一方で、がんの進展度などによっては、術前に抗がん剤による化学療法など

を行うことが適している場合もあります。経験豊富なベテランと元気の良い若手が力を合わせ、常に最善の治療を行うべく日々研鑽しています。患者さんをご紹介いただいた際には、消化器内科との協力はもちろんのこと、必要に応じてカンサーボード（多職種での検討会議）にて個々の患者さんの状況をきめ細かく検討した上で方針を決定し、適切な治療を行っています。また、根治が難しいと考えられる進行したがんの患者さんにも、治療の可能性を諦めずに検討し、緩和ケア科など他部門とも密接に連絡を取って、患者中心の医療を行っています。転院や在宅医療をお願いする患者さんもおられると思いますが、その際にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

すきもと ひとし  
 非常勤医師 **杉本 斉**  
 （専門分野 乳腺外科）

●鏡視下手術

鏡視下手術の技術進歩は目まぐるしく、多くの手術が安全に鏡視下にできるようになってきています。当科においても、最新鋭の機器を取り入れつつ、技術を高めてまいりました。鏡視下手術のメリットは、傷が小さく、術後の回復も早く、患者さんに優しいとされているところです。手術治療を行う際には、適応を慎重に検討し、安全性を十分に考慮して、積極的に鏡視下手術を行っています。

●乳腺外来

乳がんをはじめとした乳腺疾患は、外科の中でも専門性の高い領域です。当科では東京医科歯科大学腫瘍外科乳腺グループと強い協力関係のもと、精密検査、手術治療、化学療法と、集学的治療を積極的に行っています。

●肝胆膵外来

肝がん、胆道がん、膵がんは、治療が難しく、予後が不良ながんの代表です。特に、膵がんは罹患者・死亡者数ともに増加しており、早期発見・早期治療が重要です。手術が必要な際には、肝胆膵外科高度技能専門医をはじめとしたスタッフが、全力で治療にあたらせていただきます。

●ロボット手術

2023年4月より手術支援ロボット「ダヴィンチXi」が導入されました。特に大腸がんの領域において、鏡視下手術をさらに発展させた精度の高い安全な手術が可能となり、地域の皆様へ最新の医療を提供してまいります。

●主な治療実績

	令和3年	令和4年
手術	695	632
胃癌	39	53
大腸癌	173	138
乳癌	71	70
肝胆膵悪性腫瘍	34	26
胆石総胆管結石症	86	78
虫垂炎	81	77

	令和3年	令和4年
ヘルニア	118	119
鏡視下手術	317	325
胃癌 鏡視下	22	41
大腸癌 鏡視下	108	94
胆石 鏡視下	74	71
虫垂炎 鏡視下	70	67
ヘルニア 鏡視下	25	32

(診療情報室より)

●主な検査・医療設備

上部内視鏡検査	通常の食道、胃、十二指腸検査に加え超音波内視鏡検査、治療としてポリペクトミー、内視鏡下粘膜切除術を行っています。
下部内視鏡検査	大腸内視鏡検査に加え超音波内視鏡検査、治療としてポリペクトミー、内視鏡下粘膜切除術を行っています。
CT	腫瘍の浸潤、肝、肺への遠隔転移の診断に主に使用します。
MRI	腫瘍の浸潤、肝への遠隔転移の診断、乳癌の拡がりの診断に役立ちます。
マンモグラフィー	微細な石灰化の検出に優れます。
超音波検査	腫瘍の浸潤、肝への遠隔転移の診断、乳癌の拡がりの診断に役立ちます。
マンモトーム	吸引システムにより、狙った病変部の組織検体を通常の穿刺組織診断より多く採取できるため診断精度が向上します。
骨シンチグラフィ	癌の骨転移の診断に用います。
主な医療設備	センチネルリンパ節用アイソトープ検出器／放射線照射機器

●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	石原	西岡	光法	馬場	小林	池田
	小林	馬場	佐藤	伊藤	光法	
	佐藤	伊藤	福与	池田	福与	
乳腺外来 PM				石原	交替制	
スキンケア外来		●品田 <sup>(第3)</sup> ・風巻				
肝胆膵外来 PM			光法			

※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ



いしかわ ゆうや

石川 祐也

役職 医長

専門分野  
呼吸器外科

専門医

・日本外科学会認定  
外科専門医  
・呼吸器外科専門医  
合同委員会認定  
呼吸器外科専門医  
・日本呼吸器内視鏡学会認定  
気管支鏡専門医

非常勤医師

おおくほ けんいち  
大久保 憲一

## ● 診療対象疾患

- 気胸
- 膿胸
- 肺癌
- 転移性肺腫瘍
- 縦隔腫瘍
- 悪性胸膜中皮腫 など

## ● 診療の特徴・特色

当院呼吸器外科は2022年4月1日より上記2名体制となり、診療を開始しました。患者さん一人一人に適した安全な外科治療を提供することをモットーに、呼吸器内科医師をはじめとした他科医師と連携を図りつつ、診療を進めております。また、傷が小さく、術後の回復も早い胸腔鏡手術を積極的に取り入れております。

可能な範囲で当院での手術治療を検討しておりますが、必要な場合には協力関係にある東京医科歯科大学呼吸器外科でのより高度な集学的治療を依頼しております。

## ● 地域医療機関の先生方へ

当院呼吸器外科は2022年4月に開設され、常勤1名、非常勤1名体制で診療にあたっております。以前は外来診療のみでしたが、科の開設に伴い、2022年6月より手術治療を含めた入院診療が可能となりました。気胸、肺がん、縦隔腫瘍をはじめとした手術適応症例を広く受け入れるとともに、総合病院の強みを生かすべく、他科医師と協力しつつ、術前の精査から術後の経過観察まで親身な対応を心がけております。

当科が草加市における呼吸器外科診療の中心的存在となれるよう、日々努力を重ねて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いたします。患者さんのご紹介をお待ち申し上げます。

## ● 主な治療実績

	令和4年	うち胸腔鏡手術
転移性肺腫瘍手術	2	2
特発性自然気胸に対する手術	7	7
続発性自然気胸に対する手術	5	5
膿胸に対する手術	2	2
生検術	2	2
その他	1	1
計	19	19

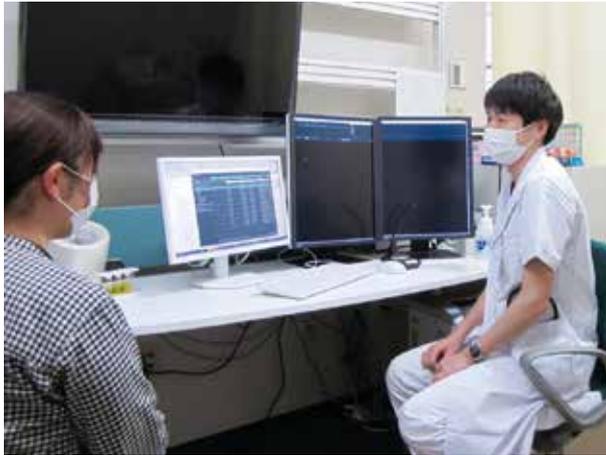
(診療科より)

## ● 主な検査・医療設備

外来検査	CT・MRI・呼吸機能検査 など
手術室設備	硬性鏡、胸腔鏡手術機器 など



胸腔鏡手術



診察風景



胸腔鏡手術

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	石川			● 大久保 (第1・3・5) (予約不可)		

※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ



たむら きよし

**田村 清**

役 職 部長

専門分野  
心臓外科・大動脈外科・  
末梢血管外科

専門医

・日本外科学会認定  
外科専門医  
・日本胸部外科学会認定  
心臓血管外科専門医



さくらい りょうご

**櫻井 翔吾**

役 職 医長

専門分野  
心臓血管外科

専門医

・日本外科学会認定  
外科専門医

## ● 診療対象疾患

- 心 臓 ● 狭心症 ● 心筋梗塞
- 弁膜症 ● 先天性心疾患
- 不整脈
- 大 動 脈 ● 大動脈瘤(胸部、腹部)
- 大動脈解離
- 末梢血管 ● 閉塞性動脈硬化症
- 動脈閉塞 ● 末梢動脈瘤
- 静 脈 ● 静脈瘤
- そ の 他 ● 末期腎不全

## ● 診療の特徴・特色

日本循環器学会が提唱するガイドラインを遵守して治療を行っています。2012年4月の心臓・脳血管センター開院に伴い、同年10月に心臓血管外科が開設され、診療を行っております。さらに最新の設備をもつ心臓血管外科手術室が同年11月に同センターと直結して本館内に新設され、本格的な開心術などの手術を開始しております。また、カテーテルでの治療が困難な患者さんはセンターでの診察後に同手術室へ搬送され、緊急手術を受けることが可能です。

手術後は同じセンターのHCU（高度治療室）に入院し、循環器内科と心臓血管外科の医療チームおよび看護チームがお互いに連携して患者さんの集中管理を行い、早期の社会復帰ができるよう治療に専念します。また、救急科と連携して緊急手術にも対応しています。

2014年10月から大動脈瘤に対してステントグラフト治療を開始しています。また、2015年5月から下肢静脈瘤に対して血管内焼灼術（ラジオ波治療※）を行っています。2018年5月より、冠動脈バイパス術の際、グラフトとして大腿の大伏在静脈採取する時に内視鏡を使用して小切開で採取しています。

2019年9月より右小開胸（皮切7cm）による大動脈弁置換術を行っています。

2020年9月より下肢静脈瘤に対する血管閉塞術を行っています。

2022年12月より、左小開胸による冠動脈バイパス術を行っています。

※注釈：レーザー治療より新しく、より安全な血管内焼灼法です。

### ● 心臓

①冠動脈病変：狭心症、心筋梗塞などに対して

冠動脈バイパス術、心室形成術。人工心肺装置を使用しないオフポンプバイパス術を基本的に行っています。小開胸バイパス術（MICS-CABG）も行っています。

②弁膜症：狭窄症および閉鎖不全症に対して弁置換術、弁形成術。小開胸による開心術（低侵襲心臓手術（MICS）皮切7cm）も行っています。

③先天性心疾患：根治術。

④不整脈：メイズ手術。

### ● 大動脈

①大動脈瘤：腹部および胸部大動脈瘤に対して人工血管置換術、ステントグラフト内挿術。

②大動脈解離：人工血管置換術。

### ● 末梢血管

①閉塞性動脈硬化症：バイパス術、カテーテル治療。膝関節以下の虚血病変に対しても積極的に外科的血行再建を行っています。

②動脈閉塞：血栓除去術、バイパス術。

③動脈瘤：四肢や腹腔内動脈の瘤に対して切除および置換術。

### ● 静脈

○静脈瘤：ストリッピング、血管内焼灼術（ラジオ波治療）、硬化療法。ストリッピングや血管内焼灼術は、1泊2日の入院で行っています。また、日帰り手術も行っています。

令和2年9月より、より侵襲の少ない安全な瞬間接着剤による血管閉塞術（ベナシール）を開始しています。

### ● その他

末期腎不全で透析が必要な方にシャント造設術などを腎臓内科と協力して行っています。

## ●その他

手術前の症例カンファレンスは、心臓血管外科医師だけでなく、循環器内科医師・麻酔科医師・看護師（病棟、高度治療室、手術室）・臨床工学士・リハビリスタッフなど、枠を超えたハートチームで行い、幅広い情報を共有し、症例への理解を深め、治療方針の統一を図っております。

2022年より患者参加型カンファレンスも行っています。

また、術後は循環器内科チームと合同で毎日回診を行っており、より綿密な術後管理を行っています。

月一度、ブタの心臓を使用したWet laboを行い、科内及び院内の手術研修に役立てています。



カンファレンス

## ●治療実績

### ●主な治療実績

平成25年2月から本格的な開心術を開始しております。安全面を考慮し、手術を制限して行っていますので、手術数は決して多くはありません。しかし、その分手術成績としては十分なものであり、東京医科歯科大学と連携して行っています。85歳以上の高齢者でも開心術を行っています。

また、平成29年1月から心臓血管外科専門医認定機構の施設認定を受けました。

また、大動脈瘤手術の半数以上はステントグラフトで行っており、90歳以上の高齢者でも対応しています。

平成30年6月より、冠動脈バイパス術の際、大伏在静脈をグラフトとして採取するのに内視鏡的採取術を行っています。

令和元年9月より右小開胸（皮切7cm）による大動脈弁置換術を行っています。

令和4年12月より左小開胸（皮切7cm）による冠動脈バイパス術を行っています。



手術

- 令和3年 80例（うち、開心術37例：冠動脈バイパス術18例、弁膜症手術17例、先天性手術1例、胸部大動脈手術0例、心膜腫瘍手術0例、その他1例）
- 令和4年 89例（うち、開心術27例：冠動脈バイパス術22例、弁膜症手術5例、腹部大動脈手術12例）（診療情報室より）

## ●主な検査・医療設備・手術

基本的には、検査等は循環器内科で行っているため、そちらをご参照ください。

手術室	平成24年11月に100㎡ある広々とした心臓血管外科専用の手術室を開設しました。ステントグラフト手術にも対応しています。また、心臓・脳血管センターと直結しており、同センターにHCU（高度治療室）とカテーテル室とがあり、包括的な治療を行うことができます。
下肢超音波検査	下肢静脈瘤に対する評価を外来の診察室で行い、スムーズな診断加療を行うことができます。
MRA及びMRV	下肢動脈や深部静脈の評価を行い、閉塞性動脈硬化症や深部静脈閉塞などの診断に対して造影剤を使用せずに行っています。

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前	/					
午後 (受付13:00~15:00)	田 村	/		田 村	/	
	櫻 井 下肢静脈瘤 (再診)	/		櫻 井 下肢静脈瘤 (新患)	/	

# 整形外科 Orthopedics Surgery

## 診療スタッフ

にいぜき ゆみ  
**新関 祐美**  
 役職 部長  
 専門分野 手・肘・肩  
 専門医  
 ・日本整形外科学会認定  
 整形外科専門医  
 ・日本整形外科学会認定  
 リウマチ医  
 ・日本手外科学会認定  
 手外科専門医  
 ・日本リハビリテーション医学会認定  
 リハビリテーション専門医

すずき そう  
**鈴木 聡**  
 役職 医長  
 専門分野 膝  
 専門医  
 ・日本整形外科学会認定  
 整形外科専門医

きたむら たくや  
**北村 拓也**  
 役職 医師  
 専門分野 整形外科一般

おかだ こうすけ  
**岡田 浩典**  
 役職 医師  
 専門分野 整形外科一般

ますもと ゆうすけ  
**樹本 悠輔**  
 役職 医師  
 専門分野 整形外科一般

しんむら かつえ  
**新村 楓**  
 役職 医師  
 専門分野 整形外科一般

- 非常勤医師 **おぬま ひろあき 小沼 博明** (専門分野 脊椎脊髄外科)
- 非常勤医師 **やました りこ 山下 理子**

- 非常勤医師 **みやたけ かずまさ 宮武 和正** (専門分野 股関節)
- 非常勤医師 **いのせ ひろゆき 猪瀬 弘之** (専門分野 脊椎脊髄外科)

- 非常勤医師 **あまの ゆうすけ 天野 祐輔**
- 非常勤医師 **さいとう りゅうすけ 齋藤 龍佑**
- 非常勤医師 **さとう ひろかず 佐藤 浩一** (専門分野 脊椎脊髄外科)
- 非常勤医師 **ゆうき あらた 結城 新** (専門分野 膝関節)

## 診療対象疾患

- 手の外科 ● 関節外科(肩、肘、手、膝、股) ● 人工関節(肩、肘、指、膝、股)
- 一般的な骨折 ● スポーツ外傷/障害

## 主な治療実績

	令和3年	令和4年
手術	775	795
上肢の骨折・外傷	190	221
下肢の骨折・外傷	127	115
人工関節置換	124	121
その他の関節	79	51
腱縫合等	18	13
尺骨神経前方皮下移行術	6	2
その他	51	48
外来手術	180	224

(医事課、診療情報室より)

## 主な検査・医療設備

各種画像診断	MRI・CT・Echo等により、各疾患を総合的に診断し治療に役立てています。
骨密度測定装置	骨粗鬆症の程度の把握や治療の効果判定の際に有効な検査です。
関節造影	主に手関節、肩関節疾患の診断のために有用な検査です。造影後にXp、CT、MRIを行うことで、更に診断精度を高めています。
電気生理学的検査 (EMG)	末梢神経障害等による、四肢のしびれ、筋萎縮、麻痺に対して責任部位を検索したり、回復の状態を知るために有用な検査です。
超音波刺激による骨癒合促進治療	超音波による骨癒合促進治療を、適応がある症例に対しては可能な限り積極的に施行しています。

## ●診療の特徴・特色

当院の整形外科は、昨年度に続き常勤医師6人体制での運営となり、より広いニーズへの対応が可能となりました。すべて東京医科歯科大学整形外科教室から派遣されています。

それぞれの担当分野は、新関(手、肘、肩の外科)、鈴木(膝・足関節、下肢スポーツ外傷)、北村(股関節)です。

### ●上肢の外科(肩、肘関節鏡)について

担当の新関は、日本整形外科学会の認定するリウマチ医および日本手外科学会認定の手外科を専門とする医師です。

上肢全般、特に手疾患に関する医学的スペシャリストとして、粉碎骨折の整復・固定、手のしびれ・痛みの治療、手指の神経・血管・腱の損傷を伴うケガの縫合、麻痺して動かなくなった手指の運動機能の再建、先天性な手指の異常の治療などを行っ



- ① 橈骨遠位端骨折 掌側プレート固定術
- ② 肩関節脱臼骨折 人工骨頭置換術
- ③ 関節リウマチ MP人工関節置換術
- ④ 舟状骨骨折偽関節 鏡視下偽関節手術

ています。また、肘・肩の痛みについても、適宜手術治療に取り組んでいます。お困りの方がいらっしゃいましたらご相談ください。

### ●膝関節外科について

変形性膝関節症や関節リウマチ、大腿骨内顆骨壊死等に対して、各患者さんのニーズに合わせて、人工膝関節置換術、高位脛骨骨切り術を行っています。

下肢のスポーツ外傷・障害全般に対して、手術治療を行っています。特に、前十字靭帯損傷、半月板損傷、又、足関節の障害に対しては、必要に応じて関節鏡を用いて手術を行っています。

### ●股関節外科(人工股関節置換術)について

変形性股関節症や関節リウマチの治療において、痛みが強く患者さんの希望があれば人工股関節置換術を行っています。当院では筋腱を切離さない最小侵襲手技(MIS)での手術が可能ですので、術後の禁止の姿勢がなく、早期にリハビリテーションが可能で、入院期間は2週間程度です。

## ●地域医療連携について

当科では地域の先生方との医療連携を大事に考えております。ご紹介いただく際には、まず地域医療連携相談室で予約をお取りいただくか、急な外傷などでお急ぎの場合には診療情報提供書をFAXで送付いただければ、受け入れ可能かどうかの判断を迅速にいたします。

脊椎外科、悪性腫瘍、開放骨折、高エネルギー外傷に関しては、緊急対応は困難です。

脊椎手術が必要な患者様につきましては脊椎専門の非常勤医師の外来での診察ののち必要に応じて連携先病院での治療を行っております。

また、当院では医師とパラメディカルで包括的に二次骨折予防に取り組む「FLS：骨折リエゾンサービス」を開始しております。治療継続のため連携施設の先生方のご協力が欠かせません。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



手術

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付8:00~10:00)	新関	新関	●天野	鈴木	●山下	交替制
	北村	●猪瀬 (脊椎)	岡田	榊本	北村	
	榊本	新村	新村	岡田	●小沼 (脊椎)	
午後 (受付13:00~15:00)	新関 (肩肘手外科専門外来)	鈴木 (膝スポーツ外来)	宮武 (股関節外来)		●佐藤(浩) (脊椎・第2-4)	

※●は非常勤医師です。  
※急な外傷などでお急ぎの場合は、「診療情報提供書」の送付をお願いします。

## ● 診療スタッフ



さかい えいいち  
**坂井 栄一**

役職 部長  
専門分野  
眼科一般  
専門医  
・日本眼科学会認定  
眼科専門医

非常勤医師 かせい りゅういちろう  
**笠井 龍一郎**

非常勤医師 もちだ しほ  
**持田 潮帆**

非常勤医師 ほり くにこ  
**堀 邦子**

## ● 診療対象疾患

- 糖尿病網膜症
- 白内障
- 緑内障
- 加齢黄斑変性
- 弱視
- ぶどう膜炎 など

## ● 診療の特徴・特色

当眼科では、地域医療の中核を担うとともに安心・安全な医療を提供出来るよう、患者さんのQOLの改善や維持を目指し、信頼が得られる質の高い医療の実践を目標としております。

眼科常勤医師1名、非常勤医師3名、ORT3名で診療を行っております。

90歳以上の高齢の患者さん・過熟白内障、精神疾患のある患者さんなど幅広く受入れております。

手術に関しましては、白内障手術を主に行っており、流れとしましては一般外来→手術担当医による診察→手術日の決定→手術前検査→術前の診察→手術となります。

なるべく少ない来院日数ですむよう心がけております。

手術前検査では、視能訓練士がAモードをはじめ、重度の白内障で視力が特に低下している患者さんに対しては、ERGやBモードなどの検査を行います。

手術後のフォローも行っていますが、術後経過の良好な患者さんについては逆紹介という形になります。

当院は入院にて手術を行う為、入院期間は片眼で1泊2日となります。ただし、外眼手術における翼状片、睫毛内反手術、眼瞼下垂手術、老人性皮膚弛緩による皮膚切除などは、日帰りで行っております。

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
白内障	518	671
硝子体	2	-
緑内障（エキスプレスシャント）	-	-
異物除去術	1	-
その他（その他の白内障摘出術）	-	-
水晶体嚢外摘出術	-	1
件数	521	672

（診療情報室より）

## ● 主な検査・医療設備・手術

検査機器についてはGP、DRI OCT Triton、Aモード、Bモード、ERG、FAなどがあり、より多くの患者さんの様々な疾患に対応できる様、体制を整えております。小児視力検査・抗VEGF薬硝子体内注射も行っています。

主な検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種 眼底撮影検査</li> <li>・光学的干渉断層計</li> <li>・視野検査</li> <li>・色覚検査</li> <li>・電気生理学的検査</li> </ul>
主な手術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白内障手術</li> <li>・網膜硝子体手術</li> <li>・緑内障手術</li> </ul>



細隙燈顕微鏡



検査風景



手術



手術

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	坂井 ●持田	坂井 ●持田	坂井 ●持田	●笠井 (第2・3・4・5) ●堀	●堀	坂井 (第3)
午後 (専門外来等) (受付13:00~15:00)	坂井	/	弱視外来	●笠井 (第2・3・4・5) ●堀	●堀	/

※専門外来は連携予約ができません。  
※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ

あらい としなり  
**新井 俊成**  
 役 職 副院長兼部長  
 病院機能管理部長  
 専門分野 脳血管障害・脳腫瘍  
 専門医 日本脳神経外科学会認定  
 脳神経外科専門医



やましな もとしげ  
**山科 元滋**  
 役 職 医長  
 専門分野  
 専門医 日本脳神経外科学会認定  
 脳神経外科専門医  
 日本脳神経血管内治療学会認定  
 脳血管内治療専門医  
 日本脳卒中学会認定  
 脳卒中専門医



うじかわ たくみ  
**氏川 彩**  
 役 職 医長  
 専門医 日本脳神経外科学会認定  
 脳神経外科専門医



のだ まりこ  
**野田 真利子**  
 役 職 医師



いなし もとき  
**稲次 基希**  
 非常勤医師 (専門分野 てんかん)

## ● 診療対象疾患

- 脳血管障害 ● 脳梗塞 ● 脳出血 ● クモ膜下出血  
 脳腫瘍  
 頭部外傷 ● 急性硬膜下出血 ● 脳挫傷  
 ● 外傷性クモ膜下出血 ● 硬膜外血腫  
 その他 ● 三叉神経痛 ● 顔面痙攣など



## ● 診療の特徴・特色

### ● 脳卒中、特に脳梗塞について

近年脳血管障害の中では脳梗塞の割合が増加しています。高齢化に伴い、より重症な心原性脳梗塞が目立つようになりました。当科では、これに対してこれまでのt-PA治療に加え、カテーテルによって直接塞栓物を除去する、血栓回収術を積極的に行っています。本治療については、ホームページに具体的な様子が示されていますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

また、軽い手足の麻痺で発症することが多いラクナ梗塞では、発症後短時間で非常に重い麻痺へと症状が進む、BAD (Branch Atheromatous Disease-分枝粥腫型梗塞) と呼ばれる病態となる例が非常に多くみられるようになりました。一見軽症と思われる例でも、油断は禁物です。

### ● 認知症状を呈する疾患

#### 【正常圧水頭症】

認知症と間違われ、治療可能な疾患であるにもかかわらず見過ごされることが少なくありません。

- 1～2年の経過で何となく歩行が遅くなってきたり、よく転ぶようになった。
- 同時に活気がなくなって、以前のように出掛けたりせず、一日中テレビの前で座ってばかりいるようになった。
- 時に排尿がトイレまで間に合わず、やむなくおむつを当てなければならなくなっている。

などの症状が見られたら、本疾患が疑われます。治療には手術が必要ですが、もともと高齢者に多い疾患です。手術は局所麻酔で体に負担を掛けずに行えます。

#### 【慢性硬膜下血腫】

突然症状が出現し、やはり認知症と間違われることが多い疾患です。

- 急に歩けなくなった。
- 急に話し方が緩慢となり、話す内容の辻褄が合わなくなりました。
- 一ヶ月前に転んで顔に痣を作ったことがあった。

などが特長です。やはり簡単な局所麻酔の手術により、症状が劇的に改善します。

## ●その他の疾患

### 【三叉神経痛、顔面ケイレン】

前者は食事や歯磨き、会話の際などに顔面の痛みが強く起こり、後者は、顔面の片側全体がピクピクケイレンするもので、眼瞼のみに起こる眼瞼ケイレンとは区別します。

どちらも服薬や注射などの内科的治療から、外科的治療までの選択肢があり、各患者さんのバックグラウンドによって治療法を決めていきます。

## ●当院における脳卒中について

当科におきましては特に救急患者さんの受け入れに重点を置いています。そのため入院患者さんの内訳は、脳血管障害と頭部外傷の占める割合が80%以上となり、大多数の患者さんは突然発症により、救急外来からの入院という形となっております。患者さんが救急外来を受診する形態は、救急車が主となりますが、地域の先生からのご紹介により救急外来受診となる場合も相当数あります。今後とも常に気持ちを新たにして脳外科診療を続けてまいりますので、地域医療機関の先生方のご支援を今後ともよろしくお願い致します。

## ●主な治療実績

	令和3年	令和4年	
入院	602	467	
手術	132	125	
脳腫瘍	3	6	
脳血管障害	破裂動脈瘤	10	9
	開頭血腫除去術	15	15
	そのほかの血腫除去	-	-
血管内手術	動脈塞栓症	8	12
	頸動脈ステント留置術等	6	3
	血栓回収術	22	15
外傷	54	48	
水頭症(脳室シャント術など)	8	3	
外誘導・減圧	5	10	
経蝶形骨洞の下垂体腫瘍摘出	-	-	
頭蓋骨移植骨片の形成術	1	-	
脳のデブリーマン	-	1	
浅側頭動脈-中大脳動脈バイパス(STA-MCA)	-	2	
硬膜外膿瘍除去	-	1	

(診療情報室より)

## ●主な検査・医療設備

主な医療設備
・ SPECT
・ ナビゲーション手術支援装置
・ 電気生理学的モニタリング
・ 内視鏡
・ 定位脳手術装置
・ 放射線治療装置



手術

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	山科		新井		氏川	
午後 (受付13:00~15:00)					●稲次 (てんかん)第1	

※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ



むらの けいめい

**村野 啓明**

役職 部長  
専門分野  
皮膚科一般  
専門医  
・日本皮膚科学会認定  
皮膚科専門医



いそ え みほ

**磯江 美穂**

役職 医長  
専門分野  
皮膚科一般  
専門医  
・日本皮膚科学会認定  
皮膚科専門医

非常勤医師 たねせ ともみ  
**種瀬 朋美**

非常勤医師 しむら ちえこ  
**志村 智恵子**

非常勤医師 はが よしたか  
**羽賀 義剛**  
(専門分野 形成外科)

## ● 診療対象疾患

- 皮膚とその付属器(爪、毛髪等)、皮下浅層、口腔粘膜等の炎症性、腫瘍性の疾患 など

## ● 診療の特徴・特色

### ● 外来一午前

通常の外来診療を医師1~2名により行うとともに光線療法を施行しています。

### ● 外来一午後

月曜から水曜まで予約制で良性腫瘍摘出等の小手術、皮膚生検等を行い、並行して光線療法も施行しています。

### ● 形成外科

金曜に形成外科医による外来、手術があります。皮膚、皮下領域の難易度の高い手術や整容的な要求度の高い手術に対応しています。

### ● 入院

中等度以上の感染症の方、高用量のステロイド全身投与が必要な自己免疫/アレルギー性疾患の方、中央手術室での手術の方等の入院治療を行っています。

### ● 高度な治療

#### 【narrowband UVB 療法】

尋常性乾癬や尋常性白斑、類乾癬、重症アトピー性皮膚炎その他の方に対して施行しています。立位の照射器を用い、短い照射時間での治療が可能です。

#### 【生物学的製剤】

重症の尋常性乾癬、関節症性乾癬に対して同剤を使用した治療を施行しています。

## ● 主な検査・医療設備



narrowband UVB 照射器

## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
入院全身麻酔	17	12
入院脊椎麻酔	2	1
外来局所麻酔	229	281
入院局所麻酔	2	3
皮膚生検	41 (内入院0件)	71 (内入院1件)

(医事課、診療情報室より)



外来手術



褥瘡回診

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	村野	村野	村野	●志村 <sup>(第1-3)</sup>	村野	村野
	磯江	磯江		●種瀬 <sup>(第2-4)</sup>	磯江	磯江
午後(再診予約のみ) (受付13:00~15:00)	外来手術等	外来手術等	外来手術等	外来手術等	●羽賀 <sup>(形成外科外来)</sup>	

※●は非常勤医師です。

## ● 診療スタッフ

かまた しげよし  
**鎌田 成芳**  
 役 職 副院長兼医療安全部長  
 専門分野 泌尿器科一般  
 泌尿器科悪性腫瘍  
 排尿障害  
 専門医  
 ・日本泌尿器科学会認定  
 泌尿器科専門医

よしなが あつし  
**吉永 敦史**  
 役 職 部長  
 専門分野 泌尿器科悪性腫瘍  
 尿路結石内視鏡治療  
 専門医  
 ・日本泌尿器科学会認定  
 泌尿器科専門医  
 ・日本DMAT隊員

いしはら けんさく  
**石原 健作**  
 役 職 医師  
 専門分野 泌尿器一般

いちなぎ のぶたか  
 非常勤医師 **一柳 暢孝**

こしま あきひろ  
 非常勤医師 **小嶋 秋大**

## ● 診療対象疾患

泌尿器科疾患全般を取り扱っています。具体的には下記の疾患が中心となります。

- 副腎腫瘍の内分泌学的評価および外科的治療
- 泌尿器科癌(腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍)の検査、外科的治療、化学療法、放射線治療
- 尿路結石症の治療(体外衝撃波結石破碎、経尿道的碎石、経皮的碎石など)
- 前立腺肥大症の治療(薬物療法、外科的治療)
- 排尿、蓄尿障害(尿失禁)の評価と治療
- 泌尿器科救急医療(外傷など)
- 小児泌尿器科(停留精巣など)

## ● 診療の特徴・特色

泌尿器科は令和5年度より常勤医師3名と非常勤医師2名による診療体制となります。

泌尿器科診療の中心は泌尿器科癌の治療ですが、当院では手術はもちろん、放射線治療や化学療法も含めた集学的治療により、治療成績の向上を目指しています。

令和5年3月に最新の DaVinci Xi ロボット手術システムが当院に導入されました。今年度より前立腺癌手術を中心にロボット支援手術を行う予定です。当初は大学病院からの技術支援を受け、安全性に十分配慮しつつ患者負担の軽減につながる低侵襲手術を拡充したいと考えています。今後、特定健診にてPSA高値が見られた場合など、MRI、生検などの二次検診から手術・放射線治療、薬物療法までワンストップで高度医療を提供できる体制を目指して参ります。

なお、前立腺癌の小線源治療、特殊な医薬品(放射性ラジウムなど)による治療など先端医療の御要望に関しては、獨協医科大学埼玉医療センター、東京医科歯科大学、がん研有明病院、埼玉県立がんセンターなど連携をとっております。

尿路結石症については、従来からの体外衝撃

波結石破碎(ESWL)装置による治療はもちろん、ESWLに適さない結石や、ESWLで除去しきれない結石の場合を中心に内視鏡治療を行っています。近年、細径尿管鏡やレーザー破碎装置の進歩は目覚ましく、内視鏡治療のメリット(治療期間の短縮、確実な結石除去)も大きくなりつつあります。結石治療を目的とする場合も、曜日・時間に特別の指定はありませんので、通常通り泌尿器科外来宛てにご紹介いただければ、必要な検査・治療などにつき手配させていただきます。

排尿障害に関しては、前立腺肥大症や過活動膀胱などの治療薬が進歩しつつありますが、現在でも手術適応となる患者さんも少なくありません。超高齢者(特に85歳以上の場合など)では、今まで高齢のため手術適応はないと思われるような場合でも、前立腺や全身の状態を評価したうえで適切に手術を行うことで、良好な排尿機能の回復が得られる場合もあります。尿閉を来し、内服治療でバルーン抜去困難な場合など、一度泌尿器科に相談して頂ければ幸いです。

本年度もよろしくご厚意申し上げます。

## ● 主な治療実績

疾患	手術・検査	令和3年	令和4年
前立腺癌	前立腺針生検(検査)	109	116
	前立腺全摘	9	8
	放射線療法(リニアック外照射)	1	4
膀胱癌	経尿道的膀胱腫瘍切除術	104	90
	膀胱全摘・回腸導管造設	9	4
腎 癌	腎摘除術	5	8
	腎部分切除術	4	1
腎盂・尿管癌	腎尿管全摘術	11	5
精巣癌	高位精巣摘除術	2	2
副腎腫瘍	副腎摘除術	2	-
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除術	20	10
尿路結石症	体外衝撃波結石破砕術	10	5
	経尿道的尿管結石破砕術	54	66
	経皮的腎結石破砕術	5	2
	経尿道的膀胱碎石術	11	14

(診療情報室より)

## ● 主な検査・医療設備

<b>主な検査・医療設備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DaVinci Xi 手術支援ロボット</li> <li>・ 体外衝撃波結石破砕装置(LithoStar)</li> <li>・ ホルミニウムヤグレーザー結石破砕装置</li> <li>・ 軟性膀胱・尿道鏡 尿管鏡(硬性・軟性)腎盂鏡</li> <li>・ 尿流動態検査装置</li> </ul>
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



体外衝撃波結石破砕(ESWL)装置



手術



カンファレンス

## ● 外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	●小 嶋	吉 永	鎌 田	鎌 田	吉 永	交替制
		石 原		吉 永	●一 柳	
午後(再診予約のみ) (受付13:00~15:00)	●小 嶋	石 原	鎌 田	鎌 田	●一 柳	/
			交替制			

※●は非常勤医師です。

## 診療スタッフ

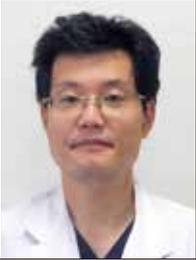
のむら ふみのり

**野村 文敬**

役 職 部長

専門分野  
 頭頸部腫瘍・  
 耳鼻咽喉科一般

専門医  
 ・日本耳鼻咽喉科学会認定  
 耳鼻咽喉科専門医  
 ・日本頭頸部外科学会認定  
 頭頸部がん専門医



たかはし ゆうすけ

**高橋 佑輔**

役 職 医長

専門分野  
 耳鼻咽喉科一般



やぎはし さとし

**柳橋 賢**

役 職 医師

専門分野  
 耳鼻咽喉科一般



## 診療対象疾患

### 1. 耳疾患

- 外耳炎 ● 外耳湿疹 ● 外耳道真珠腫
- 外耳道異物 ● 先天性耳瘻孔
- 急性・慢性・滲出性・真珠腫性中耳炎
- 難聴 ● 顔面神経麻痺 ● めまい
- 耳鳴症 など

### 2. 鼻副鼻腔疾患

- 急性・慢性副鼻腔炎 ● 鼻中隔彎曲症
- 鼻副鼻腔腫瘍 ● 嗅覚障害
- アレルギー性鼻炎 ● 鼻出血
- 鼻骨骨折 など

### 3. 口腔・咽頭疾患

- 口内炎 ● 唾石症 ● 急性扁桃炎・咽頭炎
- 扁桃周囲膿瘍 ● 舌・頬粘膜・口腔底腫瘍
- 上・中・下咽頭腫瘍
- 咽喉頭酸逆流症 など

### 4. 喉頭疾患

- 喉頭腫瘍 ● 喉頭麻痺
- 声帯ポリープ ● ポリープ様声帯 など

### 5. 頸部疾患

- 耳下腺炎 ● 顎下腺炎
- 自己免疫性唾液腺疾患 ● 耳下腺腫瘍
- 顎下腺腫瘍 ● 甲状腺腫瘍
- 副甲状腺腫瘍
- 先天性嚢胞(甲状舌管嚢胞、側頸嚢胞)
- 悪性リンパ腫 ● 亜急性壊死性リンパ節炎
- 神経鞘腫 ● 嚢胞性リンパ管腫 など

### 6. その他

- 血管神経性浮腫 ● 三叉神経痛
- 外耳道・鼻腔・咽頭異物
- 睡眠時無呼吸症候群 など

## 診療の特徴・特色

平素より先生方からは多数の患者さんをご紹介をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

感染症や感覚器疾患に関しては診断と治療の根拠を明確にできるよう配慮し、患者さんにも丁寧にご説明してまいります。緊急手術や緊急入院に関しましても迅速に対応させていただきます。

アレルギー性鼻炎に関しましてはアルゴンプラズマによる鼻腔粘膜焼灼術や下鼻甲介手術などによる加療を行っております。尚、アレルギー免疫療法(舌下免疫療法)は当院では施行しておりません。

悪性腫瘍に対しても積極的な加療を施行しており、抗がん剤併用放射線治療も開始いたしました。再発/転移癌に対する抗がん剤治療も施行可能です。常勤の形成外科医師が不在のため再建手術が必要な症例は大学病院、あるいはがんセンター等にご紹介とさせていただきます。

手術治療では良性腫瘍や一部の悪性腫瘍手術、ナビゲーションシステム併用した鼻内内視鏡手術、炎症性疾患などの疾患を中心に加療を行っ



カンファレンス

ております。神経筋疾患に対する誤嚥防止手術なども施行可能です。

今後も診療内容の充実に努め、患者さんにご満足いただけるよう努力し、地域の医療に貢献したいと考えております。ご迷惑をおかけするかと存じますが、先生方のご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

## ●主な治療実績

	令和3年	令和4年
鼻副鼻腔		
鼻中隔矯正術	13	17
粘膜下鼻甲介骨切除術	11	16
内視鏡下副鼻手術	36	41
鼻副鼻腔腫瘍切除術	3	4
鼻骨骨折整復術	4	9
計	67	87
喉頭		
喉頭微細手術	8	8
計	8	8
口腔・咽頭		
口蓋扁桃摘出術	57	62
アデノイド切除術	5	7
唾石摘出術	4	3
口腔・咽頭腫瘍切除術	3	4
計	69	76
頭頸部		
甲状腺良性腫瘍手術	11	13
甲状腺悪性腫瘍手術	3	15
耳下腺腫瘍切除術	11	9
顎下腺腫瘍切除術	4	-
副甲状腺手術	-	3
喉頭全摘術	1	-
甲状舌管嚢胞摘出術	6	-
頸部郭清術	4	2
頸部リンパ節生検	16	17
頸部腫瘍摘出術	2	5
有茎(筋)皮弁再建術	2	-
計	60	64

	令和3年	令和4年
耳		
先天性耳瘻孔摘出術	3	5
鼓膜チューブ留置術(小児)	13	6
計	16	11
その他		
頸部膿瘍切開排膿術	2	2
気管切開術	8	1
計	10	3
総計	230	249

(診療科より)



診察



手術

## ●主な検査・医療設備

手術室設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡手術機器(マイクロデブリッダー、ハイドロデブリッダー)</li> <li>・硬性鏡</li> <li>・手術用顕微鏡</li> <li>・術中神経刺激モニター(顔面神経、反回神経)</li> <li>・手術用ナビゲーションシステム</li> </ul>
外来検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鼻咽喉科用内視鏡(NBI機能による診察、嚥下内視鏡検査など)</li> <li>・純音聴力検査、語音聴力検査</li> <li>・インピーダンスオージオメトリー(ティンパノメトリー、耳小骨筋反射)</li> <li>・耳音響放射線検査DPOAE</li> <li>・自記オージオメトリー</li> <li>・ビデオ式眼振計測装置VNG</li> <li>・CT</li> <li>・MRI</li> <li>・超音波検査(超音波ガイド下穿刺吸引細胞診を含む)</li> <li>・静脈性嗅覚検査</li> <li>・誘発筋電図検査(ENoG)</li> <li>・聴性脳幹反応検査ABR</li> <li>・耳管機能検査(音響法)</li> <li>・重心動揺検査</li> <li>・シンチグラム</li> <li>・電気味覚検査</li> </ul>

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	野村	高橋	交替制 (受付10:00まで)	高橋	高橋	交替制
	柳橋	野村		柳橋	野村	

※水曜日は手術日のため、主に再来予約の方のみの診療となります。

## ● 診療スタッフ

たかだ のりひこ  
**高田 典彦**  
 役 職 部長  
 専門分野  
 口腔外科一般  
 専門医  
 ・日本口腔外科学会認定  
 口腔外科専門医



やまさき ようこ  
**山崎 陽子**  
 役 職 副部長  
 専門分野  
 口腔外科一般  
 専門医  
 ・日本口腔外科学会認定  
 口腔外科専門医



ふかよ ゆうご  
**深代 祐五**  
 役 職 医長  
 専門分野  
 口腔外科一般



## ● 診療対象疾患

- 口腔癌
- 顔面外傷(骨折)
- 良性腫瘍
- 顎関節症
- 顎変形症
- 口腔粘膜疾患
- 顎顔面インプラント
- 全身麻酔下、静脈鎮静下の抜歯
- 顎骨再建
- 嚢胞
- 歯性炎症

## ● 診療の特徴・特色

当科では、口腔外科疾患を対象として治療しているため、一般歯科治療は行っていません。診療上、地域診療所との住み分けを行っています。初診患者さんの受け入れは、原則として紹介状持参の患者さんを優先しており、地域診療所からの紹介は、地域医療連携相談室を通して初診予約窓口を設けて対応しています。外科療法中心なので外来だけでなく入院治療患者さんを対象としているのが特徴となっています。患者さんの治療が終了すると紹介元に逆紹介しています。外科周術期の口腔ケア、糖尿病患者さんの口腔ケアに関しては、地域歯科医師会と連携をとって治療にあたっています。

患者さんの紹介に際しては、お薬手帳を持参するようお願いください。



診察風景

### ● 口腔がんに対する治療について

口腔がんの治療では、全てのステージで2015年より頭頸部がん診療ガイドラインのアルゴリズムに基づいた治療を行っています。現在では術前導入療法は行わずに、術後永久標本の評価で原発巣切除時の近接マージン、転移リンパ節の節外浸潤、2個以上の多発リンパ節転移症例に対し術後化学療法と放射線療法を組み合わせた化学放射線療法を適応しています。手術不能な局所進行がんや再発転移症例に対しては、化学放射線療法や分子標的薬を組み合わせた化学療法を

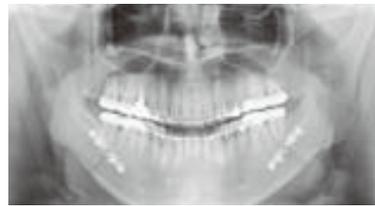
行っています。また術前後の口腔ケアは、創部感染や術後合併症のリスクを減少させるといわれているため全症例に適応しQOLの維持に役立っています。



(下顎再建例)

### ●顎変形症手術について

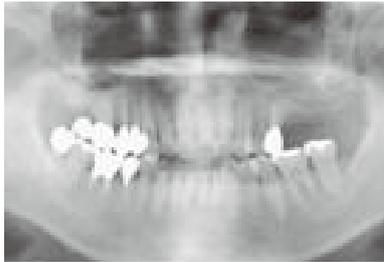
矯正治療と組み合わせる下顎枝矢状分割術、上下顎同時移動術といった顎骨骨切り手術により、過成長を伴う顎の骨格的な変形に対応するばかりでなく、劣成長をとまなうものに対しても適応しています。



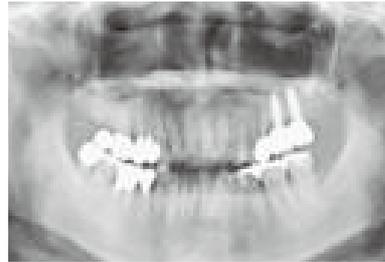
(下顎矢状分割術後)

### ●口腔インプラントについて

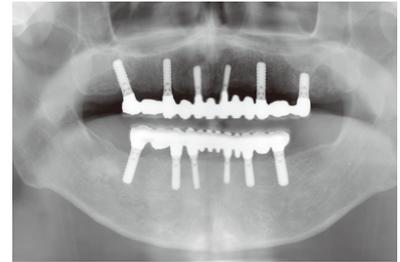
現在、腫瘍や外傷後の骨欠損を伴うものや、顎骨再建後の補綴物の維持源としての保険適応で治療可能な症例を扱っています。



サイナスリフト術前  
(インプラント)



サイナスリフト術後  
(インプラント)



(多数インプラント埋入症例)

## ●主な治療実績(全身麻酔手術)

		令和3年	令和4年
悪性腫瘍		6	10
その他の腫瘍	良 性	8	8
	囊 胞	27	24
	過形成dysplasia	2	4
外 傷		3	5
その他		37	29
計		83	80

(診療情報室より)

## ●主な検査・医療設備

デンタルCT	① 上顎洞底壁の計測 ② 顎骨内下歯槽神経、血管束の位置、計測 医科用ファンビームCTにデンタルソフトを使用している。等倍で描出することでインプラントを想定した周囲の骨構造の計測に有効。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

## ●外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 (受付 8:00~11:00)	高 田	高 田	山 崎	高 田	高 田	山 崎
	山 崎	山 崎		深 代	深 代	
	深 代	深 代	深 代		深 代	
午後(再診予約のみ) (受付13:00~15:00)	/	高 田	山 崎	高 田	/	/
	/	山 崎		深 代	深 代	/
	/	深 代	深 代		深 代	/

※受診の際は「診療情報提供書」が必要となります。

## ● 診療スタッフ



## ● 診療対象疾患

当院における一般外科、心臓血管外科、脳外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、形成外科、腎臓内科、消化器内科等のあらゆる手術および検査の麻酔に対応しています



## ● 診療の特徴・特色

当院は麻酔科認定病院であり、麻酔科医は現在、常勤医4～5名(うち2～3名は時短勤務)と日替わりでの非常勤医1～2名とで構成されております。マンパワーの関係から主として手術麻酔に従事しており、夜間休日の緊急手術には、常勤医2名のオンコールで対応しています。

最近では医療の発達により、平均寿命が伸び高齢者の手術の割合が多くなっており、またそれだけ複数の合併症を含む症例が多くなっております。一方、鎮痛薬や筋弛緩薬などの薬剤の発達、気道確保のデバイスの発達は麻酔のシーンを大きく変化させてきています。これらのおかげで、従来なら全身麻酔による負荷から手術適応にならなかった症例も手術可能となっていることも事実であります。

また当院におきましては、平成24年度から心臓・脳血管センターの始動、心臓血管外科の開設などにより、従来以上に緊急手術や難易度の高い手術が増加しております。高度な麻酔管理を求められる場面も多くなっており、それに対応できるように、我々麻酔医自身もさらなる成長を目指しております。

さて、地域医療連携におきましては、麻酔科は間接的な関与に留まりますが、まずは紹介患者さんの緊急手術の麻酔管理や、草加八潮地区の救急救命士の気管挿管実習において貢献していきたいと考えております。

## ●その他

- ・硬膜外麻酔を併用する全身麻酔症例では、術後の鎮痛評価を数日にわたって追跡し、それをフィードバックして鎮痛処置の質的向上に努めています。
- ・整形外科手術では、ほとんどの症例特に上肢で、超音波ガイド下神経ブロックを併用しています。



手術



救急救命士気管挿管研修

## ●主な検査・医療設備

手術室 計7室	うち1室はクリーンルームで、整形外科人工関節手術に適応可能。別の1室は心臓外科手術に対応した様々な設備を集約した手術室となっています。(手術室外としては、血管造影室で脳外科脳動脈瘤コイル塞栓術の麻酔管理等を行っています)
手術室・術野モニターシステム	手術室内ナースステーションや麻酔科控室、CCU、ICUで手術進行状況等を監視できます。
自動麻酔記録および人工心肺記録システム	心臓外科手術室のみ。
血液ガス分析装置	手術室内にあるため、直ちに血液ガス分析、電解質分析、血糖値、ヘモグロビン値、乳酸値等を知ることができ、治療に反映されます。
麻酔器	症例に応じたさまざまな人工呼吸モードを実施可能。
生体情報モニター	心電図、血圧計、呼気二酸化炭素濃度、経皮的酸素飽和度、麻酔深度測定器(BIS)、吸入麻酔薬濃度等を主に使用して、手術中の血行動態や麻酔深度を把握することができます。
経食道心エコー(3D)	心臓外科手術や心臓合併症を有する患者さんの非心臓外科手術の際に、リアルタイムに心臓の動きを観察することにより心機能をモニターすることができます。
高解像度超音波装置	超音波ガイド下神経ブロックや中心静脈下カテーテル留置、下肢静脈瘤手術等で使用しています。2台あり。
無侵襲脳内局所酸素飽和度監視モニター	手術中の局所脳酸素飽和度をモニターすることで脳虚血などの予防に努めます。(開心術や脳外科頸動脈内膜剥離術などで使用)
気管支ファイバースコープ	術中の肺合併症の検索や挿管困難症例での気管挿管時に使用されます。
小型カメラ付き喉頭鏡(2種類)	挿管困難症例に使用されます。
簡易心拍出量測定器	動脈血圧波形の呼吸性的変動から簡易的な心拍出量測定や循環血液量の過不足を知ることができます。

## ● 診療スタッフ



すずき つねお

鈴木 恒夫

役 職

診療部長兼部長

専門医

・日本救急医学会認定

救急科専門医

・日本外科学会認定

外科専門医

## ● 診療の特徴・特色

救急科は専門医1名と研修医1～2名で平日8時～17時の救急外来診療を行っています。救急搬送(2次救急)や外来時間外の患者さんは、救急科で診断・初期治療を行った後、専門科に引き継ぐ「ER型救急」の体制をとっています。



## ● 主な治療実績

	令和3年	令和4年
救急外来受診者数(入・外)	9,499	9,694
救急車搬送件数	4,736	4,717

(医事課より)

## ● 診療スタッフ

あべ しほ  
阿部 志保

役 職 副部長  
専門医  
・日本病理学会認定  
病理専門医  
・日本臨床細胞学会認定  
細胞診専門医

ねぎ まりこ  
根木 真理子

役 職 副部長  
専門医  
・日本病理学会認定  
病理専門医  
・日本臨床細胞学会認定  
細胞診専門医

非常勤医師

あかし たくみ  
明石 巧

非常勤医師

くらた もりと  
倉田 盛人

## ● 診療の特徴・特色

平成31年4月から病理診断科を標榜しており、現在常勤医師2名、非常勤医師2名での診療体制にて、病理診断業務を行っています。

病理診断科では病理組織診断、術中迅速組織診断、病理解剖診断などを行っています。

病理組織診断とは、生検や手術で採取された検体から組織標本を作成し、顕微鏡で観察することにより病理組織学的な診断を行うものです。必要に応じて、特殊染色や免疫染色を追加してより詳細な検討を行っています。術中迅速診断では、手術中に採取された検体から20分程度で標本を作製し、病変の性状や断端波及の有無、リンパ節転移の有無などを判定します。病理解剖は、不幸にしてお亡くなりになったかたについて死因や治療効果の判定、病変の確認などのために行われるものです。

また令和4年10月からは、院内での細胞診の診断を開始しました。細胞診とは尿や胸水、腹水、喀痰、婦人科材料などから得られる細胞成分などをスライドガラスに塗布し、顕微鏡で観察することにより病変の有無を判定するものです。より侵襲の少ない方法で病変のスクリーニングなどに役立ちます。

## ● 主な検査実績

	令和3年	令和4年
生検組織検査	1,630	2,019
手術組織検査	1,798	1,873
術中迅速組織検査	117	118
病理解剖	5	0
計	3,550	4,010

(診療科より)

## ● 診療スタッフ



いなぎ ひろし  
**稲垣 裕**  
 役職 センター長  
 専門分野  
 虚血性心疾患  
 心血管インターベンション  
 専門医  
 ・日本内科学会認定  
 総合内科専門医  
 ・日本循環器学会認定  
 循環器専門医

## ● センターの概要・特色

当院の心臓・脳血管センターは、3階にHCU12床、2階に血管造影室を有し、循環器医(循環器内科・心臓血管外科)、脳外科医が独立した当直体制をとっており24時間365日、急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療や手術・血管内治療を含めた急性期脳卒中の治療対応が可能な施設です。また、2階は本館手術室とも直結しています。

HCUの対象疾患には、急性心筋梗塞や急性期脳卒中以外にも心臓血管外科術後や経皮的人工心肺補助(PCPS)などの補助循環が必要な重症心不全、集中治療が必要な重症例、一般病棟での管理が困難な急性期・周術期治療が必要な症例など循環器・脳血管疾患以外の疾患も含まれます。

## ● 令和4年 HCU入院患者数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
107	97	89	78	81	75	68	73	74	88	69	72	971

(医事課より)

## ● 緊急カテーテル治療数

- ・循環器内科 緊急PCI 110件 (全体 PCI 228件)
- ・脳神経外科 頸部ステント留置術 3件  
血栓回収術 17件

## ● PCPS(V-A ECMO)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	5

(診療情報室より)

## ● IABP(大動脈バルーンパンピング術)

循環器内科 18件



カテ室



病室

## ● 診療スタッフ



すだ しん  
須田 伸

役 職 センター長

専門分野  
慢性腎臓病・  
血液浄化療法

専門医

・日本内科学会認定総合内科専門医  
・日本透析医学会認定  
透析専門医・指導医・評議員  
・日本腎臓学会認定  
腎臓専門医・指導医

## ● 業務内容・体制

当院の腎センター（血液透析室）は腎臓内科医師5名、看護師13名、臨床工学技士8名で業務を担当しております。血液透析ベッドは40床（処方透析可能な個人用透析装置3床）、外来血液透析は月・水・金と火・木・土のサイクルで治療を行い、月・水・金は午前9時からと午後3時から2クール体制、火・木・土は午前9時から1クール体制で治療を行っております。

入院中の血液透析は周術期症例に対応するため、ベッドでの院内移動、スケールベッドでの体重測定が可能です。また、術後の重症例は心臓・脳血管センターに併設されたHCU内でアフレーシス装置を使用した持続緩徐式血液濾過透析療法（CRRT）を行います。

## ● 特色

腎センター（血液透析室）の特色として、血液透析以外の各種血液浄化療法を実施しております。アフレーシス療法では劇症肝炎や急性肝不全、全身性エリテマトーデス、巣状糸球体硬化症、血栓性血小板減少性紫斑病の血漿交換療法、閉塞性動脈硬化症のLDL吸着療法、難治性腹水症の腹水濾過濃縮再静注法（CART）、敗血症症例ではエンドトキシン吸着カラムを使用した直接血液灌流法を行っております。

2022年10月に透析関連装置の更新を契機に、治療に使用する透析用水の更なる清浄化管理を実現し、全ての透析装置でon-line HDF機能を実装しました。また、最新のモニタリング機能を活用し、安全な透析の実施を心掛けております。

## ● 最後に

当センターは多くの外来症例に恵まれ、スタッフ数の増加や2クール体制の導入により受入れ患者数を順次拡大し、令和4年の稼働率は109.4%に至りました。また、維持血液透析ガイドラインが定める透析効率 $Kt/V_{sp} \geq 1.2$ を外来症例の93.7%（令和2年全国平均値88.6%）に実施し、専門スタッフによる食事・飲水教育を継続することで体重増加 $<6\%$ の症例は81.5%（同平均値85.9%）、除水速度 $15\text{mL/Kg/時} \leq$ の症例は83.1%と、安全で質の高い医療の提供を第一に取り組んでおります。今後とも、地域医療機関の先生方との連携を行い、血液透析を含めた幅広い血液浄化療法を実施して行きたいと思っております。

## ● 主な検査実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規導入(急性期含む)	58	63	65	68
受入れ患者数	328	339	310	312
件数	13,848	14,091	13,665	13,001



血液透析室全景

## ● 診療スタッフ



まつざわ よしやす

**松澤 吉保**

役職  
センター長

専門分野  
麻酔科一般  
ペインクリニック

専門医  
・日本麻酔科学会認定  
麻酔科専門医

## ● 業務の内容

外科系診療科が担当する様々な予定手術を中心に、腎臓内科でのシャント造設術や全身麻酔管理下での内視鏡的手術など一部の内科系診療科が担当する手術と処置がセンター内施設で行われ、現在は7室が稼働しています。さらに医療用資機材の洗浄・消毒／滅菌、管理などを担当する中央材料部門も包含しており、診療実務において外来や病棟とも密接な連携が必要な部門の一つです。

また、当院は年間約4,700台の救急車を受け入れています。その中の一部の患者さんには入院や入院・手術が必要となり、時間内・外の緊急手術対応も重要なセンター業務の一つです。

なお、2023年度より、ダヴィンチ手術が外科および泌尿器科にて開始されました。手術室の効率的な利用がますます必要となっています。

## ● 診療実績

2022年には2,509件の手術を行いました。内容としては腫瘍切除術、外傷（骨折、慢性硬膜外出血を含む）、虫垂炎・ヘルニア・胆石手術、白内障、整形外科関節置換、シャント造設術・上腕静脈表在化術、脳動脈瘤ネッククリッピング・大動脈ステントグラフト内挿術、心臓弁置換・弁形成術、冠動脈バイパス手術などが主な疾患／病態でした。



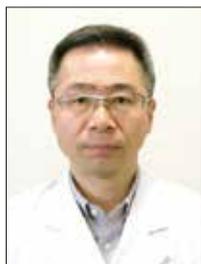
手術室風景

## ●手術支援ロボットを使用した手術

当院では手術支援ロボット ダヴィンチの第4世代となる最新鋭の「da Vinci Xi」を導入し、外科及び泌尿器科で手術を開始いたしました。これにより、更に根治性を高め、低侵襲の治療の提供が可能となりました。今後も高度で安全な手術の拡充を目指して参ります。



## ● 診療スタッフ



むらた けん

**村田 健**

役 職 センター長

専門分野  
血液内科一般

専門医

・日本血液学会認定  
血液専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医

## ● 業務の内容

わが国において一生のうちのがんに罹患するのは国民の2人に1人であり、手術や薬、放射線などさまざまな治療法が行われるようになってきました。その中で、薬物療法の進歩はめざましく、以前からの化学療法（抗がん薬）に加え、最近では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など、単独ないし手術や放射線との併用で著しい効果が得られることも多くなってきました。一方でそれらの副作用を減らす方法が進歩するとともに安全性も高まり、患者さんの生活の質（QOL）の維持向上にも寄与するため、外来通院での化学療法が積極的に行われるようになってきました。

当院でも外来での化学療法を専門的に行う場として2009年に外来化学療法室を設置し、2019年には部門としての責任体制を明確にするとともに患者さんのニーズへより確実に応えられるよう外来化学療法センターに改名改組しました。がん患者さんの診療を担当する多くの診療科が運営に参加し、様々な悪性腫瘍を対象として治療に当たっています。

## ● 診療実績

### ● 令和4年退院患者 がん件数

種 別	患者数	種 別	患者数	種 別	患者数
食道	54	膀胱	163	白血病	43
胃	261	腎臓・腎う	51	甲状腺	19
大腸	441	前立腺	180	脳	2
肝臓・胆嚢・膵臓	298	尿管	6	原発不明	15
肺	464	悪性リンパ節	143	その他	101
乳腺	167	多発性骨髄腫	21	合 計	2,429

※同一患者さんが複数回入院しているときは、それぞれカウントしています。（診療情報室より）

### ● 令和4年科別外来化学療法実績

診療科	件 数
外科	1,062
婦人科	2
耳鼻咽喉科	4
脳神経外科	10
泌尿器科	340
消化器内科	791
呼吸器内科	506
血液内科	208
膠原病内科	311
合計	3,234

（医事課より）

## ● 診療スタッフ



としだ のぶお

土信田 伸夫

役職 センター長

専門分野

循環器一般

専門医

・日本循環器学会認定  
循環器専門医

## ● 業務内容・体制

### ・ 健診業務

当院の健康管理センターは内科医2名、産婦人科医1名で業務を担当しています。生活習慣病予防健診、婦人科健診、乳癌健診を中心に1日7名、週21名の健診をおこなっています。健診内容は看護師の問診、身体測定、視力、聴力検査、内科健診、乳房健診、婦人科健診、血液検査、尿検査、便潜血検査、胸部レントゲン検査、心電図検査、胃部X線検査を行います。その他付加健診として乳房X線検査、腹部エコー検査、呼吸機能検査等も施行します。読影は放射線科、循環器内科の専門医が施行し、すべてのデータが出た後、健診結果を判定し健診者に郵送で結果を報告します。

### ・ 予防接種

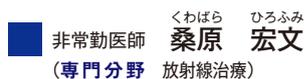
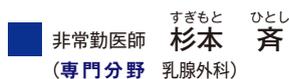
草加八潮地区消防署職員、市職員を対称にB型肝炎ワクチン、破傷風トキソイド、インフルエンザワクチンの予防接種を施行しています。

インフルエンザワクチンの予防接種は一般市民に対しても予約制で施行しています。

## ● 診療の特徴・特色

勤労者の健診受診が義務化され、草加・八潮地区の中小企業労働者からの受診需要も増加しているため、できるだけ多くの健診者の生活習慣病の予防、癌の早期発見等に貢献できるよう日々研鑽しています。

## ● 診療スタッフ



## ● 業務の内容

当院では2012年から乳腺科を立ち上げて専門的な治療をおこなってきました。2019年からは放射線科・病理診断科とともに、乳腺センターとして活動しています。乳がんの治療には、手術、薬物療法(抗癌剤、分子標的治療薬、ホルモン剤)、放射線治療といった様々な方法があり、常に最新の知見と技術を取り入れて診療にあたっています。

患者さんの病状やライフスタイルに合わせて治療方針を決定し、乳房温存や必要に応じて乳房全摘をおこなっております。病理医による術中の迅速病理診断に対応しており、センチネルリンパ節生検を積極的におこない、術後リンパ浮腫の防止に努めています。また良性腫瘍に対しては小さなものであれば日帰りの手術を行っています。

薬物療法については、現在保険適用で使用できる乳がん治療薬は当院においても全て使用できます。

放射線診断には読影認定医が診断をおこないます。放射線治療は放射線治療専門の医師が担当し、他院での乳房温存手術後の放射線治療も受け付けています。

当院での乳房再建手術は現在整備段階ですが、同時再建をご希望の場合には連携している大学病院やがん診療連携拠点病院と連携しての対応となります。

## ● 診療実績

2022年の乳がん手術は68件で、乳房温存手術が15件、乳房全摘手術が53件でした。当院の特徴としては全国平均と比べると高齢の患者さんが多く、ややステージが進行している患者さんも多い傾向にあります。早期の発見、早期の対応に努めていますので、ご紹介のほどよろしくお願いたします。



令和5年度 内科専攻医

□内科医師 とうやま ようこ <b>東山 陽子</b>	□内科医師 まきぐち はると <b>巻口 遥翔</b>	□内科医師 さとう かずあき <b>佐藤 万瑛</b>	□内科医師 やまだ あやみ <b>山田 彩水</b>	□内科医師 ふじい りょうすけ <b>藤井 亮輔</b>	□内科医師 みもり えりか <b>三守 恵里加</b>	□内科医師 おおつか みつき <b>大塚 弘貴</b>	□内科医師 しぶや けいたろう <b>澁谷 慶太郎</b>
							
(循環器)	(腎臓)	(呼吸器)	(内分泌・代謝)	(消化器)	(膠原病)	(呼吸器)	(消化器)

2年次

あべ あきひろ <b>安部 聡宏</b>	おおの りょうへい <b>大野 凌平</b>	おがわ しゅうへい <b>小川 柁平</b>	たけうち ゆうき <b>竹内 祐貴</b>	ひろい しゅんた <b>廣井 駿太</b>	かわしま みずき <b>川島 瑞希</b>	やたか ゆりな <b>谷高 百合奈</b>	よしかた ほつみ <b>善方 葉泉</b>
							

1年次

ありま <b>有馬 レナ</b>	うめもと はやて <b>梅本 颯</b>	おおい たけし <b>大井田 毅</b>	のほりかわ しゅん <b>登川 俊</b>	はまだ たかはる <b>濱田 宇玄</b>	ゆうき のぶひろ <b>結城 伸啓</b>	たたの わたる <b>多々納 亘</b>	たなか ひろき <b>田中 宏樹</b>
							

よしおか りさ <b>吉岡 里紗</b>	よしかわ ゆうひ <b>吉川 雄飛</b>
	



## ■院内各部門

- 看護部  
(宗廣 みな子)
- 患者サポートセンター  
(矢内 常人)
- 薬剤部  
(木村 直也)
- 放射線科  
(砂川 栄作)
- 検査科  
(小野 雅寛)
- リハビリテーション科  
(山崎 彰律)
- 臨床工学科  
(佐羽内 哲也)
- 栄養科  
(小山 由佳)

# 院内各部門

Section in Hospital



# 看護部 Nursing Department

看護部はナイチンゲール看護論を基盤にし、「やさしい看護」「輝く看護」で患者さんの持てる力を引き出せるような関わりを大事にしています。そしてチーム医療として他職種との連携を行い、患者さんにとって安全で安心な医療や看護を提供いたします。また退院後も必要な医療・看護・介護が継続できるように、地域との顔の見える連携に力を入れていきます。

## ●看護部の体制について

看護単位：12単位

看護配置：入院基本料7対1

勤務体制：三交代、変則二交代

看護方式：固定チームナーシング

相談窓口：患者相談室

看護学生実習：草加八潮医師会准看護学校、埼玉県立大学、人間総合科学大学看護学科

受け入れ 専門学校日本医科学大学校、幸手看護専門学校

文京学院大学保健医療技術学部看護学科、高崎福祉医療カレッジ、大東文化大学

## ●管理スタッフ



むねひろ こ  
**宗廣 みな子**  
役職  
看護部長



さいとう かずみ  
**齋藤 和美**  
役職  
看護部 副部長



くぼ けいこ  
**久保 桂子**  
役職  
看護部 副部長



さわだ かえこ  
**澤田 加枝子**  
役職  
看護部 副部長

4階東病棟師長  
かなざわ みき  
**金澤 美喜**

4階西病棟師長  
いけだ かよこ  
**池田 佳代子**

5階東病棟師長  
あおき まさひろ  
**青木 政裕**

5階西病棟師長  
いちもり てるこ  
**一森 輝子**

6階東病棟師長  
たくま みよこ  
**田熊 美与子**

6階西病棟師長  
とよだ まき  
**豊田 真希**

7階東病棟師長  
ふじい さゆり  
**藤井 小百合**

7階西病棟師長  
かわさき ようこ  
**川崎 洋子**

中材・手術室師長  
あおき まさこ  
**青木 政子**

CCU・ICU/HCU師長  
くぼち のりこ  
**久保地 紀子**

腎センター師長  
すずか のりこ  
**鈴鹿 則子**

外来師長  
わがつま かずみ  
**我妻 和美**

患者サポートセンター師長  
おおざと じゅんこ  
**大里 淳子**

認定看護師長  
かざまき ゆうこ  
**風巻 裕子**



師長会

## ● 認定看護師等の活動

それぞれの専門分野を活かし、患者さん、ご家族の方が快適で安心した日常生活が送れるよう支援しています。

皮膚・排泄ケア

**風巻 裕子**  
**山本 幸子**

褥瘡や創傷処置、ストーマケア、失禁ケアを専門に行います。ストーマ外来(要予約)や褥瘡対策チームの一員として多職種と連携し活動しています。

傷がなかなか治らない、ストーマ装具がよく漏れる、どんな装具があうのかわからない、傷やストーマ周囲の皮膚がただれ困っている等、皮膚や排泄ケアについてお困りのことがありましたら、ぜひご相談ください。

緩和ケア

**浦田 美穂子**  
**浅川 邦江**

当院に緩和ケア病棟が開棟し4年目となります。緩和ケアチームとして身体症状だけでなく、精神面でのフォロー、意思決定支援、患者さんの在宅調整等多職種で連携しながら行っています。疼痛などの症状コントロール、患者さんやご家族の不安に対するケアなど、お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

がん化学療法看護

**高橋 未歩**

抗がん剤治療をされる患者さんやご家族に対して介入させていただいています。現在は外来通院での治療が主になっているので、治療における副作用への対処方法などの身体的な事から、治療や病気への不安などの精神的な事、さらに社会活動に関する事などお話ししながら、より治療を安楽に行えるよう関わらせていただきたいと思います。

集中ケア

**中澤 佳子**  
**磯田 英里**

急性かつ重篤な患者さんは生命を維持していくうえで、重要な機能が不安定なため注意深い観察や変化を見すえた早期対応が必要です。多職種と連携し、身体的なケアだけでなく、心理・社会的側面からも患者さんの早期回復へ向けた活動を進めていきます。急変時対応などお困りのことがありましたら、ご相談ください。

慢性呼吸器  
疾患看護

**小室 圭子**

慢性呼吸器疾患患者の生活指導や在宅酸素(HOT)・人工呼吸器(TPPV・NPPV)の指導を行っています。在宅酸素や人工呼吸器を導入してご自宅や施設で生活する方も年々増加しております。「労作時の息切れ」による生活の工夫や機器の取り扱いなどのご相談がありましたらご連絡ください。

手術看護

**金澤 直美**

患者サポートセンターと連携し、手術が決定した段階から介入しています。患者さんやご家族が安心・安全に手術を受けられるよう麻酔の疑問の説明、術前に必要な口腔ケアや禁煙についての指導と、術後訪問を行っています。手術についての不安などご相談がありましたらご連絡ください。

感染管理

**荒金 育美**

新型コロナウイルス感染症は、5月8日より5類感染症に移行しました。インフルエンザと同等と考えられていますが、季節性ではありません。これからは自分の判断で感染対策を実施する時代です。しかし、コロナウイルスの感染力は変化していませんので、院内での感染対策や指導等は今まで通りに行っています。新型コロナウイルスに限らず、感染対策等でお困りのことなどありましたらご相談ください。自施設でできる感染対策を一緒に考えていきましょう。

透析看護

**吉橋 恵美**

血液透析・腹膜透析患者の生活指導や透析管理を行っています。また、慢性腎臓病の患者さんとは、今後腎不全の治療をどのように行っていくか、腎臓の代わりをする療法選択説明も行っています。透析患者さんの生活指導、慢性腎不全患者さんの療法選択などの相談にこたえることができます。年齢やADLに合わせた適性透析についてなどご相談がありましたらご連絡ください。

救急看護

**國分 秀人**

急性疾患、慢性疾患の急性増悪など様々な状況において救急処置が必要な患者さんを対象に看護実践を行っています。救急処置を中心とした初療段階の看護実践で疾患や臓器、発達段階、診療科、重症度は問わず対応しています。急変時対応や緊急度判断、急変前の患者観察に必要なアセスメント方法など、救急看護に関してお困りのことなどがありましたら、ぜひご相談ください。

## ● 看護外来について

専門的な知識や技術をもった看護師（認定看護師や糖尿病療養指導士）が医師や多職種と連携し、患者さん・ご家族からの相談に対応したり、セルフケア指導、よりよい療養生活が送れるよう、生活をサポートしていきます。

当院には、以下の4つの看護外来があります。地域でお困りの患者さん、ご家族の方がいらっしゃいましたら、ぜひお問い合わせください。

なお、看護外来は完全予約制となります。医師の診察とあわせて看護師が担当しますので、お手数ですが情報提供書の準備と、事前に地域連携室までお問い合わせをお願いします。

看護外来名	担当者/診療科	対応内容
腎代替療法選択	吉橋 (透析看護CN・慢性腎臓病療養指導看護師) ／腎臓内科	血液透析・腹膜透析・移植の選択説明、慢性期の生活指導
フットケア、透析予防相談、療養相談	坂本(糖尿病療養指導士) 風巻・山本 (皮膚・排泄ケア特定認定看護師) ／皮膚科、内分泌代謝内科、腎臓内科、膠原病内科等	胼胝・鶏眼処置、フットケア指導、フットウェア相談、糖尿病患者の透析予防指導相談、療養生活指導相談
HOT 外来	小室 (慢性呼吸器疾患看護CN) ／呼吸器内科	呼吸療法(HOT、NPPV、CPAP、HFNC)指導相談 息切れのある患者さんの在宅療養の相談や指導 6分間歩行検査
スキンケア外来	風巻・山本 (皮膚・排泄ケア特定認定看護師) ／外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、心臓血管外科等	ストーマ造設に不安のある患者家族へのオリエンテーション、マーキング等術前・後ケア、創傷ケア、失禁によるスキントラブル等



認定看護師

病院薬剤師は医学薬学の高度専門化に伴い薬学分野における高度な知識と経験が求められております。

当院薬剤業務は調剤業務、製剤業務、医薬品情報業務、医薬品管理業務、病棟薬剤業務に分類され、特に病棟薬剤業務は病棟に薬剤師が常駐し多職種と連携することで医薬品適正使用の質的向上に貢献しております。さらに医薬品責任部門として様々な委員会(薬事委員会、医療安全管理委員会、院内感染対策委員会等)にも積極的に参画し、常に医薬品適正使用の推進に向けて努力しております。また草加市薬剤師会とも定期的に合同研修会を開催するなど薬業連携も非常に充実し、今後も様々な取り組みを検討し相互連携のさらなる発展に向けて一層の努力をしております。

当院には各専門領域の医学薬学の知識と薬物療法に関する高度な知識・技能を有している専門認定薬剤師が臨床の現場で数多く活躍しております。特にがん化学療法、感染制御、栄養領域、糖尿病領域におけるチーム医療に積極的に参画し、医師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養師など別々の役割を担った医療スタッフが互いの専門性を尊重し最大限の能力を引き出しあい最も効果的な治療法を検討することで患者様にとって最善の治療を導き出そうと努めております。

また薬剤師が薬物療法に直接関与し薬学的ケアを実践して患者様の不利益(副作用の回避や早期発見、相互作用、薬物療法の有効性と安全性、経済効果など)を回避あるいは軽減・向上



した事例をプレアボイド(Prevent and avoid the adverse drug reaction:薬による有害事象を防止・回避する)件数として集積し、医薬品適正使用の推進と医薬品を使用した患者様の安全管理に日々貢献できるよう努めております。

今後も私たち薬のエキスパートは各専門領域に係る全ての医薬品に対する高度な知識と技能を維持し、常に最新の情報を収集し安全かつ効果的な質の高い薬物療法に努めていきたいと考えております。

薬剤部は「臨床」・「教育」・「研究」を業務の大きな目標としており、「教育」・「研究」の一環としてこれまでに薬剤師2名が薬科大学大学院に入学し日々の薬剤業務に従事しながら博士号(薬学)を取得することができました。現在では、さらに薬剤師1名が薬科大学大学院に在籍し博士号(薬学)取得を目指しております。

このように一般的な病院薬剤師業務をこなすだけでなく薬剤師一人一人が様々な専門・認定資格取得に向けて自己研鑽の努力をしております。

●スタッフ



きむら なおや

木村 直也

役職  
薬剤部長

〔専門領域〕

がん薬物療法  
いとう ごうき  
伊藤 剛貴

ひらの わたる  
平野 航

糖尿病薬物療法  
きむら よしのぶ  
木村 好伸

こうだ ひろし  
香田 博  
おがわ ようこ  
小川 陽子

小児薬物療法  
むらこそ かずとし  
村社 計寿

いとう さち  
伊藤 幸  
たかはし さき  
高橋 咲

おざわ えりな  
小澤 絵里菜

漢方薬物療法  
むらこそ かずとし  
村社 計寿

緩和薬物療法  
いとう ごうき  
伊藤 剛貴

もてぎ たかひろ  
茂木 孝裕

抗菌化学療法  
もとishi ひろゆき  
本石 寛行

ますだ りょうへい  
増田 怜平

栄養療法  
もてぎ たかひろ  
茂木 孝裕

のぐち なおき  
野口 直輝

妊婦・授乳婦薬物療法  
いとう さち  
伊藤 幸

患者サポートセンターは、地域の医療機関、保健機関、福祉施設等との連携及び協力体制を充実させ、多職種協同により患者及び家族が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう社会的、経済的及び心理的な問題に対し適切な支援を行うとともに、入退院に係る各種相談、面談、手続き等マネジメントを行うことで、退院後を見据えた診療及び療養への円滑な移行を実現できるよう努めていきます。



## ●入院前から退院・退院後まで支援

- ・ 転院・医療福祉相談
- ・ 紹介患者受付
- ・ 支払い相談
- ・ 退院支援
- ・ 緊急受診・転院調整
- ・ 在宅療養相談
- ・ 患者相談
- ・ セカンドオピニオン対応
- ・ 外来在宅調整
- ・ 入院・手術前支援 (PFM)

外来受診・通院

入院決定

入院日

入院中

退院

外来受診・通院

- ・ 入院前の状態の確認
- ・ 手術説明
- ・ 入院生活の説明
- ・ 内服薬の確認

- ・ 退院後の生活支援

- ・ 在宅療養の支援
- ・ 地域との連携窓口

## ●入退院支援室

### 入院前支援 (PFM)

外来診察で入院(手術・検査・治療)の説明と同意を得られた患者・家族に、不安なく安心して入院いただけるよう事前に、面談を行っています。面談は、入院について(入院生活)・入院前の状態確認・手術や麻酔の説明・心臓カテーテル検査の説明、薬剤師による内服薬確認・中止薬の説明を行っています。また、地域医療機関やケアマネージャー、他施設と連携しながら退院後も見据えた支援体制をとっています。



入退院支援

## ● 患者相談室



患者相談

病気と向き合う中で、不安や疑問に感じる事、質問や意見を拝聴します。

がんに関する事、社会福祉に関する事、診療に関する事、虐待やDVなどの相談をそれぞれ担当と連携しながらお手伝いしています。

## ● 地域医療連携相談室

### ● 地域連携業務

検査が必要、緊急を要する、症状が重いなどの診断でかかりつけ医の先生からご紹介いただいた患者さんがスムーズに受診できるよう診療等の予約や受診調整をしています。また、治療により症状が比較的安定した患者さんには、お近くのかかりつけ医等にお戻りいただく逆紹介のお手伝いもしています。

紹介患者さんの受診援助

(診察や検査の予約)

緊急受診・転院調整

外来在宅調整

かかりつけ医の推進、医療機関情報の提供

広報活動(ガイドブック等)

研修会・講演会の開催



医療機関情報の提供

### ● 医療福祉相談業務



医療福祉相談

医療ソーシャルワーカーが、地域医療機関や施設、行政機関などと連携して、退院に伴う支援をしています。また、介護保険や障がい者福祉サービスなど社会福祉制度のご案内や関係機関との調整の支援をしています。

療養中の心理的・社会的問題への支援

退院及び転院支援

関係機関等との連携

社会復帰の支援

地域活動への参加

# 診療放射線科 Radiology

当院放射線科は、各種画像診断(CT・MRI・アイソトープ検査・一般撮影・消化管造影・血管造影等)の技術を応用した微小侵襲治療法であるIVRならびに放射線治療を主業務としております。これらの診療放射線業務に際して、地域医療連携を積極的に行っております。

新病院が開院して18年が経過したため、昨今では放射線科管理の耐用年数を超えた機器を順次更新していく必要が生じてきております。

最も地域の先生方にご利用いただいているCTは16列から320列装置へと更新いたしました。新しく320列にしたことにより撮影スピードが向上し検査時間の短縮が可能となりました。この装置の特徴は、心臓や脳などの血管の描出や骨などの3D画像の構築に大変有用な点です。

その他、デジタルガンマカメラ装置の更新も行いました。

ガントリの各部機構やコンピュータのハード・ソフト両面の進歩により現在の核医学のレベルに対応する高精度な収集・解析が可能となり、高い水準の診断レベルと検査の迅速性を実現することが可能となりました。

これらの高度医療機器を地域の先生方にご利用していただくため、当科では他院の患者さんのCT・MRI・アイソトープ検査(脳血流、骨、Gaシンチ等)や放射線治療を受け入れています。

画像診断検査の結果はCD-Rにて当日お渡しし、報告書は翌開院日に郵送しております。なお、放射線治療専門医は非常勤であり、放射線科は入院病棟を持たないため、原則として放射線治療は通院可能な方のみとさせていただきます。

近年の画像機器の進歩は目覚ましいものがあり、微細な病変の描出および評価が、以前にも増して求められるようになり、それによる医療被ばくの増加も懸念されるようになっております。当科においても新しい機器やシステムを導入し、医療の高度化を目指しておりますが、患者さんの負担軽減と被ばくを最小限に抑えることを常に考え、日々の業務に邁進しております。

更に、令和5年の今年は「職員一人一人が感染予防対策を徹底するとともに、患者及び職員の安全確保を第一としながら、医療提供体制の維持・確保を図る。」を当科の組織目標として掲げ、業務遂行してまいります。

当科を地域の先生方に安心してご利用いただき診療の一助となり、少しでも地域の市民の皆さまに貢献できれば幸いです。

## スタッフ

すなかわ えいさく

砂川 栄作  
役職  
放射線科長



心臓血管撮影装置



320列マルチスライスCT



MRI



体外衝撃波結石破碎装置



アイソトープ



リニアック

検査科では、現在、臨床検査技師35名、検査助手1名で業務を行っています。当院は災害拠点病院でもあることから、夜間・休日も日直・当直体制をとり365日24時間体制で緊急検査に対応し、迅速かつ精度の高い臨床情報の提供を第一に効率的な運用業務を行っています。また、超音波検査装置や心電計、生化学分析機、全自動輸血検査装置など多くの最新機器を取り入れ、より良い検査結果の提供に努めています。

## ● 検体検査

院内検査として、血液、生化学、尿一般、免疫血清、微生物、輸血、病理検査を行っています。微生物、輸血、病理検査以外の検査結果は、通常検査60分以内、緊急検査30分以内の報告を心掛けています。良質な検査結果を迅速に報告するため、定期的に機器メンテナンスを行い、また、データ保障のために日本臨床検査技師会と日本医師会主催の精度管理に毎年参加しています。

輸血検査では、輸血管理システムと自動輸血分析装置を導入しており、輸血関連検査や自己血を含む輸血用血液製剤の管理と供給業務を24時間体制で行っています。また、輸血療法委員会を定期開催し、安全かつ適正な輸血が提供できるように日々努めています。

病理検査では、病理医指導の下、迅速な業務を行っております。

## ● スタッフ



おの まさひろ

**小野 雅寛**

役職  
検査科長



細胞診ディスカッション風景

委託職員にて実施していた輸血関連検査について、2022年4月より病院職員が実施することとし、輸血関連業務の依頼から報告までが一元的に運用できるようになりました。2022年9月からは、細胞診も院内検査として運用を開始しました。

## ● 生理機能検査

超音波検査では、心臓、腹部、乳腺、甲状腺、頸動脈、下肢動静脈などを実施しています。心臓超音波検査に関しては、医師立会いのもと、3D経食道心エコーも行っています。

また、SPP(皮膚灌流圧検査)を行うことで、血圧脈波では評価できない末梢動脈疾患の診断や、1週間心電図を連続記録するイベント検査を行うことで、24時間ホルター心電図では検出できなかった不整脈などの診断に役立っています。

2022年12月に生理検査システムおよび検査機器の更新し、業務の合理化を行いました。これにより検査待ち時間の短縮が図られました。

## ● 各種委員会

ICT(感染対策チーム)、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)、NST(栄養サポートチーム)などのチーム医療に積極的に参画しています。



経食道3D心エコー図検査



輸血検査

## ● 構成

令和5年4月現在、リハビリテーション科は理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士3名の合計18名で構成されています。



理学療法室

## ● 業務紹介

当院は二次医療機関であるため、当科も急性期入院患者さんに対するリハビリテーションを重点的に行っています。

その治療対象は多岐にわたり、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、外傷(骨折、靭帯損傷など)や退行変性疾患(変形性関節症など)術後等の運動器疾患、心筋梗塞や心不全などの循環器疾患、肺炎や慢性呼吸器疾患などの呼吸器疾患が中心となっており、その他安静により身体機能が低下した方々にも対応しています。

平成24年4月に「心臓・脳血管センター」が開

設されて以降、リハビリテーション科においても急性期医療をさらに充実させるために同年度からリハビリテーション科稼働日の増加を徐々に進め、現在では毎週土曜日の他、ゴールデンウィークや年末年始においてもリハビリテーションが提供できる診療体制となっています。

今後も二次医療機関の責務を果たすべく、より効果的な急性期リハビリテーションの実施を目指していきます。地域のニーズにも対応していけるよう、多くの医療機関の方々のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ● スタッフ

やまさき あきのり

**山崎 彰律**

役職  
リハビリテーション科長



作業療法室



理学療法室

当科では、医療機器の保守管理、呼吸、循環系の業務を行う部門と、急性血液浄化や透析を行う部門に分かれ、専属で業務を遂行しています。その他、院内での医療機器研修会の開催、医療ガス、医療安全、感染などの委員会活動や、各種カンファレンス、RST などへ参加しています。

主に携わる医療機器として、人工心肺装置、ECMO、IABP、ペースメーカーなどの循環を維持するための機器や、人工呼吸器、NPPV、全身麻酔器、ネーザルハイフローカニューラな

どの呼吸を補助する機器、血液透析装置、多用途血液浄化装置などの代謝を代行する装置などがあります。

近年、医療の高度化に伴い、先進的な医療機器が導入され続けています。我々は安全かつ効果的な治療が継続してサポートできるよう、臨床工学技士の国家資格に加え、専門・認定資格を取得し、診療部門および看護部門を支援しています。以下に取得資格を示します。

## ● 専門認定

- 臨床ME専門認定士
- 血液浄化関連専門臨床工学技士
- 不整脈治療関連専門臨床工学技士
- 呼吸治療関連専門臨床工学技士

## ● 認定

- 体外循環技術認定士
- 植込み型心臓デバイス認定士
- 心臓血管インターベンション技士
- 呼吸療法認定士
- 透析技術認定士
- 認定血液浄化関連臨床工学技士
- 認定医療機器管理関連臨床工学技士

## ● 検定

- 心電図検定1級
- MDIC検定
- 第一種ME技術実力検定

## ● スタッフ



さばない てつや  
**佐羽内 哲也**  
 役 職  
 臨床工学科長



栄養科では入院患者さんへの食事の提供と、入院・外来患者さんへの栄養相談を行っています。また、NST(栄養サポートチーム)や褥瘡回診、FLS(骨折リエゾンサービス)およびカン

ファレンスに参加し、低栄養の改善等にも力を注いでいます。よい食事と栄養相談、他職種との連携で患者さんの病気の改善に貢献できるよう、日々業務に取り組んでいます。

## ● 栄養相談

### ● 個別栄養相談(外来・入院)

平日 午前9時から午後5時  
土曜日(第1・3のみ) 午前9時から正午

### ● 糖尿病集団教室(入院)

水曜日 午後3時から

### ● 糖尿病透析予防管理指導(外来)

平日 午前

※栄養相談は、当院医師の診察後、予約制となります。

※医師が必要と判断した場合は、診察当日に予約枠外でも栄養相談を受け付けています。(糖尿病の患者さんのみ)

※透析や化学療法実施中の一部の患者にはベッドサイドで栄養相談を行っています。

## ● 入院食

● 医師の指示のもと食事が提供され、うち約4割が特別治療食となっています。

● 年間13回の行事食と週6食の選択食(一般常食)を取り入れ、メニューの充実を図っています。



個別栄養相談

## ● スタッフ

こやま ゆか

小山 由佳

役職  
栄養科長



一般食



行事食(七夕)



行事食(こどもの日)

## ■多職種チーム

- 医療安全対策チーム  
(鎌田 成芳)
- 感染対策チーム  
(塚田 義一)
- 患者サポートチーム  
(長谷川 毅)
- 抗菌薬適正使用支援チーム  
(塚田 義一)
- 栄養サポートチーム  
(副島 誠)
- 褥瘡対策チーム  
(村野 啓明)
- 児童虐待対策チーム  
(長谷川 毅)
- 緩和ケアチーム  
(鈴木 友宜)
- 医療情報システムチーム  
(西岡 良薫)
- 呼吸ケアサポートチーム  
(越智 淳一)
- 災害対策室  
(吉永 敦史)
- 災害派遣医療チーム  
(吉永 敦史)

# 多職種チーム

Multi-professional Team



# 医療安全対策チーム

## ● チームの概要

医療安全対策チームでは各部門(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床工学士、作業療法士、事務部、医事課)から選出されたメンバー(計21名)で、医療全般の安全向上を通じて医療の質の向上を目指して活動しています。

## ● 主な活動

・医療安全チーム会(毎月開催)

インシデントレポートの中から、共有すべき事例、多職種間で検討を要する事例を選び検討しています。また院外から発信されている医療安全情報を基に、当院における状況をチェックし、必要な対策につき検討・広報を行っています。

・医療安全ラウンド(年9回開催)

医療安全チームのメンバーで院内各部署をラウンドし、医療安全の視点で要改善点などをチェックしています。

# 感染対策チーム

## ● ICT概要

感染対策チーム(Infection Control Team: ICT)は院内での感染防止を目的として活動しています。メンバーは21名で医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床工学士、作業療法士、事務等多職種で構成され、組織横断的に活動しています。

## ● 主な活動

週1回院内ラウンド、感染症のサーベイランス、院内の感染対策マニュアル作成、コンサルテーション、教育活動として年2回感染対策研修を行い、全職員が研修を受講しています。

## ● 地域連携

近隣の医療機関と協力し、年4回の合同検討会やお互いの病院を訪問して、問題点を指摘し合い、感染対策の改善を行っています。

また、保健所に報告・相談を行い、地域の情報の共有も行っていきます。

院内での感染対策を職員全員が実践し、安心・安全な医療を提供できるよう今後も活動していきたいと思えます。

# 患者サポートチーム

## ● チームの概要

草加市立病院の医療従事者と診療を受ける患者との対話推進と、患者及びその家族等（以下「患者等」という）に対する支援体制を構築することを目的として、患者サポート委員会を設置しました。

患者サポートチーム会は、患者等の要望や苦情等に迅速に対応するため、患者サポート委員会の下に設置され活動しています。

## ● 活動内容

- 1・「患者さんの声」(目安箱)に入った要望等への対応調整
- 2・患者満足度調査の実施と結果に関する各部門との連携
- 3・患者等からの要望や苦情への対応と患者等の支援に関する実績の記録
- 4・院内に掲示する掲示物やポスターの管理

※患者等から寄せられた貴重なご意見について、改善できるものは早急に改善し、検討を要するものは各該当部署と協議を重ね、患者さんのご要望にお応えできるよう努力しています。

# 抗菌薬適正使用支援チーム

## ● チームの概要

近年、抗菌薬の耐性（AMR: antimicrobial resistance）が大きな問題となっています。抗菌薬の不適切な使用により耐性菌の増加が助長され、これは院内だけの問題でなく地域やさらに広い地域での問題となります。そのため、抗菌薬が適切に使用されているか、具体的には使用薬剤の種類、期間は適切か等を確認しています。

## ● 多職種連携

専任の医師、認定薬剤師、細菌検査技師、専従の看護師により構成されます。週1回臨床的、細菌学的、そして薬剤感受性等専門的立場から抗菌薬使用が適正か相談しています。

## ● 取り扱うおもな疾患

抗菌薬の長期使用患者、血液培養陽性患者、その他抗菌薬使用の気になる患者について意見を取り交わし担当医にフィードバックしています。起炎菌、薬剤感受性が判明した際に抗菌薬のde-escalationができないか検討します。

## ● その他

薬剤感受性をみるアンチバイオグラムの近隣他施設との比較を今後検討しています。それにより当院だけでなく地域の抗菌薬の適正使用、つまり効果のある薬剤を適切に使用することにつながると考えています。



# 栄養サポートチーム

疾病の治療には様々な方法がありますが、適切な栄養管理はどの治療においても、最も基本となるもので、栄養状態が悪ければどんな治療法も効果を上げることはできません。

NSTは多職種による患者さんへの適切な栄養管理を実施、支援し、疾病の早期回復をサポートします。

## ● チームの概要

医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師、歯科衛生士の各職種が、それぞれの専門知識と技術を活かし、患者さんの栄養状態をサポートするチーム (Nutrition Support Team、NST) です。

## ● チームの役割、活動内容

主に低栄養の患者さんを対象とし、主治医や担当看護師からの依頼に基づき、チームメンバーが集まり、患者さんの病態や栄養状態を確認し必要な栄養量や栄養補助方法を提案しています。そして、院内の褥瘡対策チームと連携して低栄養の患者さんの情報交換に努めています。

さらに、NSTの活動が院内全体に広まっていくように、院内職員向け研修会・勉強会を実施しています。

# 褥瘡対策チーム

## ● チームの概要

皮膚科の専任医師と病棟の専任看護師からなる日常的に褥瘡を診察していくチームです。

## ● チームの役割、活動内容

褥瘡対策委員会、褥瘡管理者 (皮膚・排泄ケア認定看護師)、主治医、病棟看護師と適宜連携し、褥瘡対策を立て、治療にあたります。

# 児童虐待対策チーム

## 一地域の子どもたちと家族の笑顔のために一

### ● 背景

全国で児童相談所に寄せられる相談件数は年々増加の一途をたどり、全国で13万件超、埼玉県で1万3千件超（いずれも平成29年度）、草加児童相談所管内で1,300件超（平成30年度）と報告されています。埼玉県は、平成22年4月に埼玉県越谷児童相談所草加支所を開設し、平成31年4月から埼玉県草加児童相談所と改組しました。草加児童相談所が所管する四市（草加市、八潮市、三郷市および吉川市）における対応件数も右肩上がりが増加しており、市立病院においても、この数年間に「一時保護委託入院」を含む医療的対応を求められる機会が大幅に増加し、平成30年1月にCPTを組織しました。



草加市児童虐待対応マニュアル

### ● チームの概要

児童虐待対策チーム（CPT）は、医師、看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等からなる多職種チームで、子ども虐待に病院組織として対応しています。市立病院「こども憲章」を策定し、子育て支援センター、保健センター、児童相談所等の関係機関との連携を図り、地域の子どもたち・家族の養育支援、子ども虐待予防に向けて活動しています。



市立病院 心臓・脳血管センター5階大講堂（令和元年9月）

### ● チームの役割・活動内容

CPT窓口にて院内外から寄せられる相談、情報を整理・共有し、病院組織として対応にあたっています。定例会議（毎月第3月曜日）の他に、関係機関との個別検討会議等を開催しています。平成30年4月より草加市および八潮市の要保護児童地域対策協議会（要対協）に参加、また埼玉県児童虐待対応医療ネットワーク事業に参画し、令和元年9月には市立病院においてネットワーク事業研修会を開催しました[写真]。地域の関係機関の皆様とともに、地域の子どもたちと家族の笑顔のために務めて参ります。

(文責：チームリーダー・滝島茂)

# 緩和ケアチーム

### ● 診療スタッフ

各診療科医師（緩和ケア科、消化器内科等）、緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師など

### ● 診療の対象疾患

悪性腫瘍  
心不全・呼吸不全など症状緩和を要する慢性疾患

### ● チームの概要

緩和ケアチームは、当院入院患者さんを対象とし、からだやこころのつらさを緩和する方法を、病棟の担当医や担当看護師と一緒に考えるチームで、その方らしい療養生活を支援することを目的としています。緩和ケアチームのサポートが必要だと担当医や担当看護師などが判断した時、または、ご本人やご家族からの希望があった時に、緩和ケアチームへの依頼が出され、病棟で診察をしています。診察結果を踏まえて、担当医や担当看護師らと相談の上、薬やケアの方法など調整するサポートをしています。

### ● 地域医療機関の先生方へ

緩和ケアチームは、多職種で連携をはかることで、患者さんやご家族の苦痛の緩和に努めるばかりでなく、主治医や病棟担当看護師とともに、意思決定支援も行っています。在宅療養に当たっては、訪問診療・訪問看護などの導入を勧めさせていただくこともあり、地域の先生方や訪問看護ステーションとの連携も充実させていきたいと考えています。

# 医療情報システムチーム

病院情報システム（電子カルテシステム・部門システム等）は「患者サービスの向上」「医療の質と安全の確保」「健全な病院経営」の実現のため導入されました。

## ● チームの概要

医療情報チーム会の母体は、医療情報システム委員会（旧医療情報システム改善委員会）となります。

構成メンバーは、診療部、看護部、薬剤部、医療技術部、事務部、医療情報部、すべてのセクションの代表者（マスタ管理担当者）と電子カルテシステムベンダーで導入方針に沿った運用ができるよう改善・検討を行っています。

## ● チームの役割、活動内容

病院情報システムを運用していく上での課題や改善要望を各部門と検討調整し、より診療が円滑に行えるよう支援しております。

また、電子カルテシステムのバージョンアップ（1回/2年）・レベルアップ（1回/1年）項目の検討も大きな役割となっております。

要望申請のあった内容については、隔週開催されるチーム会（内1回は合同会）において病院全体の課題として取り組み、迅速に対応できる体制を整えております。

医療情報システム委員会との合同会では、電子カルテシステムベンダーにも参加いただき、システム上の課題を共有し改善に向けて取り組んでおります。

患者さんの円滑な診療に寄与できるよう病院全体で病院情報システムの改善・維持に努めております。

## Respiratory Support Team (RST)

# 呼吸ケアサポートチーム

多職種からなるチームで人工呼吸器を装着している患者さんの安全管理、早期離脱をサポートします。

## ● チームの概要

2014年1月より、呼吸器内科医師、看護師、臨床工学士、理学療法士、歯科衛生士らが協力し呼吸ケアサポートチーム（RST）を立ち上げ活動を開始しました。人工呼吸器を装着している患者さんのベッドサイドへ訪問し、人工呼吸器の安全な管理や環境整備・ケアの確認や助言を行っています。



## ● チームの役割、活動内容

### ● 対象患者

一般病棟で人工呼吸器を装着した成人患者さん

### ● 定期回診（ラウンド）

毎週金曜日16時からベッドサイドへ訪問し、人工呼吸器の安全確認や人工呼吸器関連の合併症予防が適切に行われているかなどの確認を行っています。多職種それぞれの立場で、患者さんの最善の対策を提案し病棟スタッフへ伝えています。

ベッドサイドでの情報やアドバイスを取りまとめ、RSTラウンドチェック表に記載します。診療計画書やRSTラウンドチェック表は電子カルテに取り込み、全ての職種が確認できるようにしています。

### ● その他の活動

呼吸療法に関連する新規の診療材料や機器導入に向けて、情報収集や講習・体験などを行っています。導入後はマニュアルを作成し、各部署で勉強会等を行います。安全に使用できるように繰り返し確認し、周知徹底に努めています。

近年、地震や水害等の自然災害や交通災害や大規模火災等の人為災害など、様々な災害がいたる所で起こっています。また近年、C B R N e 災害(科学事故・生物事故・放射性物質事故・核事故・爆発事故等による災害の総称)も注目されています。平成8年、全国で災害拠点病院の設置が始まり、平成27年2月、県内では16番目の災害拠点病院として当院が指定されました。

これまで当院の災害体制の整備は、DMAT、BCP推進委員会、災害看護委員会にて行っておりましたが、当院のさらなる災害体制の整備、さらには埼玉県東部(南)医療圏(草加市・八潮市・三郷市・吉川市)の防災体制の強化を目的とし、令和4年4月災害対策室が設置されました。現在、埼玉県東部(南)医療圏各市における市役所、総合病院、医師会、消防組合、保健所等と協力し、地域一帯の防災体制を確立していくための、まず草加市内の災害医療体制を確立すべく、活動を開始しております。

## ● 活動内容

- BCP(事業継続計画)の管理
- 災害対策マニュアルの管理
- 災害訓練の企画・運営
- 災害に関する勉強会
- 地域災害連携 等

Disaster Medical Assistance Team (DMAT)

# 災害医療派遣チーム

DMATとは災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームであり、平時は、訓練及び研修の参加等で日々研鑽を積んでおります。災害時ともなるとDMATの業務は、本部活動や病院支援、現場活動、地域・広域医療搬送、避難所救護所活動など多岐にわたります。

当院DMAT隊員は、医師2名、看護師4名、業務調整員3名が厚生労働省に登録されています。

直近の活動としては、2022年10月1日に静岡県・愛知県・三重県・和歌山県で行われた内閣府主催の令和4年度大規模地震時医療活動訓練に参加してきました。各地のDMATが集結し、有意義な訓練を終えました。

## ● 活動内容

- 草加八潮防災訓練(草加八潮災害医療チーム(SYMAT)訓練)
- 内閣府主催大規模地震時医療活動訓練
- 九都県市合同防災訓練
- 関東ブロックDMAT訓練
- 埼玉県特別機動救助隊(SMART)との合同訓練
- 新型コロナ感染症対応(実績:中国・武漢市からの帰国者対応)等



## ■ 管理部門

### ● 医療安全部

医療安全管理室

(鎌田 成芳)

感染制御室

(塚田 義一)

### ● 医療情報部

(新井 俊成)

### ● 病院機能管理部

(新井 俊成)

### ● データベース

# 管理部門

Managing Section



当院では安心、安全な医療を提供するために、平成24年度から医療安全管理室が設置されました。平成31年度から医療安全部となり、部内に医療安全管理室と感染制御室を設置し、組織としての強化が図られました。

担当職員は鎌田(医療安全部長兼医療安全管理室長)、塚田(医療安全副部長兼感染制御室長)、安全専従の高橋(医療安全管理者)、感染専従の吉川(感染制御実践看護師)の4名です。

## ● 活動内容

医療事故防止と院内感染防止の2つに大きく分かれていますが、これらに関する情報収集、対策立案推進、情報提供(周知)、啓発、研修、マニュアル作成改訂などについて中心的役割を担っています。

また、実行部隊である医療安全対策チームや感染制御チーム、意思決定機関である医療安全管理委員会や感染対策委員会、臨時の医療事故調査委員会、アウトブレイク対策委員会などの庶務(連絡、調整、資料作成、議事録作成保存など)も業績のひとつです。

医療安全の情報収集は主にインシデント・オカレンス報告書で行われています。八潮中央総

合病院・鳳永病院と連携しそれぞれ相互訪問と検討会を行って評価をしています。感染対策は感染発生報告書の他に検査科からの細菌培養報告や院内ラウンドなどからも情報を収集しています。

感染対策に関しては、他病院との連携も行っています。鳳永病院とは年4回合同検討会を開催し、三郷中央総合病院とは年2回ずつお互いの病院を訪問して、問題点を指摘しあっています。

## ● スタッフ



かま た しげよし  
**鎌田 成芳**  
役 職  
副院長 兼  
医療安全部長  
専門分野  
泌尿器科一般・  
泌尿器科悪性腫瘍・  
排尿障害  
専門医  
・日本泌尿器科学会認定  
泌尿器科専門医



つか だ よしかず  
**塚田 義一**  
役 職  
医療安全部副部長  
兼感染制御室長  
専門分野  
呼吸器一般・肺癌・  
呼吸器感染症  
専門医  
・日本内科学会認定  
総合内科専門医  
・日本呼吸器学会認定  
呼吸器専門医



医療安全対策チーム会議



ICTラウンド

当院では、診療録の管理、臨床業務IT化、臨床指標の整備・充実・公開、疫学研究など病院情報システム関連業務の整備を行うため、平成31年に医療情報部が創設されました。

医療情報部は、医療システム管理室と診療情報管理室の2部署からなり、医療情報にかかわるところは医療システム管理室が、診療録にかかわるところを診療情報管理室が担うこととなりました。

## ● 体制及び活動内容

### ● 医療システム管理室

医療情報技師1名、看護師が1名(看護部所属)、事務(派遣)1名で病院情報システムの改善、要望対応等を行っております。

昨年は、電子カルテシステムに続き、20を超える部門システムの更新がありました。計画当初は10月の予定で進めておりましたが、半導体不足など不測の事態が重なり、サーバ搬入が間に合わないことが判明したことにより、稼働日が見直され予定より2か月半遅れの12月24日の稼働となりました。

特に手術支援システムについては、紙運用の全面撤廃により、スタッフ間での情報共有がリアルタイムとなりIT化が促進しました。また、医療安全にも配慮したシステム導入が実現できました。

今後は、情報化社会へ順応できる医療情報システムを目指し、すべての病院関係者が安全・安心に使えるシステムの維持に努めていきたいと思っております。

### ● 診療情報管理室

診療情報管理士4名(内派遣1名)会計年度任用職員1名(事務1名)で診療情報管理及び診療録開示を行っております。

退院時要約をもとに疾病分類を行い診療情報の管理が主業務となります。

このデータをもとに、病院統計や医療者からの検索依頼に対応しております。

また、埼玉県から推薦をいただき院内がん登録への協力や学会症例登録(外科、脳神経外科、循環器、泌尿器、整形外科等)の支援も行っております。

診療情報の開示も窓口も兼ねており、患者さん等から依頼のあった診療録の開示を行っております。

## ● スタッフ



あら い としなり

**新井 俊成**

役 職

副院長 兼  
医療情報部長

専門分野

脳血管障害・脳腫瘍

専門医

・日本脳神経外科学会  
認定脳神経外科専門医



なかがわ つねあき

**中川 恒明**

役 職

診療部長 兼  
医療情報部副部長

専門分野

画像診断

専門医

・日本医学放射線学会認定  
放射線診断専門医  
・日本医学放射線学会認定  
医学放射線研修指導者



すずき ともよし

**鈴木 友宜**

役 職

医療情報部副部長

専門分野

緩和ケア

一般企業において「総合的品質管理(Total Quality Management-TQM)」という概念があり、トップのリーダーシップのもと組織が一体となって、顧客が高度に満足する製品を生産したり、サービスを提供したりするための一連の活動を指します。近年病院診療にこれを応用し、患者が満足する高い診療技術を提供しようという動きがあり、『医療のTQM推進協議会』にはすでに多くの施設が参加活動しています。当院は2020年『病院機能評価』を獲得しましたが、機能評価認定維持のためにもこの組織を必要としています。

当院では「病院機能管理部」と称することとし、2021.4月発足いたしました。

本部の元には「病院機能評価委員会(委員会)」を設置しています。メンバーには医療安全部、医療情報部、感染制御室、看護部、患者サポート、薬剤部、放射線科、検査課、リハビリ科、栄養科、臨床工学科、地域医療連携、医事課及び経営管理課などの所属の方々、総勢28名の方々をお願いしています。今後も会を運営していくうえで

必要に応じて他の部署からの参加をお願いすることとなると考えています。この委員会では当院での様々な問題点、課題並びに改善目標などを抽出して病院機能の向上を目指していきます。委員会要綱では院内各部署に対して助言、提言及び時には指導を行っていくとされており、そのためにも広い部署からの参加が必要となりました。

今後も当院の診療の質向上を目指し、地域医療を担われている当地区医療機関の皆様と共に発展していきたいと考えている所存です。よろしく願いいたします。

## スタッフ



あらい としなり

**新井 俊成**

**役 職**  
副院長 兼  
病院機能管理部長

**専門分野**  
脳血管障害・脳腫瘍

**専門医**  
・日本脳神経外科学会  
認定脳神経外科専門医

# 令和4年 草加市立病院データベース

## ● 病床数・患者数

### ● 病床数

一般病床
380

### ● 診療科別患者数

診療科	外 来			入 院			
	新 患 数	患者延数	1日平均	入 院	退 院	在 院	平均在院日数
内 科	974	8,347	31.5	112	59	937	6.5
血 液 内 科	27	4,166	19.8	206	216	3,668	13.1
内分泌・代謝内科	115	14,168	57.4	222	217	3,481	10.4
膠 原 病 内 科	89	6,371	27.0	133	142	2,419	11.4
腎 臓 内 科	46	16,662	62.9	408	413	5,862	10.1
呼 吸 器 内 科	875	13,747	51.9	926	891	12,384	10.1
循 環 器 内 科	380	11,572	43.7	1,083	1,070	9,021	6.7
消 化 器 内 科	538	16,305	61.5	1,062	1,026	10,427	7.8
小 児 科	1,837	16,226	61.2	489	482	2,228	4.0
外 科	265	12,086	45.6	969	978	10,892	8.5
心臓血管外科	36	1,076	11.3	74	81	854	8.1
整 形 外 科	641	11,820	44.6	593	590	8,120	9.8
脳 神 経 外 科	478	1,889	13.2	438	451	7,330	10.7
呼 吸 器 外 科	20	209	3.9	17	26	264	7.8
皮 膚 科	198	10,422	39.3	50	48	654	9.3
泌 尿 器 科	221	15,701	59.2	524	522	3,937	6.4
産 婦 人 科	0	842	3.5	0	0	0	0.0
眼 科	127	8,368	32.1	668	670	1,361	2.5
耳 鼻 科	521	8,721	32.9	310	307	2,250	6.2
リハビリ科	0	3,570	13.5	0	0	0	0.0
放 射 線 科	411	3,974	15.0	0	0	0	0.0
口 腔 外 科	774	7,596	28.7	86	87	472	4.8
麻 酔 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0
精 神 科	0	7	0.0	0	0	0	0.0
救 急 科	671	2,024	5.5	2	2	17	8.5
緩和ケア科	32	859	3.8	102	194	2,440	9.4
合 計	9,276	196,728	769.0	8,474	8,472	89,018	8.2

(医事課より)

## ●患者数の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
入院患者数 (a)	107,194	105,895	96,556	96,386	89,018
外来患者延数 (b)	219,251	205,357	190,912	193,707	196,728
入院平均在院日数	10.2	10.0	10.1	8.9	8.2
合計 (a+b)	326,445	311,252	287,468	290,093	285,746

(医事課より)

## ●救急受入患者数 (外来)

	時 間 内	時 間 外	休 日	深 夜	合 計
救 急 科	825	565	282	352	2,024
他 科	0	2,179	1,069	1,612	4,860
合 計	825	2,744	1,351	1,964	6,884

(医事課より)

## ●うち救急車受入台数

時 間 内	時 間 外	受 入 件 数	うち入院患者数	うち転院搬送
1,575	3,142	4,717	1,666	64

(医事課より)

## ●臨床検査数

## ●臨床検査件数

2022年

区 分	入 院	外 来	合 計
一 般 検 査	5,649	43,711	49,360
血 液 検 査	61,353	157,748	219,101
細 菌 検 査	3,635	21,667	25,302
血 清 検 査	2,470	26,328	28,798
臨 床 化 学 検 査	373,356	1,239,930	1,613,286
外 注 検 査	11,483	78,866	90,349
生 理 機 能 検 査	4,278	25,728	30,006
合 計	462,224	1,593,978	2,056,202

(検査科より)

## ● 病理検査数

### ● 病理検査件数

2022年

区 分	入 院	外 来	合 計
組 織 診 断	1,613	2,279	3,892
細 胞 診 断	379	1,909	2,288
術 中 迅 速 診 断	117	1	118
病 理 解 剖	0	0	0
合 計	2,109	4,189	6,298

(検査科より)

## ● 手術件数

### ● 手術件数

2022年

	入院手術件数	うち全身麻酔
腎 臓 内 科	63	7
消 化 器 内 科	5	5
外 科	628	553
心 臓 血 管 外 科	90	84
整 形 外 科	574	554
脳 神 経 外 科	98	39
皮 膚 科	16	12
泌 尿 器 科	296	168
眼 科	672	3
耳 鼻 咽 喉 科	152	146
歯 科 口 腔 外 科	78	78
産 婦 人 科	0	0
呼 吸 器 外 科	19	19
合 計	2,691	1,668

※2022年1月1日から12月31日までの  
手術件数

(診療情報室より)

### ● 手術件数 (算定ベース)

2022年(入外)

診 療 科	件 数
総 合 内 科	12
小 児 科	6
外 科	1,066
整 形 外 科	1,030
産 婦 人 科	2
眼 科	795
耳 鼻 咽 喉 科	500
皮 膚 科	240
循 環 器 内 科	886
脳 神 経 外 科	370
泌 尿 器 科	354
消 化 器 内 科	1,213
緩 和 ケ ア 科	3
呼 吸 器 内 科	21
歯 科 口 腔 外 科	2,210
血 液 内 科	11
内 分 泌 ・ 代 謝 内 科	4
膠 原 病 内 科	5
腎 臓 内 科	246
心 臓 血 管 外 科	139
救 急 科	273
呼 吸 器 外 科	28
合 計	9,414

(医事課より)

## 放射線検査・治療件数

### 放射線検査治療患者数

2022年

	入院	外来	合計
一般撮影 (ポータブル撮影含む)	15,709	34,239	49,948
造影検査	1,079	1,454	2,533
CT	2,832	18,335	21,167
MRI	592	3,364	3,956
RI	78	631	709
心カテ	789	3	792
アンギオ	118	0	118
治療	1,517	2,968	4,485
合計	22,714	60,994	83,708

(放射線科より)

## 処方枚数・注射処方枚数

### 処方枚数・注射処方枚数

2022年

項	目	合計	月平均	日平均
調 剤	外来院内処方箋(枚)	3847	160.3	14.6
	外来院外処方箋(枚)	107297	4470.7	406.4
	院外発行率(%)	96.5		
	入院処方箋(枚)	59633	2484.7	225.9
	入院注射処方箋(枚)	72714	3029.8	275.4
抗がん剤	処方箋(枚)	4479	186.6	17.0
	混合調製(剤数)	7292	303.9	27.6
	外来総指導件数	2730	113.8	10.3
院内製剤	製剤調製(件数)	138.5	10.7	-
入退院支援	指導総件数	2388	199.0	-
薬剤管理指導	総指導件数(外来)	22567	940.3	85.5
血中濃度	薬物血中濃度解析	207	11.3	-
適正使用	プレアボイド(件数)	457	38.1	-

(薬剤部より)

# 研修会



# 草加市立病院小児科勉強会

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に伴い、開催を見送っておりました「草加八潮小児科勉強会」ですが、2022年3月からオンライン開催にて再開させていただいております(開催目安: 3月、7月、11月の第3木曜日)。これからも地域の先生方との「顔の見える」関係を大切に、地域の小児医療に務めて参りたいと存じます。引き続きご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

草加市立病院 診療部 小児科 部長 長谷川毅  
企画担当: 草加市立病院 診療部 小児科 副部長 滝島 茂

## 第1回 2022年3月17日(木) 19:00-20:30

### 第一部 症例提示

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 児玉 昭彦  
「発熱・嘔吐を契機に発見された十二指腸穿孔の1例」

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 山野 春樹  
「発熱・嘔吐を契機に発見された完全房室ブロックの1例」

### 第二部 講演

草加市立病院 診療部 小児科 医長 滝島 茂  
「当科における小児COVID-19対応」

## 第2回 2022年7月21日(木) 19:00-20:30

### 第一部 症例提示

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 村山 哲  
「尿路感染症を合併した川崎病の1例」

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 山口 悦朗  
「舌下神経麻痺が先行した顔面神経麻痺の1例」

### 第二部 講演

草加市立病院 診療部 小児科 副部長 滝島 茂  
「成長曲線が描く子どもたちの輝く未来」

## 第3回 2022年11月17日(木) 19:00-20:30

### 第一部 症例提示

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 田中 里奈  
「Multiplex PCR検査と抗原定量検査が有用であったCOVID-19罹患後の4歳女児例」

草加市立病院 診療部 小児科 医師 中溝 智也  
「鑑別に苦慮した川崎病の1例」

### 第二部 講演

草加市 発達支援センター診療所 所長 土屋 史郎 先生  
「一般小児科診療と発達障害」

## 第4回 2023年3月16日(木) 19:00-20:30

### 第一部 症例提示

草加市立病院 診療部 小児科 専攻医 坂川 由里歌  
「著明な全身性浮腫をきたした生後3か月女児の1例」

草加市立病院 診療部 小児科 医長 佐藤 薫  
「COVID-19罹患中に潰瘍性大腸炎と診断した14歳男子の1例」

### 第二部 講演

草加市立病院 薬剤部 村社 計寿 薬剤師  
「小児領域における薬剤師の関わりと地域活動」

## ■予約関係書類

- 初診予約の取り方について
- 予約申込書（貴院控え）
- 予約票（当日持参用）
- 各種注意事項
- 検査の説明と同意書
- 画像・生理検査申込書（FAX 送信・貴院控え用）
- 画像・生理検査申込書（当日持参用）
- 診療予約申込書の記入について
- 画像・検査申込書の記入について

# 予約関係書類

Reservation Format



# 初診予約の取り方について

紹介患者さんを当院にご紹介いただく際は、**事前に予約**をお取りください。

予約には電話予約とFAX予約があります。

なお、下記の診療科以外は患者さんからのお電話による申込みお受けします。

紹介状を予め患者さんにお渡しください。直接患者さんとお話しして予約日を決定いたします。

**血液内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、婦人科、放射線科(治療)、緩和ケア科はFAX予約のみ受付しています。**  
検査のご予約は医療機関からのみお受けします。FAXまたはお電話でお申込みください。

※緩和ケア科は事前に地域医療連携相談室(相談室)相談員にご相談ください。

## 電話予約 (患者さん)

※医療機関の方へ  
予約申込書をご記入の上  
複写2枚目「予約票(当日持参用)」  
を患者さんにお渡しください。  
・紹介状(原本)  
・検査データ等  
も併せてお渡しください。

## 電話予約 (医療機関)

(予約専用ダイヤル)  
**048-946-2305**  
へお電話ください。  
月～金 8:30～17:00 / 土 8:30～12:00  
※第2・4・5土曜、祝祭日、年末年始は除く

## FAX予約 (医療機関のみ)

**048-946-2501**  
へ送信してください。  
月～金 8:30～17:00 / 土 8:30～12:00  
※第2・4・5土曜、祝祭日、年末年始は除く  
24時間受信します。17:00以降のお申し込みの  
返信は翌日以降(または翌週)となります。

### 患者さんから

(予約専用ダイヤル)

**048-946-2305**

へお電話ください。

月～金 8:30～17:00 / 土 8:30～12:00  
※第2・4・5土曜、祝祭日、年末年始は除く

患者さんの

- ・市立病院受診歴の有無
- ・氏名
- ・性別
- ・生年月日
- ・連絡先
- ・希望診療科
- ・医師の指名の有無

をお知らせください。

予約申込書(複写1枚目)に「予約日時」以外  
をご記入の上、FAX送信してください。  
検査の予約は画像・生理検査申込書も併  
せてお送りください。

血液内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、  
婦人科、放射線科(治療)、緩和ケア科は  
申込書に

- ・紹介状
- ・検査データ
- ・処方内容等

を添えてFAX送信してください。

- ・紹介元医療機関
- ・市立病院受診歴の有無
- ・氏名
- ・性別
- ・生年月日
- ・連絡先
- ・紹介状の宛先診療科
- ・医師の指名の有無

をお伺いします。

当院から予約日時をお伝えします。

申込書に予約日時をご記入の上  
複写2枚目「予約票(当日持参用)」  
を患者さんにお渡しください。

- ・紹介状(原本)
  - ・検査データ等
- も併せてお渡しください。

当院から予約票をFAXで返信します。  
血液内科・腎臓内科につきましては、予約  
日時の確定にお時間をいただいております。  
あらかじめご了承ください。

患者さんに

- ・予約票
- ・紹介状(原本)
- ・検査データ
- ・処方内容等

をお渡しください。

検査の予約を取ったときは、画像・生理  
検査申込書に記入の上、複写2枚目(当  
日持参用)を紹介状と一緒に患者さん  
にお渡しください。

## お 願 い

- ・当日は予約票に記載のある**持ち物を必ず持参**されますよう患者さんにお伝えください。
- ・なお裏面が注意事項となっておりますので、放射線科・検査科・腎臓内科・歯科口腔外科・糖尿病腎症連携  
を予約された際は患者さんにお読みいただくようお伝えください。
- ・**予約時間の30分前までに①番紹介状受付窓口へお越しください**ますようご説明ください。受付時間を過ぎ  
てしまいますと、診察や検査が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

# 予 約 申 込 書 (貴院控え)

## 紹介元医療機関

名 称 \_\_\_\_\_  
 診療科名・医師名 \_\_\_\_\_  
 所在地 (〒 \_\_\_\_\_ )  
 \_\_\_\_\_  
 申込担当者 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1  

 草加市立病院 地域医療連携相談室 宛  
 TEL : 048-946-2200 (代表)

◎TEL/FAX受付時間  
 休診日以外の午前8時30分から午後5時まで  
 ◎休診日  
 日曜、祭日、国民の休日、第2・第4・第5土曜日、  
 12月29日から翌1月3日まで

## フリガナ

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 男・女 T・S・H・R \_\_\_\_\_ 年 月 日生 ( 歳 )  
 住 所 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

## 予約希望日

※希望のある場合のみ記入

希望日  
有・無

(第1希望) \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( )  
 (第2希望) \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( )  
 (第3希望) \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( ) 医師名 \_\_\_\_\_ ←希望があれば記入

草加市立病院受診歴 (有・無・不明) ※(有)の場合 市立病院患者番号 \_\_\_\_\_

## 予 約 日 時 年 月 日 ( ) 時 分

### 希望診療科

※該当項目に○印をつけてください。

- |        |       |        |          |         |        |
|--------|-------|--------|----------|---------|--------|
| ・総合内科  | ・神経内科 | ・膠原病内科 | ・乳腺外科    | ・循環器内科  | ・呼吸器内科 |
| ・消化器内科 | ・外科   | ・小児科   | ・耳鼻咽喉科   | ・心臓血管外科 | ・整形外科  |
| ・眼科    | ・皮膚科  | ・脳神経外科 | ・泌尿器科    | ☆歯科口腔外科 | ・呼吸器外科 |
| ・血液内科  | ☆腎臓内科 | ・緩和ケア科 | ・内分泌代謝内科 | ・婦人科    |        |

### 検 査

☆放射線科 (CT / MRI / RI / リニアック / その他) ☆検査科 (エコー / 脳波 / その他)

### 専 門 外 来

☆肺がん検診 (CT) ☆糖尿病腎症連携

予約専用ダイヤル **048-946-2305** までお電話ください。



## ご注意

・以下の診療科は患者さんからの予約は取れません。紹介元医療機関からFAX予約をお願いします。

・血液内科
・腎臓内科
・内分泌代謝内科
・緩和ケア科
・放射線科
・検査科
・専門外来
・婦人科

FAX予約ダイヤル **048-946-2501** へ送信してください。

# 予 約 票 (当日持参用)

## 紹介元医療機関

名 称 \_\_\_\_\_  
 診療科名・医師名 \_\_\_\_\_  
 所在地(〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_  
 申込担当者 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1  
 草加市立病院 地域医療連携相談室 宛  
 TEL: 048-946-2200 (代表)

◎TEL受付時間  
 休診日以外の午前8時30分から午後5時まで  
 ◎休診日  
 日曜、祭日、国民の休日、第2・第4・第5土曜日、  
 12月29日から翌1月3日まで

## フリガナ

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 男・女 T・S・H・R 年 月 日生( 歳)

ご予約は専用ダイヤル **048-946-2305** までお電話ください。

受付時間 平日(月)～(金) 8:30～17:00  
 第1・3土曜日 8:30～12:00

・変更やキャンセルも予約専用ダイヤルまでご連絡ください。



- 持ち物 1 予約票(本紙) 2 紹介状(診療情報提供書)・検査データ  
 3 保険証・公費医療証 4 当院の診察券(お持ちの方) 5 お薬手帳(お持ちの方)  
 ※予約時間の30分前までに総合受付1番窓口で受付をしてください。

予約日時	年	月	日( )	時	分
希望診療科	※該当項目に○印をつけてください。				
・総合内科	・神経内科	・膠原病内科	・乳腺外科	・循環器内科	・呼吸器内科
・消化器内科	・外科	・小児科	・耳鼻咽喉科	・心臓血管外科	・整形外科
・眼科	・皮膚科	・脳神経外科	・泌尿器科	☆歯科口腔外科	・呼吸器外科
・血液内科	☆腎臓内科	・緩和ケア科	・内分泌代謝内科	・婦人科	
検 査					
☆放射線科 (CT / MRI / RI / リニアック / その他)	☆検査科 (エコー / 脳波 / その他)				
専 門 外 来	☆肺がん検診 (CT)		☆糖尿病腎症連携		☆の診療科は裏面も確認してください。

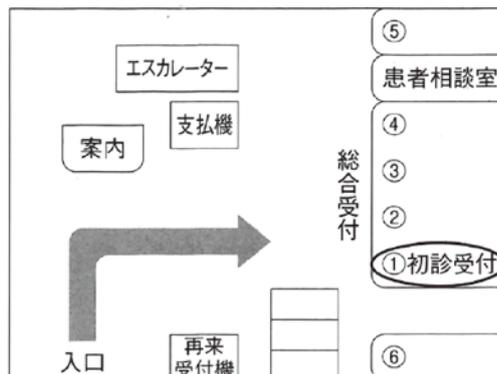
## ご注意

血液内科・腎臓内科・内分泌代謝内科・緩和ケア科・放射線科・検査科・専門外来は患者さんからの予約は取れません。

- ・混雑時や診療の状況により順番が前後する場合があります。
- ・CT、MRIは医師が緊急と判断した場合のみ当日検査となります。

入り口右手1番窓口までお越しください。 →

## 院 内 図



# 各種注意事項

## 放射線科

- ・造影剤を使用する場合、検査**4時間前**の食事は禁止です(お茶・水は可)。
- ・MRCPは検査前**8時間**は飲食禁止です。
- ・ペースメーカー有の方はMRI対応カードの持参をしてください。

## アイソトープ

- ◎キャンセルや変更は検査日の**前日15時まで**に連携室まで連絡をしてください。
- I-123 IMP : 検査時間までに来院してください。
  - I-123 DATSCAN : 検査前処置があるため9時までに来院してください。
  - I-123 ミオMIBG : 朝食は食べずに(水は可)検査時間までに来院してください。
  - 骨シンチ : 検査前処置があるため9時までに来院してください。
  - 甲状腺シンチ : 検査時間までに来院してください。
  - Gaシンチ : 検査日の3日前( )の9時に来院してください。

## 放射線治療 (リニアック)

- ・予約日は診察のみで、照射日は診察時に相談となります。(撮影日に診察はありません)

## 肺がん検診

- ・当日はCT撮影を行い撮影後、次回の診察予約をしていただきます。(撮影日に診察はありません)

## 検査科

### エコー

- 腹部エコー : 検査4時間前の食事は禁止です(水は可)。

### 脳波

- ・前日は洗髪し当日は整髪料などは付けずに清潔にしたまま来院してください。
- ・服用薬は担当医の指示に従ってください。

## 腎臓内科

- ・採血・検尿があるため予約時間の**1時間前**に来院してください。
- ・当日は、検尿できるよう来院前は極力排尿をお控えください。

## 歯科口腔外科

- ・抜歯は原則として初診日にはできません。診察後、後日(平日午後)予約となります。
- ・矯正やインプラントのためのCT撮影等は自費となります。
- ・CT撮影をご希望の場合は、診療等予約申込書(FAX用)の事前診察情報欄にその旨をお知らせいただきませんと、当日対応できないことがあります。
- ・読影もご希望があれば、診療情報提供書にてお知らせください。

## 糖尿病腎症連携

- ・一度の申込で次回までの診察予約を取らせていただいております(以下記入してください)。

外来診察(初回時)	表面に記載	
外来診察(2回目)		午前9時
栄養相談(2回目)		午前9時5分

- ・診察2回と栄養相談1回を実施し、その後は、かかりつけ医療機関に通院いただきます。
- ・当日糖尿病連携手帳、糖尿病眼手帳、血圧手帳、自己血糖測定記録もご持参ください。

# 検査の説明と同意書

## 造影剤使用について

□ 異常の原因を調べるために、草加市立病院で造影剤を使用した検査を行います。造影剤(CTなど:ヨード系造影剤、MRI:ガドリニウム系造影剤)を静脈内に投与します。造影剤を用いることにより、病気をより明瞭に描出できます。

□ 造影剤を用いない検査も可能ですが、診断能が著しく低下することがあります。また、検査の種類によっては、造影剤を用いないとできないものもあります。

□ 造影剤は一般に安全で、広く用いられている検査薬(検査の4割程度が造影検査)ですが、副作用が起きることがあります。副作用には造影剤注射直後から1時間以内に発生する即時性副作用と、7日目程度までに発生する遅発性副作用があります。異常を感じたら、連絡または来院してください。連絡先:048-946-2200(担当科または放射線科)

☆ ヨード系造影剤の即時性副作用の程度、種類、頻度(片山らによる168363例を対象にした調査による、1990年)

副作用の程度	副作用の種類	副作用の頻度
軽度	悪心・嘔吐、熱感、かゆみ・じんま疹、くしゃみ など	3%(100人に3人程度)
重篤以上	呼吸困難、急激な血圧低下、意識消失 など	0.04%(2500人に1人程度)

☆ ヨード系造影剤の遅発性副作用の頻度は3~8%で、そのほとんどは軽度の症状とされています。

☆ ガドリニウム系造影剤にも同様の副作用がありますが、頻度はやや低い(1.3%)とされています。

## CT・アイソトープ検査による被ばくについて

放射線が健康に及ぼす影響に発がんがあります。放射線によるがん死亡率は、これまでの知見から100mSvの被ばくで一生に約0.5%増加し、これより少ない線量では増えるとも増えないともいえないと、結論づけられています。つまり100mSv以下では、生活習慣による発ガンと放射線による発ガンと区別が出来ないといわれています。

放射線量	生活習慣	発がんリスク
CT検査 (10~20mSv)	-	1.0
アイソトープ検査(10~20mSv)	-	1.0
100mSv以下の被ばく	-	1.0
100~200mSv	野菜不足	1.06~1.08倍
200~500mSv	塩分の取り過ぎ	1.11~1.19倍
500~1000mSv	肥満・痩せ過ぎ	1.22~1.4倍
1000~2000mSv	喫煙・飲酒	1.6~1.8倍

\* 国立がん研究センター 分析データによる

なお、当院では診療放射線技師が定期的にCT・アイソトープ装置の点検を行い、また、無駄な被ばくをしないよう可能な限り低い線量で検査が出来るように管理しています。

\* 医療法施行規則の一部改正により令和2年4月より診療用放射線に係わる安全管理体制に関する規定が施行され、放射線検査については医療放射線被ばくの説明と同意が義務づけられました。

## MRI チェックシート

- ・脳動脈クリップ
- ・バルブ式シャント(脳外科)
- ・人工弁
- ・血管内ステント
- ・胸骨ワイヤー
- ・人工関節
- ・人工内耳
- ・義眼
- ・デンタルインプラント
- ・歯科矯正
- ・避妊リング
- ・耳つぼダイエット
- ・手術による体内金属( )
- ・内視鏡検査によるクリッピング、マーキング
- ・閉所恐怖症である
- ・入れ墨、アートメイクをしている
- ・妊娠している、またはその可能性がある
- ・金属加工業に従事した経験があり、眼内等に微細金属片が残っている可能性がある
- ・金属片による負傷の経験があり、体内に金属片が残っている可能性がある

◎MRCPIは、検査前8時間は絶飲食です。

◎検査予約30分前までに総合受付にお越し下さい。次の予約との関係上、検査開始時刻が遅くなる場合があります。



# 画像・生理検査申込書（当日持参用）

患者氏名	検査日： 令和      年      月      日      時      分		
様	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">CD-Rコピー 要・不要</td> <td style="padding: 5px;">メモ</td> </tr> </table>	CD-Rコピー 要・不要	メモ
CD-Rコピー 要・不要	メモ		
※検査を受ける場合の共通注意事項 服用薬は担当医の指示に従い、指示がない場合は服薬を続けてください			

1. CT      単純・造影・ダイナミック	CT注意事項
<input type="checkbox"/> 頭部(脳・その他) <input type="checkbox"/> 頭部 CT-A <input type="checkbox"/> 脳底部(眼窩・副鼻腔・側頭骨) <input type="checkbox"/> 頸部(甲状腺・その他) <input type="checkbox"/> 胸部(肺・縦隔) <input type="checkbox"/> 上腹部 <input type="checkbox"/> 脊椎(頸椎・胸椎・腰椎) <input type="checkbox"/> 下腹部(子宮付属器・膀胱・その他) <input type="checkbox"/> 上肢(右・左) <input type="checkbox"/> デンタル (肩・上腕・肘・前腕・手関節・手) <input type="checkbox"/> 下肢(右・左) <input type="checkbox"/> その他(                                          )      (股・大腿・膝・下腿・足関節・足)	・心臓ペースメーカー(ICD含) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ICD本体を含む撮影は行いません 以下造影剤使用の場合のみ ・造影剤使用歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ・腎機能障害 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (血清Cr      mg/d l) ・造影剤過敏症 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ・重篤な甲状腺疾患 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ・ビグアナイド系糖尿病薬 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

2. MRI      単純・造影・アンギオグラフィー	MRI注意事項 *予約30分前までにお越し下さい
<input type="checkbox"/> 頭部(ルーチン・下垂体・内耳・眼窩・副鼻腔) <input type="checkbox"/> 頸部(喉頭・咽頭・甲状腺) <input type="checkbox"/> 脊椎(頸椎・胸椎・腰椎) <input type="checkbox"/> 血管(胸部大動脈・腹部大動脈・下肢動脈・下肢静脈) <input type="checkbox"/> 腹部(肝臓・脾臓・腎臓・MRCP・腎動脈) <input type="checkbox"/> 骨盤(子宮卵巣・前立腺・膀胱・直腸) <input type="checkbox"/> 上肢(右・左) (肩・肘・手関節・手) <input type="checkbox"/> 下肢(右・左) (股関節・膝・足関節・足) <input type="checkbox"/> その他(                                          )	・MRIチェックシートを確認しお答え下さい <input type="checkbox"/> 何も該当しない <input type="checkbox"/> 一部該当(                                          )するが、MRIは可能 ・ペースメーカー <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(MRI対応カド*の持参をお願いします) ・食事について <input type="checkbox"/> 普通に食事してください <input type="checkbox"/> 朝食禁(お茶水は可) <input type="checkbox"/> 昼食禁(お茶水は可) ◎MRCPのため <input type="checkbox"/> 朝食禁(水分も不可) <input type="checkbox"/> 昼食禁(水分も不可) 以下造影剤使用検査の場合のみ <input type="checkbox"/> 気管支喘息なし <input type="checkbox"/> 造影剤過敏症なし <input type="checkbox"/> 腎機能異常なし(Cr      mg/d l)

3. アイソトープ      体重(      )kg	アイソトープ注意事項
<input type="checkbox"/> I-123 IMP <input type="checkbox"/> I-123 ミオMIBG <input type="checkbox"/> I-123 DATSCAN <input type="checkbox"/> 甲状腺シンチ <input type="checkbox"/> 骨シンチ <input type="checkbox"/> Gaシンチ <input type="checkbox"/> その他(                                          )	<input type="checkbox"/> I-123 DATSCAN検査は、午前9:00注射、午後に撮影となります <input type="checkbox"/> I-123 ミオMIBGシンチ検査は、午前と午後の2回撮影となります <input type="checkbox"/> 骨シンチ検査は、午前9:00注射、午後に撮影となります <input type="checkbox"/> Gaシンチ検査は、午前9:00注射、撮影は3日後の午後となります

4. エコー      *検査目的記入必須、データCD-Rは作成できません	腹部超音波(エコー)注意事項
<input type="checkbox"/> 心エコー <input type="checkbox"/> 腹部エコー <input type="checkbox"/> 甲状腺エコー <input type="checkbox"/> 乳腺エコー <input type="checkbox"/> 頸動脈エコー <input type="checkbox"/> 下肢動脈エコー <input type="checkbox"/> 下肢静脈エコー	・検査が午前中の場合、朝食禁止です ・検査が午後の場合、昼食禁止です ・原則、飲物も禁止ですが糖分のない水やお茶はお飲み頂いて結構です

5. 脳波	脳波注意事項
<input type="checkbox"/> 覚醒 <input type="checkbox"/> 睡眠 <input type="checkbox"/> 賦活(開閉眼・光刺激・過呼吸)	・前日は洗髪し当日は整髪料などは付けずに清潔にしたまま来院ください ・食事は普段通りにお摂り下さい ・服用薬は担当医の指示に従い、指示がない場合は服薬を続けてください

造影剤使用についての同意(造影剤使用検査)  
 私は、造影剤使用について十分な説明を受け理解しましたので、造影剤を用いた検査を受けることに同意します。また、緊急の処置を行う必要が生じた場合には、必要な処置を受けることについても同意します。

被ばくについての同意(CT・アイソトープ)  
 私は、(CT・アイソトープ)検査による放射線被ばくについての説明を受け十分理解しましたので、(CT・アイソトープ)検査を受けることに同意します。

記入日 令和      年      月      日      説明医師 \_\_\_\_\_

患者または代理人氏名(署名) \_\_\_\_\_

# 診療予約申込書の記入について

## 予 約 申 込 書 (貴院控え)

紹介元医療機関

名 称 \_\_\_\_\_

診療科名・医師 \_\_\_\_\_

所在地(〒 \_\_\_\_\_)

申込担当者 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1  
 草加市立病院 地域医療連携相談室 宛  
 TEL: 048-946-2200 (代表)

◎TEL/FAX受付時間  
 休診日以外の午前8時30分から午後5時まで  
 ◎休診日  
 日曜、祭日、国民の休日、第2・第4・第5土曜日、  
 12月29日から翌1月3日まで

貴院の名称・診療科・  
 ご担当医・申込担当者名等  
 をご記入ください。

フリガナ \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 日生( \_\_\_\_\_ 歳)

住 所 \_\_\_\_\_

患者さんの氏名・性別・生年月日・住所・  
 連絡先をご記入ください。  
 連絡先はなるべく日中に連絡の取れる  
 電話番号をご記入ください。

予約希望日 ※希望のある場合のみ記入

希望日 (第1希望) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日( \_\_\_\_\_ )

有・無 (第2希望) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日( \_\_\_\_\_ )

(第3希望) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日( \_\_\_\_\_ ) 医

草加市立病院受診歴 (有・無・不明) ※(有)の場合 市立病院患者番号 \_\_\_\_\_

FAXにて予約を申込をする際に予約  
 希望の有無をご記入ください。医師  
 の指名があればご記入ください。

予約日時	年	月	日( )	時	分
希望診療科	※該当項目に○印をつけてください。				
・総合内科	・神経内科	・膠原病内科	・乳腺外科	・循環器内科	・呼吸器内科
・消化器内科	希望診療科・検査・専門外来に ○を記入してください。	・耳鼻咽喉科	・心臓血管外科	・整形外科	
・眼科		・尿器科	☆歯科口腔外科	・呼吸器外科	
・血液内科	☆腎臓内科	・緩和ケア科	・内分泌代謝内科		
検 査					
☆放射線科 (CT / MRI / RI / リニアック / その他)	☆検査科 (エコー / 脳波 / その他)				
専門外来	☆肺がん検診 (CT)		☆糖尿病腎症連携		

貴院が電話予約をされた際は予約後、  
 お伝えした日にちをご記入ください。

希望診療科・検査・専門外来に  
 ○を記入してください。

予約専用ダイヤル **048-946-2305** までお電話ください。

受付時間 平日(月)～(金) 8:30～17:00  
 第1・3土曜日 8:30～12:00  
 ・変更やキャンセルも予約専用ダイヤルまでご連絡ください。



### ご注意

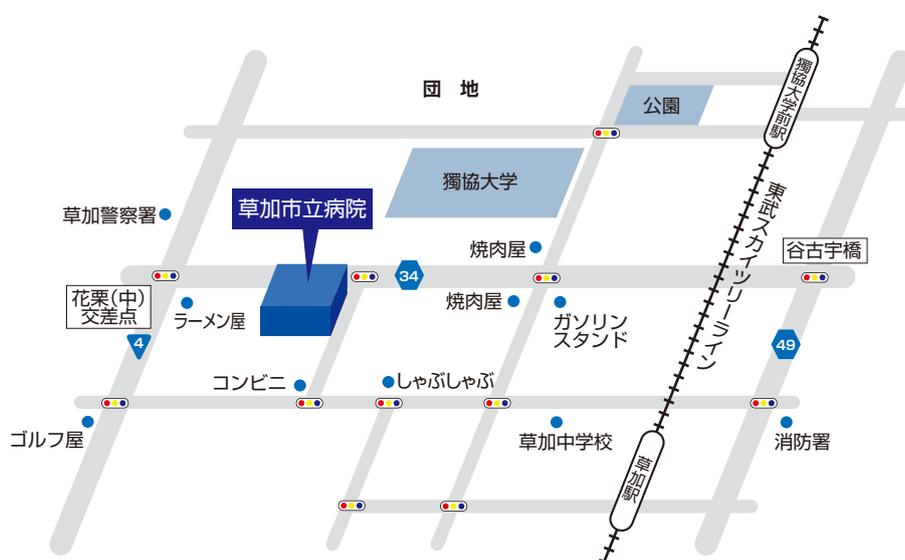
- 以下の診療科は患者さんからの予約は取れません。紹介元医療機関からFAX予約をお願いします。
- 血液内科 ・ 腎臓内科 ・ 内分泌代謝内科 ・ 緩和ケア科 ・ 放射線科 ・ 検査科 ・ 専門外来

FAX予約ダイヤル **048-946-2501** へ送信してください。

# 画像・検査申込書の記入について

画像・生理検査申込書 (FAX送信・貴院控え用)			
患者氏名		検査日： 令和 年 月	電話予約の場合は 予約日をご記入ください。
様		CD-Rコピー 要・不要	
感染症 [ 有・無・未 ] 【Tbc・HBs抗原・HCV・HIV・MRSA・その他( )】		患者さんの氏名、画像 (CD-R) の有無、 検査目的 (任意) 等をご記入ください。	
1. CT 単純・造影・ダイナミック		CT注意	
<input type="checkbox"/> 頭部 (脳・その他) <input type="checkbox"/> 頸部 CT-A <input type="checkbox"/> 脳底部 (眼窩・副鼻腔・側頭窩) <input type="checkbox"/> 胸部 (両肺野・その他) <input type="checkbox"/> 胸部 (肺・縦隔) <input type="checkbox"/> 脊椎 (頸椎・胸椎・腰椎・その他) <input type="checkbox"/> 四肢 (右・左) <input type="checkbox"/> アンテラル (肩・上腕・肘・前腕・手関節・手) <input type="checkbox"/> 下肢 (右・左) <input type="checkbox"/> その他 ( ) (股・大腿・膝・下腿・足関節・足)		・心臓ペースメーカー (ICD含) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ICD本体を含む撮影は行いません 以下造影剤使用の場合のみ ・造影剤使用歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ・腎機能障害 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (血清Cr mg/d l) ・造影剤過敏症 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
単純、造影、ダイナミックの いすれかに○をしてください。		左側の欄の部位に✓を入れ、右側の欄の心臓ペース メーカーの有無に✓を入れてください。 造影剤使用の場合は血清Crをご記入ください。	
2. MRI 単純・造影・アンギオグラフィー		MRI注意事項 * 予約30分前までにお越し下さい	
<input type="checkbox"/> 頭部 (ルーチン・下垂体・内耳・眼窩・副鼻腔) <input type="checkbox"/> 頸部 (喉頭・咽頭・甲状腺) <input type="checkbox"/> 脊椎 (頸椎・胸椎・腰椎・その他) <input type="checkbox"/> 血管 (胸部) <input type="checkbox"/> 腹部 (肝臓) <input type="checkbox"/> 骨盤 (子宮卵巣・前立腺・膀胱・直腸)		・MRIチェックシートを確認しお答え下さい <input type="checkbox"/> 何も該当しない <input type="checkbox"/> 一部該当 ( ) するが、MRIは可能 ・ペースメーカ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (MRI対応カードの持参をお願いします) ・食事について <input type="checkbox"/> 普通に食事してください <input type="checkbox"/> 朝食禁 (お茶水は可) <input type="checkbox"/> 昼食禁 (お茶水は可) ◎MRCPのため <input type="checkbox"/> 朝食禁 (水分も不可) <input type="checkbox"/> 昼食禁 (水分も不可)	
単純、造影、アンギオグラフィーの いすれかに○をしてください。		左側の欄の部位に✓を入れ、右側の欄の該当する箇所 に✓を入れてください。(Cr mg/d l) 造影剤使用の場合は血清Crをご記入ください。	
3. アイソトープ 体重 ( ) kg		アイソトープ注意事項	
<input type="checkbox"/> T-123 IMP <input type="checkbox"/> I-123 ミオMIBG <input type="checkbox"/> T-123 DATSCAN <input type="checkbox"/> 甲状腺シンチ <input type="checkbox"/> 骨シンチ <input type="checkbox"/> Gaシンチ <input type="checkbox"/> その他 ( )		<input type="checkbox"/> T-123 DATSCAN <input type="checkbox"/> T-123 ミオMIBG <input type="checkbox"/> 骨シンチ <input type="checkbox"/> Gaシンチ	
		骨シンチのみ体重を記入してください。 左側の欄の部位に✓を入れ、右側の欄の 該当する箇所に✓を入れてください。	
4. エコー		腹部超音波 (エコー) 注意事項	
<input type="checkbox"/> 心エコー <input type="checkbox"/> 乳管エコー <input type="checkbox"/> 乳腺エコー <input type="checkbox"/> 下肢静脈エコー		検査目的記入必須、データCD-Rは作成できません	
4.エコー、5.脳波については、左側の欄の検査項目に✓を入れ、 右側の欄の該当する箇所に✓を入れてください。		お飲み頂いて結構です	
5. 脳波		脳波注意事項	
<input type="checkbox"/> 覚醒 <input type="checkbox"/> 睡眠 <input type="checkbox"/> 賦活 (開閉眼・光刺激・過呼吸)		・前日は洗髪し当日は整髪料などは付けずに清潔にすまま来院ください ・食事は普段通りにお摂り下さい ・服用薬は担当医の指示に従い、指示がない場合は服薬を続けてください	
<input type="checkbox"/> 造影剤使用についての同意 (造影剤使用検査) 私は、造影剤使用について十分な説明を受け理解しましたので、造影剤を用いた検査を受けることに同意します。また、緊急の処置を行う必要が生じた場合には、 必要な処置を受けることについても同意します。			
<input type="checkbox"/> 被ばくについての同意 (CT・アイソトープ) <b>造影剤使用及び被ばくについての同意をお願いします。</b> 私は、(CT・アイソトープ) 検査による放射線被ばくについての説明を受け、検査を受けることに同意します。			
記入日 令和 年 月 日		説明医師	
患者または代理人氏名 (署名)			

## 病院案内図



### 交通のご案内

- 東武スカイツリーライン草加駅下車徒歩約20分 獨協大学前(草加松原)駅下車徒歩約15分
- バス草加駅西口から  
「安行出羽行き」「獨協大学前駅西口行き」「草加市立病院行き」  
草加市立病院停留所下車
- パリポリくんバス  
北東ルート(草加市立病院～獨協大学前駅東口～川柳文化センター～柿木公民館)  
南西ルート(草加市立病院～草加駅西口～谷塚駅西口～見沼代親水公園駅)  
新田ルート(草加市立病院～勤労福祉会館・新田駅東口～新栄団地)



**草加市立病院  
地域医療連携ガイドブック  
2023年度版**

【編集・発行】

草加市立病院 地域医療連携相談室

TEL 048-946-2200(代表)

FAX 048-946-2501(直通)

❗ 個人情報が含まれておりますので、  
お取り扱いにはご留意願います。

 **草加市立病院** 

〒340-8560 埼玉県草加市草加 2-21-1  
TEL 048-946-2200(代表) FAX 048-946-2501(直通)  
URL <http://www.soka-city-hospital.jp>

